

令和8(2026)年度

入学者選抜要項

(学士課程)

【融合学域】

先導学類, 観光デザイン学類, スマート創成科学類

【人間社会学域】

人文学類, 法学類, 経済学類, 学校教育学類共同教員養成課程, 地域創造学類, 国際学類

【理工学域】

数物科学類, 物質化学類, 機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類,
地球社会基盤学類, 生命理工学類

【医薬保健学域】

医学類, 薬学類, 医薬科学類, 保健学類

(注) この入学者選抜要項は, 金沢大学が実施する令和8年度入学者選抜に関する概要をまとめたものです。**出願する際は, 出願する入試区分の学生募集要項を必ず確認してください。**

令和7年7月



この入学者選抜要項は、金沢大学が実施する令和8年度入学者選抜に関する概要をまとめたものです。
出願する際は、出願する入試区分の学生募集要項を必ず確認してください。

(注意)

1. 出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
2. 大学入学共通テストと本学への出願時には、公的な統計調査等に必要な情報であるため、現時点では男女いずれかの性別の記入が必要です。本学では自認する性の記入が可能です。大学入学共通テストの出願書類、高等学校等が作成する調査書及び本学への出願書類に記載の性別が一致している必要があります。なお、合格・入学後も本学に提出する書類の中には、性別情報の記入が必要な場合がありますが、自認する性の記入が可能です（戸籍との照合や証明書等への記載は行っていません）。
3. 学生募集要項の発表予定時期は、152 ページ ㉔ 学生募集要項の入手方法等で確認してください。

金沢大学入試情報アプリ（金沢大学公式アプリ）

本学の入試情報（入試日程、学生募集要項、入学者選抜方法等の変更／予告、Web 出願登録サイト）、学生募集イベント情報（オープンキャンパス等）、学域・学類の紹介等を配信しています。

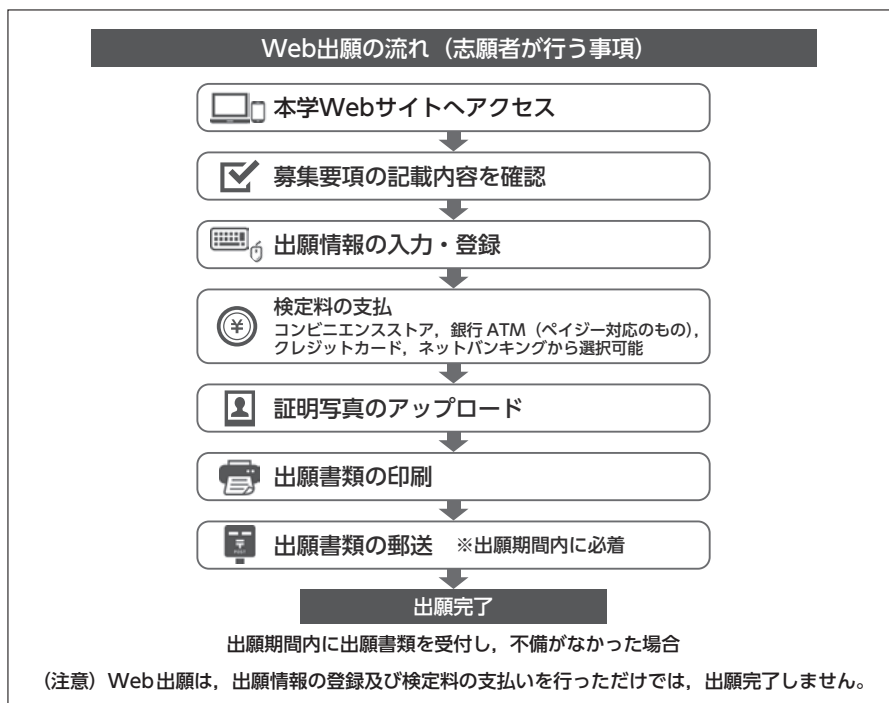
ダウンロード（無料）はこちらから



■出願方法 [Web 出願]

金沢大学の出願方法はWeb出願限定です。

学生募集要項は、本学Webサイトから確認してください。紙媒体（冊子）での配布は行いません。



※Web出願の詳細は、後日公表する学生募集要項及び本学Webサイトを確認ください。

本学（入試情報・高大院接続）Web サイト 本学トップページ>入試情報・高大院接続
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>



《Web 出願デモサイト》

Web 出願を体験できるデモサイトを、本学 Web サイト（本学トップページ>入試情報・高大院接続>Web 出願）に掲載しています。

目 次

1	本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
2	入学者選抜方法等の概要	4
3	学類等のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	7
4	募集人員	21
5	入学者選抜試験日程	23
6	英語外部試験	25
7	一般選抜（前期日程）	26
1	実施日程	26
2	出願資格	26
3	入学者選抜の実施教科・科目等	28
4	試験時間割	47
8	KUGS 特別入試	48
1	KUGS 高大接続プログラム受講から KUGS 特別入試までの流れ	48
2	実施学類・日程等	49
3	総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	55
4	総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	56
5	学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	80
6	学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	81
7	デジタル人材選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	96
8	防災・復興人材選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	100
9	英語総合選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	110
9	超然特別入試	112
1	A-lympiad 選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	113
2	A-lympiad 選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	116
3	超然文学選抜	118
10	女子枠特別入試	120
11	医学類・高大院接続入試〔特別枠〕（研究医枠）	127
12	薬学類・高大院接続入試	130
13	在外留学生推薦入試	132
14	社会人選抜	134
15	帰国生徒選抜	135
16	国際バカロレア入試	141
17	私費外国人留学生入試	145
18	障がいのある者等の出願	150
19	入学試験の個人成績の開示	151
20	学生募集要項の入手方法等	152
21	問合せ先	154
22	金沢大学所在地略図	155

1 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

1 金沢大学憲章と教育の理念

1862（文久2）年、加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は、旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として、1949（昭和24）年に新制金沢大学となりました。

150年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は、そのありうべき姿を、現在、金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち、金沢大学憲章は、その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、『地域と世界に開かれた教育重視の研究大学』の位置付けをもって改革に取り組むこととし、その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは、以下のものに他なりません。

「金沢大学は、学生の個性と学が権利を尊重し、自学自習を基本とする。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

2 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）と求める人材像

さらに、教育の国際化とグローバル人材育成が声高に叫ばれている今、金沢大学は、上に掲げた大学憲章を現在の状況における人材育成方針としてより具体化するために、金沢大学〈グローバル〉スタンダードを定めています。これは、各学域学類のアドミッション・ポリシーの源泉たる、大学全体のアドミッション・ポリシーとするものです。

金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）

グローバル化が不可逆的に進行する現在の国際社会において金沢大学憲章に謳われている基本的な教育目標を実現するために、学士課程において本学が育成する人材の具体的な姿を、以下の6つのスタンダードによって定める。すなわち本学は、各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける次の能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。

1. 自己の立ち位置を知る：

鋭い倫理感と科学的知見をもって、人類の歴史学的時間と地政学的空間の中に立つ自己の位置、自己の使命を主体的に把握する能力

2. 自己を知り、自己を鍛える：

自己を知り、その限界に挑戦し、知的冒険と心身の鍛錬を通して常に自己の人間力を磨き高めていく能力

3. 考え・価値観を表現する：

論理的構成力や言語表現力を駆使して概念やアイデアを明確に表現し、かつ自己の感性や価値観を的確に他者に伝える能力

4. 世界とつながる：

他者への深い共感に基づいて異文化と共生し、各人にとっての自国と郷土の文化への自覚と誇りをもって、世界と積極的につながっていく能力

5. 未来の課題に取り組む：

科学技術の動向、自然環境変動、持続可能性などの多角的視座から地球と人類、国際社会と日本の未来を総合的に予測し、未来の課題に取り組んでいく能力

6. 新しい社会を生きる：

Society 5.0において、幅広い分野や考え方を俯瞰して異分野をつなげる力と新たな物事にチャレンジするマインドを備え、多様な他者との協働により未来の社会的課題を解決に導くための能力

本学は、このKUGSに適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく、なによりも、このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

3 金沢大学と主体性等評価

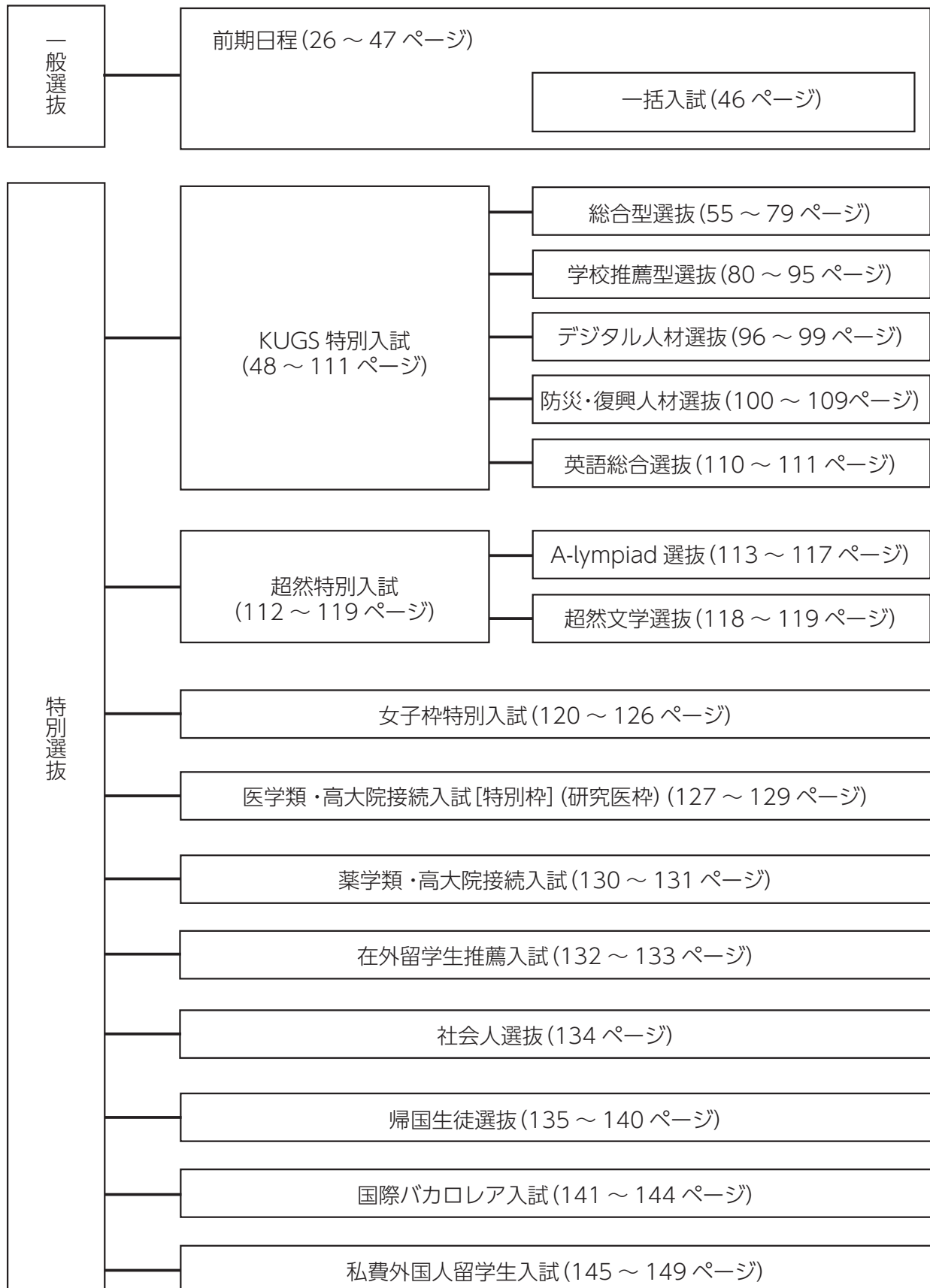
金沢大学は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

学類等の「求める人材」や「選抜の基本方針」は、[③ 学類等のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）](#)で確認してください。

融合学域	先導学類（7ページ）、観光デザイン学類（7ページ）、スマート創成科学類（7ページ）
人間社会学域	人文学類（8ページ）、法学類（8ページ）、経済学類（9ページ）、学校教育学類共同教員養成課程（10ページ）、地域創造学類（10ページ）、国際学類（11ページ）
理工学域	数物科学類（12ページ）、物質化学類（12ページ）、機械工学類（13ページ）、フロンティア工学類（14ページ）、電子情報通信学類（14ページ）、地球社会基盤学類（15ページ）、生命理工学類（16ページ）
医薬保健学域	医学類（16ページ）、薬学類（17ページ）、医薬科学類（17ページ）、保健学類（18ページ）
一括入試	文系一括、理系一括（19ページ）

2 入学者選抜方法等の概要

1 選抜の概要



一般選抜	【一般選抜（前期日程）】（26～47ページ） 大学入学共通テスト並びに本学が行う教科・科目に係る個別テスト等及び調査書の審査の結果を総合して行います。合否判定は、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の結果を総合して行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため調査書を活用します。
	一括入試 「学ぶ内容や所属する学類を、入学した後に決めたい人」のために、入学してからの1年間、自分が本当に学びたいことは何なのか、将来どのようなことがしたいのかを充分考えた上で学類若しくは専攻へ移行することができる入試です。
特別選抜	【KUGS特別入試】（48～111ページ） 「基礎的知識・技能を修得し、それらを活用して自ら課題を発見し、探究する能力を備えている人」、「将来に明確な目標を持っており、主体的に行動し、他者と協働しながら、自身の夢を実現しようとする強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。 総合型選抜 学校推薦型選抜 デジタル人材選抜 防災・復興人材選抜 英語総合選抜
	【超然特別入試】（112～119ページ） 「数学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲を持っている人」又は「文学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。 A-lympiad選抜 超然文学選抜
	【女子枠特別入試】（120～126ページ） さまざまな科学技術のイノベーション（新しい価値の創造）に女性の視点を反映させることは大学や社会全体にとっても重要な課題となっています。これらの社会的要請に応えるため、女性研究者・技術者を志す女子学生を対象に、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。
	【医学類・高大院接続入試【特別枠】（研究医枠）】（127～129ページ） 医学類が求める、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質・自主性、本質への探究心、本学における博士課程までの一貫した学修意欲について多面的・総合的に評価する入試です。
	【薬学類・高大院接続入試】（130～131ページ） 薬学類が求める、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質・自主性、本質への探究心、本学における博士課程までの一貫した学修意欲について多面的・総合的に評価する入試です。
	【在外留学生推薦入試】（132～133ページ） 日本の国籍を有しない者で、出身学校長等が責任を持って推薦する学修意欲の高い志願者に対し、外国における教育事情の違い等を考慮し、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除することで受験の負担を軽減した入試です。
	【社会人選抜】（134ページ） 社会人の志願者に対し、高等学校等卒業後の年月の経過等を考慮し、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除することで受験の負担を軽減した入試です。
	【帰国生徒選抜】（135～140ページ） 外国で学校教育を受けた志願者に対し、外国における教育事情の違い等を考慮し、大学入学共通テストを免除することで、受験の負担を軽減した入試です。
	【国際バカロレア入試】（141～144ページ） 世界で活躍するグローバル人材を育成する国際バカロレア（IB）を活用することとし、IB取得者及び取得見込み者に特化した入試です。
	【私費外国人留学生入試】（145～149ページ） 日本の国籍を有しない者で、本学における学修意欲の高い志願者に対し、受験の負担を軽減するため、大学入学共通テストを免除する入試です。

各選抜の募集人員は21ページを確認してください。

2 入学選抜区分

学域・学类等		選抜方法等	大学入学共通テストを課す										大学入学共通テストを課さない									
			一般選抜 (前期日程)	特別選抜								特別選抜										
				KUGS特別入試					超然特別入試	女子枠特別入試	医学類・高大院接続入試	薬学類・高大院接続入試	KUGS特別入試		超然特別入試	在外留学生推薦入試	社会人選抜	帰国生徒選抜	国際バカロレア入試	私費外国人留学生入試		
				総合型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅱ	デジタル人材選抜Ⅱ	防災・復興人材選抜Ⅱ	英語総合選抜Ⅱ					A l l y m p i a d選抜Ⅱ	総合型選抜Ⅰ							学校推薦型選抜Ⅰ	A l l y m p i a d選抜Ⅰ
融合学域	先導学類	○	○				○								○	○	○	○	○	○		
	観光デザイン学類	○	○			○	○								○	○	○	○	○	○		
	スマート創成科学類	○	○		○		○								○	○	○	○	○	○		
人間社会学域	人文学類	○	○															○	○	○		
	法学類	○	○															○	○	○		
	経済学類	○												○				○	○	○		
	学校教育学類	○	○	○		○									○	○			○	○		
	地域創造学類	○	○			○												○	○	○		
	国際学類	○											○		○	○			○	○	○	
理工学域	数物科学類	○	○						○						○				○	○	○	
	物質化学類	○	○												○				○	○	○	
	機械工学類	○※1	○							○					○				○	○	○	
	フロンティア工学類	○※1								○					○				○	○	○	
	電子情報通信学類	○※1	○		○					○					○				○	○	○	
	地球社会基盤学類	○	○			○				○					○				○	○	○	
	生命理工学類	○	○												○				○	○	○	
医薬保健学域	医学類	○	○	○				○		○									○		○	
	薬学類	○										○							○	○	○	
	医薬科学類	○											○						○	○	○	
	保健学類	看護学専攻	○		○		○													○	○	○
		診療放射線技術学専攻	○		○		○													○	○	○
		医療検査技術学専攻	○		○		○													○	○	○
		理学療法学専攻	○※2		○															○	○	○
		作業療法学専攻	○※2		○															○	○	○

- (注) 1. ○印は実施する選抜を示し、網掛けは実施しない選抜を示します。
 2. ○※1 の機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類は，3学類一括で実施します。
 3. ○※2 の保健学類理学療法学専攻，作業療法学専攻は，2専攻併願で実施します。

《融合学域》

あらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等が国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあります。多様な脅威にさらされるこれからの社会では、人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、社会の各界で“未踏のイノベーションの創成をリードする中核的リーダー”となる人材が不可欠です。融合学域では、そのような人材を養成することを共通の目標としています。

【先導学類】

地球規模で急速に起こっている社会の変容や科学の進展を的確に踏まえた上で、表出する複層的な諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、新たな「知」を社会へ展開する意欲と素養を身につけた社会変革を先導する人材の養成を目指しています。

求める人材

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、社会変革に資する新たな先導に挑戦したい人

【観光デザイン学類】

地球規模で急速に起こる社会の変容や価値の共感を的確に踏まえた上で、国際観光立国を目指す我が国の観光産業の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、観光 DX の推進や持続可能な観光地域づくりに対応して新たな観光価値をデザインする人材の養成を目指しています。

求める人材

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、観光に資する新たな価値創出に挑戦したい人

【スマート創成科学類】

地球規模で急速に起こっている社会の変容や技術の飛躍を的確に踏まえた上で、表出する多様な未来の諸課題に関し、人文科学・社会科学・自然科学等の多様な知見を活用しながらその解決に取り組むとともに、仮想と現実の高度な融合を活用して持続可能なスマートシティを見据えた未来の科学を創成する人材の養成を目指しています。

求める人材

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を連携・融合し、未来に資する新たな科学創成に挑戦したい人

選抜の基本方針／融合学域共通

■一般選抜（31～33ページ）

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、先導学類及び観光デザイン学類では英語に加え、国語、数学又は総合問題のいずれか2科目を、スマート創成科学類では数学、英語に加え、国語又は総合問題を、それぞれ課して学力を多面的に評価します。

理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して学力を多面的に評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）（56～59ページ）

基礎学力に加え、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■KUGS特別入試（デジタル人材選抜、スマート創成科学類のみ）（96～97ページ）

基礎学力に加え、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学類で実施される高度情報専門人材育成への明確な志向と本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■KUGS特別入試（防災・復興人材選抜、観光デザイン学類のみ）（100ページ）

基礎学力に加え、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、表現力及び平素の努力のプロセスや本学類で実施される防災・復興人材育成への明確な志向と本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

■KUGS特別入試（英語総合選抜）（110～111ページ）

基礎学力に加え、英語による総合的な課題（総合問題）、口述試験（プレゼンテーションを含む）を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）（113ページ）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

■超然特別入試（超然文学選抜）（118ページ）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な課題に取り組む意欲を総合的に評価します。

■在外留学生推薦入試（132ページ）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や学類への適性を総合的に評価します。

■社会人選抜（134ページ）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、勉学意欲や学類への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

国語、数学及び英語から2教科を課し、基礎学力を問うとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

基礎学力を重視するとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等／融合学域共通

文系・理系にこだわらず、様々な教科・科目について偏りなく学習し、到達度をより高めておくことが必要です。

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- ・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- ・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
- ・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人
- ・国語及び英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針／人文学類

■一般選抜（34ページ）

大学入学共通テストを課して総合的な基礎知識を評価するとともに、人文学類の基本的科目である国語と英語の能力、そして総合問題による文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）（60ページ）

大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに、口述試験により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲・コミュニケーション力及び論理的思考能力・表現力等を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜，超然文学選抜）（113ページ，118ページ）

口述試験（プレゼンテーションを含む）により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲と関心・人文学で学習を進めるのに必要な資質等を評価し、小論文により論理的思考能力・表現力を評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

国語と外国語の試験及び口述試験により、大学での勉学に必要な知識・表現力・意欲等を評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

国際バカロレアのディプロマスコア及び口述試験により、大学での勉学に必要な知識・表現力・意欲等を評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

日本留学試験、英語外部試験及び口述試験により、大学での勉学に必要な知識・表現力・意欲等を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において、法と政治に関する基本的な理念や知識は、個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では、このような認識に基づき、法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて、現代社会が抱える諸問題を発見し、将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえて、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

求める人材／KUGS特別入試（総合型選抜）

- ・上記に加えて、コミュニケーション能力（とくに、他者の話を正確に理解し、自分の意見を論理的に述べる能力）が優れており、課題に率先して取り組む意欲や責任感のある人

選抜の基本方針／法学類**■一般選抜（34ページ）**

基礎学力に加えて、外国語、国語及び数学の能力を重視して評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）（61ページ）

基礎学力に加え、出願書類等を参考に口述試験を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲はあるかなどを総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）（113ページ）

出願書類等を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかなどを総合的に評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

国語能力に加え、口述試験を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、自主的に課題を発見し解決する意欲があるか、国際化に対応するために必要な表現力とコミュニケーション能力を修得してグローバルに活躍する意欲があるか、などを提出書類等及び口述試験の結果により総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

英語能力に加え、日本語又は英語による口述試験を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校等で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること
- ・社会の数量分析や論理的思考のために必要な数学の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、高等学校等で専門教育を受けた進学希望者を対象とするKUGS特別入試、及び超然特別入試・帰国生徒選抜・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
- ・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
- ・営利・非営利のビジネスに関心を持ち、将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針／経済学類**■一般選抜（35ページ）**

基礎学力に加え、国語・数学・外国語の能力を重視します。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）（80ページ）

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）（113ページ）

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え、社会的課題の解決に取り組む意欲等を重視します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、高校時代における体験や大学入学後の計画等を重視します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

現代の文化・社会・経済に関する日本語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、社会的課題解決への意欲、国際的に活躍する熱意や大学入学後の計画等を重視します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

現代の文化・社会・経済に関する知識、論理的思考力、表現力に加え、大学の授業を理解するための基礎的知識や大学入学後の計画等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語及び情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済及びそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学んでおくことを望みます。

【学校教育学類共同教員養成課程】

学校教育学類共同教員養成課程（以下「学校教育学類」という。）では、義務教育段階の諸学校の教師を養成することを目的としており、専門職としての教師を目指す熱意にあふれ、仲間と協力しながら専門的能力・技能を伸ばしていける人材を求めます。

求める人材

- ・教育を通じて、地域社会の発展に貢献しようという強い意志を持っている人
- ・専門職としての教師を真摯に目指し、人を育てることの大切さと喜びを感じられる人
- ・現代の教育課題を含む幅広い分野に興味・関心を持っている人
- ・自己の考えをはっきりと表現し、他の人の考えをしっかりと受けとめることを通じて、他者と協働ができる人
- ・高等学校等における履修内容を理解し、教職を目指すために必要な学力がある人

選抜の基本方針／学校教育学類

■一般選抜（36ページ）

基礎学力に加え、英語、国語、数学、理科、総合問題の中から、3科目を選択する教科・科目に係る個別テスト（英語と国語又は英語と数学を必修とする）を課し、多角的に評価します。

■KUGS特別入試

（総合型選抜）

〈石川県教員希望枠〉（62ページ）

基礎学力及び勉学意欲ならびに、石川県で教職に就くことへの熱意、資質・適性等を総合的に評価します。

〈教科・免許状枠〉

【美術】（63ページ）

基礎学力、課題に対する表現力、美術における基礎知識と論理的思考力、教職及び美術教育に対する熱意と抱負等を総合的に評価します。

【保健体育】（64ページ）

基礎学力及び高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質等を総合的に評価します。

【家政】（66ページ）

基礎学力及び家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

【特別支援】（68ページ）

基礎学力、課題に対する思考能力と論述能力、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

（学校推薦型選抜）

〈教科枠〉

【国語・社会科・英語】（81ページ）

基礎学力及び勉学意欲、人文・社会科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【数学・理科】（82ページ）

基礎学力及び勉学意欲、自然科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【音楽】（83ページ）

基礎学力及び演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力、楽典の基礎的知識、志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を評価します。

（防災・復興人材選抜）（102ページ）

出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、防災・復興への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）（113ページ、118ページ）

数学又は文学を介した教育への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

学習意欲や資質、学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では、小学校教諭一種を含んだ2校種の免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから、次の3点を望みます。

- ・小学校・中学校・高等学校及びそれらに相当する学校など、これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、地域の自然、文化、住環境、人材、産業、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、持続可能で質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

プログラムの選択は、2年次終了までに本人の問題関心と将来像及び学業成績等考慮して決定します。

求める人材

- ・大学での地域創造学の学修に必要な基礎学力を有している人
- ・地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- ・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人
- ・海外の情報に積極的にアプローチしようとする意欲と能力を有している人

選抜の基本方針／地域創造学類

■一般選抜（37ページ）

基礎学力に加え、文系・理系科目両面の基本的科目である国語・数学・外国語を評価します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）（69ページ）

基礎学力に加え、口述試験により地域創造に関わる学修への意欲や事象への関心、大学入学後の主体的な学修・研究への計画や積極性、授業を理解するための基礎的知識や思考力・判断力・表現力、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせて総合的に評価します。

■KUGS 特別入試（防災・復興人材選抜）（103ページ）

基礎学力に加え、口述試験により防災・復興に関わる学修への意欲や事象への関心、大学入学後の主体的な学修・研究への計画や積極性、授業を理解するための基礎的知識や思考力・判断力・表現力、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせて総合的に評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

国語と数学の2科目による基礎学力を問うとともに、口述試験では地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い、基礎的知識、思考力・表現力、勉学意欲等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、口述試験では地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い、基礎的知識、思考力・表現力、勉学意欲等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

日本留学試験、TOEFL iBTにより基礎学力を問うとともに、推薦書、志望理由書を参考とします。口述試験では地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い、基礎的知識、思考力・表現力、勉学意欲等を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、専門的総合的に地域創造学を学ぶことから、高等学校等で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また、地域の諸課題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指す前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことを望みます。

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感性、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際関係・国際協力系、地域研究系、インクルーシブ社会構築系という3つの系に大別される複数のプログラムがあり、そのうちのいくつかは英語のみで卒業できます。

求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、諸問題を粘り強く話し合い、国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来、国際的な場での活動への従事を目指す人
- ・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針／国際学類

■一般選抜（38ページ）

基礎学力に加え、国語・英語の学力と数学の学力又は総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。なお、大学入学共通テストの「英語」については、4技能をみる所定の英語外部試験のスコアを提出することができます。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）（55ページ）

第1次選考では、4技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び調査書、志願理由書、活動報告書、高大接続プログラム提出課題等の書類を総合的に審査します。第2次選考では口述試験を行います。口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、志願理由書、活動報告書、高大接続プログラム提出課題等も口述試験の際の参考とします。

■超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）（113ページ、118ページ）

出願資格及び出願要件を満たした上で、自主的に課題を発見し解決する意欲を有し、国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、志願理由書、活動報告書等も口述試験（プレゼンテーションを含む）の際の参考とします。

■帰国生徒選抜（135ページ）

第1次選考では、4技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。最終選考では口述試験を行います。口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、推薦書、志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■国際バカロレア入試（141ページ）

出願資格を満たした上で、自主的に課題を発見し解決する意欲を有し、国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

口述試験では、基礎知識やコミュニケーション能力（日本語あるいは英語）、勉学意欲を十分に有しているかを判断し、日本留学試験の成績

や所定の英語外部試験のスコアと合わせて、総合的に判定します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では、グローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人の養成を目指しています。このため、本学入学前に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を獲得しておくことを望みます。また、日本に関連する様々な問題を扱うために「日本語」（国語）及び「日本史」を学んでおくことを推奨します。

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では、21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学を学ぶことを通じ、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的、あるいは物理的なものの見方、思考法及び洞察力を身につけ、教育、情報・通信、製造・開発、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、応用数学、計算科学、物理学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針／数物科学類

■一般選抜（39ページ）

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）（70ページ）

数物科学類にとっての基本的科目の学力を重視するとともに、出願書類、高大接続プログラム課題等や、口述試験により、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）（113ページ）

出願書類を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を行い、数学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組むための能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■女子枠特別入試（120ページ）

数物科学類にとっての基本的科目の学力を重視するとともに、出願書類や口述試験により、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学の学力を重視するとともに、口述試験により理解度、勉学意欲、基本的知識等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科の学力を重視するとともに、口述試験により理解度、勉学意欲、資質等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・物理の学力及び英語の語学力を重視するとともに、口述試験により日本語または英語によるコミュニケーション能力、勉学意欲、資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、6教科8科目（数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民、情報）又はそれに相当する科目を学び、そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は物質の化学的性質・構造・反応などに関する基礎的原理の理解、新しい機能性物質の創製、さらに生活を支える化学製品の開発・製造から持続発展可能なエネルギー・環境技術の実現に至る幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、現代社会の諸問題を解決できる創造力と技術力を身につけた優れた研究者・技術者を養成するためにプログラム制カリキュラムを採用しています。コアプログラムで基礎学力を修得後、主題ごとに体系化された6つのアドバンスプログラムから複数のプログラムを選択履修することで、化学の基本原理の探求と応用技術の創造に挑戦する力を身につけることができます。

“独創性や観察力など独自に考える力”をもち“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針／物質化学類

■一般選抜（39ページ）

基礎学力に加え、物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）（71 ページ）

基礎学力に加え、出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、思考能力と論述能力、化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）（113 ページ）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、思考能力と論述能力、化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■帰国生徒選抜（135 ページ）

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試（141 ページ）

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、化学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試（145 ページ）

化学及び数学の学力を重視するとともに、口述試験により、大学での授業を理解するための基礎知識、日本語または英語によるコミュニケーション能力、化学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した应用能力を涵養し、先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また、自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・独創性と創造性があり、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針／機械工学類

機械工学類、フロンティア工学類及び電子情報通信学類の一般選抜は3学類一括で実施します。

■一般選抜（40 ページ）

基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。所属を希望する学類を出願時に申請し、入試成績により、希望した学類の中から入学後の配属学類を決定します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）（72 ページ）

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに、口述試験により、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、表現力などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）（113 ページ）

「日本数学 A-lympiad」における受賞、及び、成績証明書（調査書）による基礎学力を参考にし、口述試験（プレゼンテーションを含む）により、論理的思考力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、社会的課題の解決に取り組む意欲等を評価します。

■女子枠特別入試（121 ページ）

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに、口述試験により、勉学意欲、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、表現力などを評価します。

■帰国生徒選抜（135 ページ）

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試（141 ページ）

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試（145 ページ）

理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を評価するとともに、口述試験により、日本語または英語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の教科・科目に係る個別テストで課している科目（数学・理科・

英語)について、十分理解しておく必要があります。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、様々な事象に対して探求力を高めることを望みます。

【フロンティア工学類】

本学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず、電子情報機械、人間機械、マテリアルの3つのコアプログラムと、知能機械、ヒューマンメカトロニクス、マテリアルデザインの3つの基本フロンティアプログラムに加えて、先端横断、先進物理計測の2つの副フロンティアプログラムを組み合わせる履修します。

求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針／フロンティア工学類

機械工学類、フロンティア工学類及び電子情報通信学類の一般選抜は3学類一括で実施します。

■一般選抜 (40ページ)

基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。所属を希望する学類を出願時に申請し、入試成績により、希望した学類の中から入学後の配属学類を決定します。

■超然特別入試 (A-lympiad 選抜) (113ページ)

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野の高いレベルの学力、フロンティア工学類に対する理解と勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■女子枠特別入試 (122ページ)

大学入学共通テストで数学、理科、外国語及び情報の基礎学力を評価するとともに、口述試験により、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、工学分野の資質、論理的思考力、表現力などを評価します。

■帰国生徒選抜 (135ページ)

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試 (141ページ)

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試 (145ページ)

理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、日本語または英語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の教科・科目に係る個別テストで課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておく必要があります。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、人工知能、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに関心があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取り組みたい人

選抜の基本方針／電子情報通信学類

機械工学類、フロンティア工学類及び電子情報通信学類の一般選抜は3学類一括で実施します。

■一般選抜 (40ページ)

基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。所属を希望する学類を出願時に申請し、入試成績により、希望した学類の中から入学後の配属学類を決定します。

■KUGS 特別入試

(総合型選抜) (73ページ)

出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

(デジタル人材選抜) (98 ページ)

出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、本学類の情報通信コースで実施される高度情報専門人材育成への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試 (A-lympiad 選抜) (113 ページ)

出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価します。

■女子枠特別入試 (123 ページ)

出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■帰国生徒選抜 (135 ページ)

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試 (141 ページ)

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試 (145 ページ)

英語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学の学力を重視するとともに、口述試験により、日本語または英語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことを望みます。また、一般選抜の教科・科目に係る個別テストで課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておくことを求めます。

【地球社会基盤学類】

本学類では、共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS) に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常の生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
- ・地球惑星科学、環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人
- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針／地球社会基盤学類**■一般選抜 (40 ページ)**

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。また、理系科目だけではなく国語や地理歴史・公民、及び情報を含む幅広い能力も評価します。

■KUGS 特別入試**(総合型選抜) (74 ページ)**

大学入学共通テストと成績証明書（調査書）により基礎学力を評価し、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

(防災・復興人材選抜) (104 ページ)

出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、防災・復興への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試 (A-lympiad 選抜) (113 ページ)

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考に、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、理工学分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■女子枠特別入試 (124 ページ)

大学入学共通テストにより基礎学力を評価し、口述試験により地球惑星科学若しくは社会基盤工学に対する勉学意欲及び資質を評価します。

■帰国生徒選抜 (135 ページ)

理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。

■国際バカロレア入試 (141 ページ)

地球惑星科学及び社会基盤工学の基礎となる数学、物理及び化学の学力を重視し、成績評価証明書等により評価します。また、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試 (145 ページ)

英語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学の学力を重視するとともに、口述試験により、学類での授業を理解するための基礎知識、日本語または英語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくことが必要です。特に、理

系科目である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけておく必要があります。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系や情報の科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生物科学、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがあります。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科学科科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・日本海や世界の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファイナー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針／生命理工学類

■一般選抜（41ページ）

基礎学力に加え、生命科学の基本的科目である数学、理科、外国語（特に英語）の学力を評価します。これらに加え、国語や地理歴史・公民、及び情報を含む幅広い能力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）（75～76ページ）

基礎学力に加え、高等学校等での課題研究や自主的な取り組みでの成果や、生物科学コースでは「動物・植物・微生物やそれらを構成する細胞・生体分子を対象とした細胞生物学、分子生物学、進化生物学、発生生物学、生化学など」への関心、海洋生物資源コースでは「海洋生物資源学、水産増養殖学、魚類生理学、生態学、保全生物学、環境学など」への関心を評価します。評価に当たっては、出願書類や口述試験（プレゼンテーションを含む）を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）（113ページ）

出願書類を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を行い、特定の分野における傑出した能力、社会的課題の解決に取り組む意欲、生命科学の基礎研究若しくは応用研究への関心などを評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

基礎学力に加え、数学、理科、英語の学力を評価します。加えて、成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

生命理工学にとっての基礎となる数学・理科の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

数学、理科、英語の学力を評価します。口述試験では、学類での授業を理解するための基礎知識や勉学意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、学校教育法に基づく大学における医学の正規の課程に相当し、卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ、合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で、医学類では、社会の変化に適応しつつ、多様かつ高度な医療ニーズに応え、プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

- 明確な目的意識と強い使命感を有し、知識や技能の習得能力、論理的及び倫理的な思考力、協調性を有する人材を求めて選抜を行います。
- なお、外国人留学生については、医師国家試験が日本語で行われる関係上、相応の日本語能力を求めます。

選抜の基本方針／医学類

選抜の方法としては筆記試験、口述試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため、高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と、単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり、偏りなく身につけておくことが望まれますが、特に理数系科目に重点を置き、筆記試験においてその能力を測ります。また、自己表現能力、課外活動（ボランティア、部活動、生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性）、やり遂げる力（継続力）等を口述試験で評価します。

加えて、将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材養成を目的とする学校推薦型選抜の特別枠では、石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とします。

また、同じく地域医療に従事する人材養成を目的とする総合型選抜の地元育成枠では、高等学校等卒業後2年以内までの受験を可能とし、北

陸の地域医療に貢献する意思を持った者を対象とします。

次いで、研究志向の高い人材を選抜・養成することを目的とする医学類・高大院接続入試の研究医枠では、医学研究を推進する高い志を持った者を対象とします。

■一般選抜 (42 ページ)、■KUGS 特別入試 (総合型選抜) (77 ページ)、(学校推薦型選抜) (84～87 ページ)、■超然特別入試 (A-lympiad 選抜) (116 ページ)、■医学類・高大院接続入試 (127 ページ)、■帰国生徒選抜 (135 ページ)、■私費外国人留学生入試 (145 ページ)

【薬学類】

薬学類は、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題の解決に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献する多様な「薬 (くすり) 専門人」の養成を基本理念とし、以下のような人材の養成を目指します。第一に、次代の薬学教育・薬学研究を担う、博士 (薬学) の学位と薬剤師資格を併せ持つ「大学教員」、がん・生活習慣病・認知症・感染症等の主要疾患から難治性の希少疾患まで、革新的な医薬品の創出に取り組む「薬学研究者」等、薬学高度専門人材の養成を本学類の使命として特に重視します。第二に、超高齢社会、超過疎化、情報通信技術革新、国際化など、時代の急速な変化に対応して、人類の健康増進や疾病予防・治療に貢献できる多様な「薬学プロ人材」を養成します。第三に、薬学の知識のみならず多角的な知識・経験に基づいて物事を俯瞰でき、問題解決能力を身につけた「主導的薬剤師」を養成します。

一般選抜の入学者は、基礎・専門科目やキャリア形成科目群の学修を通して、自らの適性と使命を見極めた上で進路を決定していく教育システムを取っていますが、中でも本学類では大学院博士課程 (4 年制) への進学を強く推奨します。薬学類・高大院接続入試の入学には、大学院博士課程修了までの一貫した教育を導入しています。

求める人材／薬学類共通

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・健康や医療に関する諸課題に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献したい人
- ・国内外の大学において、健康増進や医療の進歩につながる学術研究を推進するとともに、次代の薬学教育を担う大学教員を目指す人
- ・国内外の研究機関において、革新的医薬品の創出に資する先進的な基礎研究に携わる薬学研究者を目指す人
- ・薬剤師資格を持ち、他の専門性も身につけた「薬学プロ人材」として、国内外の幅広い健康・医療分野で活躍することを目指す人
- ・高いレベルの臨床能力と研究能力を有し、医師、看護師等の医療従事者と連携しながら、患者を主体とした質の高い医療を提供するとともに、薬剤師を統率する主導的薬剤師 (基幹病院の薬剤部長等) を目指す人

求める人材／薬学類・高大院接続入試

- ・上記に加えて、薬学や健康・医療に関連する分野を深く主体的に学ぶことに意欲が高く、大学院医薬保健学総合研究科・薬学専攻博士課程 (4 年制) まで進学し、将来、国公立・私立大学の薬学関連の教員・研究者として、世界をリードする最先端研究を行いながら、次代の人材育成に積極的に取り組むことを目指す人

選抜の基本方針／薬学類

■一般選抜 (42 ページ)

高等学校等での高いレベルの基礎学力と、特に理数英科目における秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

■薬学類・高大院接続入試 (130 ページ)

知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価し、特に以下の (1) ～ (4) を重視します。(1) は書類審査及び大学入学共通テストの得点、(2) ～ (4) は書類審査、小論文及び口述試験で評価を行い、薬学類・高大院接続入試で求める人材であるかどうか、総合的に判断します。

- (1) 必要な基礎学力を備えているか
- (2) 将来への目的意識が明確で、そこへ向かう意欲・資質を有するか
- (3) 本質を理解しようとする探究心や洞察力を持ち、自主的・主体的に問題を見出して解決することに積極的か
- (4) 本学における博士課程までの一貫した学修を強く希望しているか

■帰国生徒選抜 (135 ページ)

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力を口述試験により評価します。

■国際バカロレア入試 (141 ページ)

素質・適性・高いレベルの基礎学力、特に理数科目における秀でた学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

■私費外国人留学生入試 (145 ページ)

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修する科目 (大学入学共通テストで課している科目) について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数科目と英語の高い基礎学力と理解力が必須です。また、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題について、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【医薬科学類】

医薬科学類は、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開できる高度な研究基盤力を備えた研究者人材の養成を基本理念とします。本学類には、生命医科学と創薬科学の 2 つのコースがあり、1 年次に医学と薬学の基礎的科目を共通に修得した後、コースに分かれて各専門性を深化させ、大学院博士前期・後期課程に進学して、医学・薬学の幅広い視点といずれかの深い専門性を併せ持つ特色ある研究者人材の養成を目指します。生命医科学コースでは、薬学の基礎的知識も備えた、基礎医学・生命医科学領域を専門とする研究者を、創薬科学コースでは、医学の基礎的知識も備えた、基礎薬学・創薬科学領域を専門とする研究者を養成します。各コースへの配属は、2 年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

本学類では、以下に示す人材を広く求め、特に少数精鋭の特徴的な医薬科学教育を受けて、将来、世界の最先端医療や医薬品の研究・開発をリードする意欲を持つ人の入学を期待します。

求める人材

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・基礎医学及び基礎薬学を広く学び、生命医学や創薬科学の発展に興味を持つ研究心旺盛な人
- ・将来、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる研究成果を挙げて社会に貢献したい人

選抜の基本方針／医薬科学類

■一般選抜（43ページ）

高等学校等で学ぶ教科全般についての基礎的知識と、特に数学、理科及び英語の高いレベルの学力を筆記試験によって評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）（113ページ）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

学類での授業を理解するための学力を教科・科目に係る個別テストにより評価し、理数系分野の知識、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■国際バカロレア入試（141ページ）

数学、理科の学力を成績評価証明書により評価し、理数系分野の知識及び英語の高いレベルの学力、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

日本語の聴解・読解力に加え、数学、理科及び英語の学力を重視するとともに、学類での授業を理解するための学力を教科・科目に係る個別テストにより評価し、理数系分野の知識、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。また、先進的な医療や医薬品に関して、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、診療放射線技術学専攻、医療検査技術学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻とします。

【看護学専攻】

看護学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、人々が、グローバル化する社会、多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健及び福祉現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、看護実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、保健師*の国家試験受験資格を取得することができます。

*保健師課程は、選択制です。保健師として将来就職を希望する学生（最大40名）で、所定の科目を履修し、その単位を修得した者のみが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

【診療放射線技術学専攻】

診療放射線技術学は、放射線、磁気、超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに、医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、研究室配属を通じて、将来の診療放射線技術学を担う課題探求能力や、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【医療検査技術学専攻】

医療検査技術学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などの機能が低下したり損傷を受けた人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人

- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【診療放射線技術学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支える意欲のある人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【医療検査技術学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引き出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針／保健学類

■一般選抜（43～45ページ）

基礎学力に加え、看護学・診療放射線技術学・医療検査技術学の3専攻は数学・理科及び英語の学力、理学療法学・作業療法学の2専攻は理科及び英語の学力を重視します。なお、理学療法学・作業療法学は2専攻併願で実施し、出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）（89～93ページ）

基礎学力に加え、口述試験で医療人としての適性の評価並びに調査書等の出願書類による総合評価をします。

■KUGS特別入試（防災・復興人材選抜）（105～107ページ）

大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに、口述試験により医療人としての資質や適性及び本学類で実施される防災・復興人材育成への明確な志向等を評価します。

■帰国生徒選抜（135ページ）

理科と英語の学力に加え、成績証明書（調査書）による総合評価をします。

■国際バカロレア入試（141ページ）

口述試験により理系能力及び医療人としての適性の評価並びに提出書類（志願理由書）等による総合評価をします。

■私費外国人留学生入試（145ページ）

教科・科目に係る個別テストにより本学類の修学上に必要な基礎学力を有しているかを評価し、口述試験を通じて、志願者の日本語能力（対人コミュニケーション能力を含む）、本学類で修学することや医療人として職務を遂行することの適格性及び適性を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【診療放射線技術学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことを望みます。また、文章を正確に読解し、事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【医療検査技術学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校等においてこれらの教科の履修を望みます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

【理学療法学専攻】

高等学校等までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

《一括入試》

【文系一括、理系一括】

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げています。さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は、上述の目標と大学に求められる社会的役割を踏まえ、入学後の学修、研究に必要な基礎学力を有し、さらに豊かな教養の涵養、高い専門性の修習を目指す人が入学することを期待します。

特に文系一括、理系一括入試においては、様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち、幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり、かつ、積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れます。

一括入試で入学した学生は、総合教育部に1年間所属し、文系の場合は人文科学・社会科学に関する分野を、理系の場合は自然科学に関する分

野を広く学び、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、文系の場合は融合学域又は人間社会学域の中から、理系の場合は融合学域、理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類、保健学類理学療法学専攻及び作業療法学専攻を除く）の中から移行する学類（保健学類の場合は専攻）を決定します。

求める人材

- ・多様な分野にまたがり強い興味と関心を持つ人
- ・幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意がある人
- ・積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人
- ・リーダーシップと協調性を持つ、あるいはこれからそれらを身につけることを目指す人
- ・意思決定に伴う責任を自覚した上で、客観的かつ科学的な状況分析を心がける人

選抜の基本方針／文系一括、理系一括

■一般選抜（46ページ）

文系一括入試では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

理系一括入試では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力・表現力を身につけておくことを望みます。

4

募集人員

学域・学類等		入学定員	募 集 人 員																					
			一般選抜		特別選抜																			
					KUGS特別入試							超然特別入試												
			前期日程	一括入試	総合型選抜	学校推薦型選抜	デジタル人材選抜	防災・復興人材選抜	英語総合選抜	A-lympiad選抜	超然文学選抜	女子枠特別入試	医学類・高大院接続入試	薬学類・高大院接続入試	在外留学生推薦入試	社会人選抜	帰国生徒選抜	国際バカロレア入試	私費外国人留学生入試					
融合学域	先導学類	55	40 〔文系傾斜20〕 〔理系傾斜20〕	文系	68	Ⅱ 6	—	—	—	Ⅱ若干名	Ⅰ若干名	若干名	—	—	—	3	若干名	若干名	若干名	若干名				
	観光デザイン学類	55	37 〔文系傾斜23〕 〔理系傾斜14〕			Ⅱ 12 一般枠 6 特別枠 6	—	—	Ⅱ 2	Ⅱ若干名	Ⅰ若干名	若干名	—	—	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名				
	ス マ ー ト 創成科学類	55	42 〔文系傾斜15〕 〔理系傾斜27〕			Ⅱ 3	—	Ⅱ 6	—	Ⅱ若干名	Ⅰ若干名	若干名	—	—	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名				
	計	165	119			21	—	6	2	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—				
人間社会学域	人文学類	138	117	移行人数 （先導学類 3） 観光デザイン学類 2 スマート創成科学類 1 人文学類 13 法学類 15 経済学類 15 学校教育学類 共同教員養成課程 1 地域創造学類 8 国際学類 10	理系	78	Ⅱ 8	—	—	—	—	Ⅰ若干名	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	法 学 類	150	125				Ⅱ 10	—	—	—	—	Ⅰ若干名	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	経済学類	131	106				—	Ⅰ 10	—	—	—	Ⅰ若干名	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	学校教育学類 共同教員養成課程	85	56				Ⅱ 18	Ⅱ 7	県教員枠 3 教科・免許状 枠 （国社英 2） 数理 1 音楽 4	—	Ⅱ 3	—	Ⅰ若干名	若干名	—	—	—	—	—	若干名	若干名			
							美術 3																	
							保健 5																	
							家政 3																	
	地域創造学類	83	56				Ⅱ 15	—	—	Ⅱ 4	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	国際学類	81	51				Ⅰ 20	—	—	—	—	Ⅰ若干名	若干名	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
	計	668	511				71	17	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	理工学域	数物科学類	78				62	移行人数 （先導学類 3） 観光デザイン学類 2 スマート創成科学類 3 数物科学類 8 物質化学類 7 機械工学類 10 フロンティア工学類 20 電子情報通信学類 7 地球社会基盤学類 5 生命理工学類 6 医学類 1 薬学類 2 保健学類 1 看護学専攻 1 診療放射線技術学専攻 1 医療検査技術学専攻 2	理系	78	Ⅱ 3	—	—	—	—	Ⅰ若干名	—	5	—	—	—	若干名	若干名	若干名
		物質化学類	78				68				Ⅱ 3	—	—	—	—	Ⅰ若干名	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名
機械工学類		89	195	Ⅱ 5	—	—	—				—	Ⅰ若干名	—	20	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
フロンティア工学類		108		—	—	—	—				—	Ⅰ若干名	—	8	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
電子情報通信学類		116	（理工3学類一括入試） 機械工学類 54 フロンティア工学類 80 電子情報通信学類 61	Ⅱ 3	—	Ⅱ 40	—				—	Ⅰ若干名	—	5	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
地球社会基盤学類		94	67	Ⅱ 6	—	—	Ⅱ 10				—	Ⅰ若干名	—	6	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
生命理工学類		56	45	Ⅱ 5	—	—	—				—	Ⅰ若干名	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
計		619	437	25	—	40	10				—	—	—	44	—	—	—	—	—	—	—			
医薬保健学域		医学類（6年制）	112 〔予定〕	79	移行人数 （先導学類 3） 観光デザイン学類 2 スマート創成科学類 3 数物科学類 8 物質化学類 7 機械工学類 10 フロンティア工学類 20 電子情報通信学類 7 地球社会基盤学類 5 生命理工学類 6 医学類 1 薬学類 2 保健学類 1 看護学専攻 1 診療放射線技術学専攻 1 医療検査技術学専攻 2	理系	78				特別枠Ⅱ 2	Ⅱ 28〔予定〕 一般枠 15 特別枠 13〔予定〕	—	—	—	Ⅱ若干名	—	—	特別枠 2 〔予定〕	—	—	若干名	—	若干名
		薬学類（6年制）	65	53							—	—	—	—	—	—	—	—	10	—	—	若干名	若干名	若干名
	医薬科学類	18	18	—				—	—	—	—	Ⅰ若干名	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	看護学専攻	79	60	—				Ⅱ 14	—	Ⅱ 4	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	診療放射線技術学専攻	40	34	—				Ⅱ 3	—	Ⅱ 2	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	医療検査技術学専攻	40	30	—				Ⅱ 6	—	Ⅱ 2	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	理学療法学専攻	15	20	—				Ⅱ 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	作業療法学専攻	15	（理学・作業併願入試） 理学療法学専攻 10 作業療法学専攻 10	—				Ⅱ 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名				
	小 計	189	144	—				33	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	計	384	294	2				61	—	8	—	—	—	—	2	10	—	—	—	—				
合 計		1,836	1,361	146	119	78	46	27	—	—	—	44	2	10	3	—	—	—	—					

- (注) 1. 一般選抜は、前期日程のみ実施し、後期日程は実施しません。なお、前期日程の募集人員には、若干名と記載のある入試の募集人員を含みます。
2. 特別選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。
3. 一括入試入学者の移行先は、文系一括入試においては、融合学域及び人間社会学域各学類とし、理系一括入試においては、融合学域、理工学域及び医薬保健学域各学類（医薬科学類、保健学類理学療法学専攻・作業療法学専攻を除く）とします。各学域・学類への移行は2年次からとします。また、1年次は総合教育部に所属します。
4. 先導学類、観光デザイン学類、スマート創成科学類の文系傾斜及び理系傾斜は受験教科・科目が異なります。詳細は31～33ページを確認してください。
5. 先導学類、観光デザイン学類、スマート創成科学類の一般選抜（前期日程）では、出願時に第2志望として融合学域の他の学類のいずれかを選択することができます。また、合格者は学類別に発表します。
6. 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の一般選抜（前期日程）は、3学類一括で実施します。出願時に第3志望の学類まで選択することができます。また、合格者は学類別に発表します。
7. 保健学類の理学療法学専攻、作業療法学専攻の一般選抜（前期日程）は、2専攻併願で実施します。出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。また、合格者は専攻別に発表します。
8. KUGS 特別入試及び A-lympiad 選抜において、Ⅰは大学入学共通テストを課さない入試、Ⅱは大学入学共通テストを課す入試を指します。
9. 電子情報通信学類のKUGS特別入試デジタル人材選抜Ⅱは「情報通信コース」で実施します。
10. 地球社会基盤学類のKUGS特別入試総合型選抜Ⅱ及び女子枠特別入試は、それぞれ「地球惑星科学コース」（3名）及び「土木防災コース・環境都市コース」（3名）で実施します。
11. 生命理工学類のKUGS特別入試総合型選抜Ⅱは、「生物科学コース」（2名）及び「海洋生物資源コース」（3名）で実施します。
12. 医学類のKUGS特別入試学校推薦型選抜Ⅱの特別枠及び医学類・高大院接続入試の特別枠は文部科学省へ申請予定であり、募集人員は変更することがあります。確定後、金沢大学（入試情報・高大院接続）Web サイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>）でお知らせしますので確認してください。
13. 学校教育学類共同教員養成課程は、アドミッション・ポリシー及び募集人員ページ以外では学校教育学類と表記します。

5 入学者選抜試験日程

区 分		学 類	大学入学共通テスト	出願期間	選抜期日	合格者発表	入学手続		
一般選抜（前期日程）		全学類	1月17日（土）、 18日（日）	1月26日（月） ～2月4日（水）	2月25日（水）、 26日（木）＊	3月9日（月）	3月9日（月） ～15日（日）		
特 別 選 抜	KUGS特別入試	総合型選抜Ⅰ	国際学類	課さない		1次選考（書類選考） 11月27日（木） 最終選考 12月23日（火）	2月11日（水） ～18日（水）		
		総合型選抜Ⅱ	人文学類 数物科学類 物質化学類 機械工学類 電子情報通信学類 生命理工学類	1月17日（土）、 18日（日）	11月 1日（土） ～8日（土）	最終選考 12月6日（土）		1次選考（書類選考） 11月27日（木） 最終選考 2月11日（水）	
			融合学域全学類 法学類 学校教育学類 地域創造学類 地球社会基盤学類			12月6日（土）		2月11日（水）	
			医学類			最終選考 2月8日（日）		1次選考（書類選考） 2月6日（金） 最終選考 2月11日（水）	
			学校推薦型選抜Ⅰ			経済学類		課さない	11月 1日（土） ～8日（土）
		学校推薦型選抜Ⅱ	学校教育学類 保健学類	1月17日（土）、 18日（日）	12月17日（水） ～23日（火）	最終選考 2月8日（日）		2月11日（水）	1次選考（書類選考） 2月6日（金） 最終選考 2月11日（水）
			医学類					最終選考 2月8日（日）	1次選考（書類選考） 2月6日（金） 最終選考 2月11日（水）
		デジタル人材選抜Ⅱ	スマート創成科学類 電子情報通信学類		11月 1日（土） ～8日（土）	最終選考 12月6日（土）		1次選考（書類選考） 11月27日（木） 最終選考 2月11日（水）	
		防災・復興人材選抜Ⅱ	地球社会基盤学類					12月6日（土）	2月11日（水）
			観光デザイン学類 学校教育学類 地域創造学類 保健学類 看護学専攻 診療放射線技術学専攻 医療検査技術学専攻						2月11日（水）
		英語総合選抜Ⅱ	融合学域全学類						12月6日（土）
		超然特別入試	A-lympiad 選抜Ⅰ	融合学域全学類 人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 国際学類 理工学域全学類 医薬科学類	課さない			12月23日（火）	
	A-lympiad 選抜Ⅱ		医学類	1月17日（土）、 18日（日）	12月17日（水） ～23日（火）	2月8日（日）		2月11日（水）	
	超然文学選抜		融合学域全学類 人文学類 学校教育学類 国際学類	課さない	11月 1日（土） ～8日（土）	12月6日（土）	12月23日（火）		
	女子枠特別入試	数物科学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類	1月17日（土）、 18日（日）	11月 1日（土） ～8日（土）	最終選考 12月6日（土）	1次選考（書類選考） 11月27日（木） 最終選考 2月11日（水）			
	医学類・高大院接続入試	医学類		12月17日（水） ～23日（火）	最終選考 2月8日（日）	1次選考（書類選考） 2月6日（金） 最終選考 2月11日（水）			
	薬学類・高大院接続入試	薬学類		1月 20日（火） ～24日（土）					
	在外留学生推薦入試	融合学域全学類	課さない	11月 1日（土） ～8日（土）	12月6日（土）	12月23日（火）			
	社会人選抜	融合学域全学類							
	帰国生徒選抜	経済学類							
		国際学類			最終選考 12月6日（土）	1次選考（書類選考） 11月27日（木） 最終選考 12月23日（火）			
		融合学域全学類 人文学類 法学類 地域創造学類 理工学域全学類 医薬保健学域全学類			2月25日（水）、 26日（木）＊	3月9日（月） ～15日（日）			
		国際バカロレア入試			融合学域全学類 人間社会学域全学類 理工学域全学類 薬学類 医薬科学類 保健学類	12月6日（土）	12月23日（火） 2月11日（水） ～18日（水）		
	私費外国人留学生入試	融合学域全学類 人間社会学域全学類 理工学域全学類							
		医薬保健学域全学類				2月25日（水）、 26日（木）＊	3月9日（月） ～15日（日）		

※選抜期日は学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

特別選抜の日程早見表

日 程	特別選抜	KUGS 特別入試			超然特別入試		・女子枠特別入試	・医学類・高大院接続入試	・薬学類・高大院接続入試	・国際バカロレア入試
		・総合型選抜Ⅰ ・学校推薦型選抜Ⅰ	・総合型選抜Ⅱ（医学類除く） ・学校推薦型選抜Ⅱ（医学類除く）	・英語総合選抜Ⅱ ・防災・復興人材選抜Ⅱ ・デジタル人材選抜Ⅱ	・学校推薦型選抜Ⅱ（医学類） ・総合型選抜Ⅱ（医学類）	・超然文学選抜 ・Aillympiad選抜Ⅰ				
令和7年 11月1日（土）～8日（土）		出願期間				出願期間		出願期間		出願期間
12月6日（土）		選抜期日				選抜期日		選抜期日		選抜期日
12月23日（火）		合格者発表				合格者発表				合格者発表
12月17日（水）～23日（火）				出願期間		出願期間		出願期間		
令和8年 1月17日（土）、18日（日）			大学入学共通テスト				大学入学共通テスト			
1月20日（火）～24日（土）									出願期間	
1月26日（月）～2月4日（水）		一般選抜（前期日程）出願期間								
2月8日（日）				選抜期日		選抜期日		選抜期日		
2月11日（水）			合格者発表				合格者発表			
2月11日（水）～18日（水）		入学手続								
2月25日（水）、26日（木）*		一般選抜（前期日程）選抜期日								

※選抜期日は学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

- (注) 1. 上記特別選抜で合格しなかった場合も、一般選抜（前期日程）に出願・受験できます。また、上記特別選抜の合格者発表前であっても、一般選抜（前期日程）に出願できます。
2. 一般選抜（前期日程）に出願する場合は、大学入学共通テスト（志望する学域・学類等が課す全ての教科・科目）を受験しなければなりません。
3. 上記特別選抜に合格し、入学手続を行った者は、一般選抜を受験しても合格者となりません（本学学長の入学辞退許可を得た場合を除く）。
4. 在外留学生推薦入試、社会人選抜、帰国生徒選抜、私費外国人留学生入試は記載していませんので、各選抜のページを確認してください。
5. 1次選考を実施する選抜は、1次選考の日程を省略しています。

6 英語外部試験

「大学入学共通テストを課す全選抜」と、「大学入学共通テストは課さないが英語外部試験が必要な選抜」において英語外部試験を利用する場合は、出願時に英語外部試験のスコアを提出する必要があります。

1 英語外部試験のスコア提出における注意事項（全選抜共通）

出願時にスコアの写しを必ず提出してください。原本を提出した場合は返却しません。

また、令和5（2023）年4月以降に取得したスコアが有効です。ただし、本学選抜期日（2日に渡る選抜は選抜初日）において、各英語外部試験実施団体が定める有効期限を過ぎたスコアは利用できません。

英語外部試験	提出時の注意事項
ケンブリッジ英語検定	成績確認Webサイトから本学を試験結果の共有先に指定してください。
ケンブリッジ英語検定リングスキル	複数回受検の平均点は認めません。Test Report に1受検日のAverage Scoreのみが表示されるよう（4技能のTest Dateが同一日になるよう）に依頼してください。リングスキルは自宅受検も対象です。
実用英語技能検定	可否にかかわらず2級以上のCSEスコアにて判定します。提出可能な英検の種類は、従来型、CBT、S-CBT、S-Interviewで、英検Jr.及び英検IBAは除きます。必ず4技能のCSEスコアが表示されている証明書（合格証明書若しくは試験の個人成績表）を提出してください。
GTEC（CBT）	「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」を提出してください。
GTEC検定版（Advanced）	成績番号が記載された「検定版 受検結果表」を提出してください。受検結果表はGTEC公式サイトから取得してください。
IELTS	本学へ成績証明書を送付する手続きを行ってください。手続方法はIELTSを主催する団体により異なります。
TEAP（4技能）、TEAP（CBT）	「OFFICIAL SCORE REPORT」を提出してください。
TOEFL iBT（Home Edition含む）	「Test Date Score」のみ認め、「My Best Score」は認めません。「Institutional Score Report（旧名：Official Score Report）」を本学へ送付する手続きを行ってください。 金沢大学 Institution Code：8408
TOEIC（L & R） （学校推薦型選抜Ⅰの経済学類、社会人選抜のみ）	TOEIC 申込サイトのスコア提出ページから、申請コードを入力し、本学へスコアを提出してください。 金沢大学学務部入試課申請コード：00006501

2 大学入学共通テストの『英語』での英語外部試験の利用

一般選抜（全学域学類（一括入試含む））及び特別選抜（大学入学共通テストを課す全選抜）において、英語外部試験で一定以上のスコアの場合に、スコアの提出を認めます。

これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの『英語』の得点と比較して高得点の方を利用します。

なお、英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

利用できる英語外部試験	本学が求める一定以上のスコア
ケンブリッジ英語検定（リングスキル含む）	140
実用英語技能検定	1950
GTEC（CBT）	960
GTEC検定版（Advanced）	960
IELTS	4.0
TEAP（4技能）	225
TEAP（CBT）	420
TOEFL iBT（Home Edition含む）	42

7 一般選抜(前期日程)

一般選抜(前期日程)は、大学入学共通テスト並びに本学が行う教科・科目に係る個別テスト等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

合否判定は、配点比率を示した大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の結果を総合して行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため調査書を活用します。

1 実施日程

(1) 大学入学共通テスト

大学入学共通テスト実施日……令和8年1月17日(土)、18日(日)

(2) 教科・科目に係る個別テスト

項 目	前 期 日 程
出 願 期 間	令和8年1月26日(月)～2月4日(水) (Web出願システムは、1月19日(月)から事前登録可能)
2段階選抜の第1段階選抜合格者発表日	2月11日(水) ※医薬保健学域医学類のみ
学 力 検 査 等 実 施 日	2月25日(水)、26日(木) ※26日(木)は一部の学類のみ
合 格 者 発 表 日	3月9日(月)
入 学 手 続 期 間	3月15日(日)まで

2 出願資格

次のいずれかに該当し、令和8年度大学入学者選抜大学入学共通テストにおいて、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目(28～46ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」)を受験した者*

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第1号から第5-2号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

【注】 上記(4)により出願しようとする場合は、個別の入学資格審査を行いますので、本学Webサイトの「入学資格審査申請要領」により申請してください。

本学(入試情報・高大院接続)Web サイト 本学トップページ>入試情報・高大院接続>入試情報(学士課程)>入学資格審査申請要項

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-sinsa>

※ 大学入学共通テストで、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、教科・科目に係る個別テスト等を受験できません。

【参考】学校教育法施行規則第 150 条

学校教育法第 90 条第 1 項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 5-2 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- 6 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学者審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

※学校教育法施行規則第 150 条第 4 号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE A レベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際 A レベル）資格を有する者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。次の表で確認してください。

○出願に必要な GCE A レベル資格及び国際 A レベル資格の科目数及び評価（前期日程）

学域・学類等		必要な科目数及び評価
融合学域	先導学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」、「生物」のうち 2 科目を含む。
	国際学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
理工学域	数物科学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	物質化学類	
	理工 3 学類一括入試 （機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類）	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「数学」1 科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち 2 科目の計 3 科目を含む。
	薬学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の 3 科目を含む。
	医薬科学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「数学」1 科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち 2 科目の計 3 科目を含む。
	保健学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
「文系一括、理系一括」入試		A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。

3 入学者選抜の実施教科・科目等

学域・学類等			選抜方法等	教科・科目に係る個別テスト等							備考 〔欠員の補充の方法等〕	
				教科・科目に係る個別テスト	実技検査等				2段階選抜 大学入学共通テストの成績 による第1段階選抜	第1段階の選抜による合格者数		
					実技検査	口述試験	総合問題	外国語（リスニング）		定員に対する倍率		その他
融合学域	先導学類	文系傾斜	○			○（選択）						
		理系傾斜	○									
	観光デザイン学類	文系傾斜	○			○（選択）						
		理系傾斜	○									
	スマート創成科学類	文系傾斜	○			○（選択）						
		理系傾斜	○									
人間社会学域	人文学類		○			○						
	法学類		○									
	経済学類		○									
	学校教育学類		○			○（選択）						
	地域創造学類		○									
	国際学類		○			○（選択）						
理工学域	数物科学類		○									
	物質化学類		○									
	理工3学類一括入試 （機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類）		○									
	地球社会基盤学類		○									
	生命理工学類		○									
医薬保健学域	医学類		○		○			○	3倍程度			
	薬学類		○									
	医薬科学類		○									
	保健学類	看護学専攻	○									
		診療放射線技術学専攻	○									
		医療検査技術学専攻	○									
		理学・作業併願入試 （理学療法学専攻 作業療法学専攻）	○									
一括	文系一括	○			○							
	理系一括	○										

欠員の補充は、追加合格及び欠員補充第2次募集により行います。

- （注） 1. ○印は該当することを示し、網掛けは該当しないことを示します。
2. 実施教科・科目等については、31～46ページで確認してください。

共通の注意事項

1. 教科・科目に係る個別テスト等

(1) 出題範囲は以下のとおりです。

教科	科目（出題範囲）
国語	『現代の国語，言語文化』
数学	『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C』 (数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aは「全範囲」，数学Bは「数列」，数学Cは「ベクトル」を出題範囲)
	『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C』 (数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aは「全範囲」，数学Bは「数列」，「統計的な推測」，数学Cは「ベクトル」，「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲)
理科	『物理基礎，物理』
	『化学基礎，化学』
	『生物基礎，生物』
外国語	『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』

(2) 配点

「理科」2科目を課す学域・学類等については，2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

2. 大学入学共通テスト

(1) 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は，指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし，「地理歴史」「公民」又は「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は，それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。なお，学類等で別に定めている場合がありますので，各学域・学類等の注意事項も必ず確認してください。

（「地理歴史」「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合，解答順に前半に受験した科目を第1解答科目，後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

(2) 「地理歴史」「公民」において，2科目選択する場合の組み合わせは以下のとおりです。

		地理総合， 地理探究	歴史総合， 日本史探究	歴史総合， 世界史探究	地理総合／歴史総合／公共			公共，倫理	公共， 政治・経済
					「地理総合」 及び「歴史総合」	「地理総合」 及び「公共」	「歴史総合」 及び「公共」		
地理総合， 地理探究			○	○	×	×	○	○	○
歴史総合， 日本史探究		○		○	×	○	×	○	○
歴史総合， 世界史探究		○	○		×	○	×	○	○
地理 総合／ 歴史 総合／ 公共	「地理総合」 及び「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 及び「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 及び「公共」	○	×	×				×	×
公共，倫理		○	○	○	○	×	×		×
公共，政治・経済		○	○	○	○	×	×	×	

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は，「○」の組合せから選択でき，「×」の組合せは選択できません。

※『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，2出題範囲を選択解答する必要があります。なお，「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は，「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したものとします。

- (3) 理科において、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。
- (4) 「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- (5) 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- (6) 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- (7) 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

3. その他

- (1) **大学入学共通テストで、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、出願無資格者となります。**

また、教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。

- (2) 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- (3) 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。

4. 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、高等学校等から提出された「調査書」を次のとおり活用します。

- (1) 主体性等評価の配点は、全学統一して、大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの合計配点の概ね2%とします。
- (2) 学力検査の合計点により可否のボーダー層を抽出し、このボーダー層の志願者にのみ主体性等評価の得点を加算して可否を判定します。
- (3) 調査書における「5. 総合的な探究の時間の記録」，「6. 特別活動の記録」，「7. 指導上参考となる諸事項」及び「8. 備考」欄に記入された肯定的意見を点数化します。

また、既卒者が提出する調査書についても、対応する記入欄の記述内容を点数化します。

- (4) それぞれの項目における具体的な活動内容、活動期間、役職名等について客観的な基準を設けて評価します。
- (5) 調査書を提出できない志願者の主体性等評価には、自己申告による「学習及び活動履歴報告書」を使用し、同じ評価項目で点数化します。この場合、留学等、資格・表彰等については証明書等の写しの提出が必要です。
- (6) 「調査書」の記入欄に対応した評価項目を設定し、点数化します。

【前期日程】融合学域

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等						
	教科		科目名等			教科等	科目名等				2段階 選抜	
先導学類 40人	文系傾斜 20	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			から2	国 数 その他 外	『現代の国語、言語文化』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C』 『総合問題』 『英語』 から2				—
		理系傾斜 20	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			から1	数 理 外	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』 『物理基礎、物理』、『化学基礎、化学』、 『生物基礎、生物』から1 『英語』			
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
	試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
文系傾斜	共通テスト		200	※200(100×2)		200	100	200	50			950
	教科・科目に係る個別テスト等		※450			※450		800		※450		1700
	計	国語・数学選択(個別)	650	200		650	100	1000	50			2650
		国語・総合問題選択(個別)	650	200		200	100	1000	50	450		2650
数学・総合問題選択(個別)		200	200		650	100	1000	50	450		2650	
理系傾斜	共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
	教科・科目に係る個別テスト等					800	500	400				1700
	計		200	100		1000	700	600	50			2650

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(1) 出願時に「文系傾斜」又は「理系傾斜」を選択する必要があります。また、第2志望として融合学域の他の学類のいずれかを選択することができます。

融合学域各学類の第2志望の扱いは以下のとおりとします。

①各学類を第1志望とする受験者を対象に合格候補者を決定します。

②①による方法で合格候補者数を満たすことができなかった場合は、出願時に第2志望を申請した者（①で合格が決定した者を除く）を合格判定に加えます。得点を第2志望学類が課す教科・科目及び配点で換算し、文系傾斜・理系傾斜の区分を維持した上で、それぞれ判定します。第2志望学類が課すすべての教科・科目等を受験していなければ合格判定対象とはしません。

第2志望の有無は第1志望学類の可否に影響しません。また、合格者は学類別に発表します。

【前期日程】融合学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等						
	教科		科目名等			教科等	科目名等				2段階選抜	
観光デザイン学類 37人	文系傾斜 23	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			から2	国 数 その他 外	『現代の国語、言語文化』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C』 『総合問題』 『英語』 } から2				—
		理系傾斜 14	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			から1	数理 外	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』 『物理基礎、物理』、『化学基礎、化学』、 『生物基礎、生物』から1 『英語』			
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
	試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
文系傾斜	共通テスト		200	※200(100×2)		200	100	200	50			950
	教科・科目に係る個別テスト等		※450			※450		800		※450		1700
	計	国語・数学選択(個別)	650	200		650	100	1000	50			2650
		国語・総合問題選択(個別)	650	200		200	100	1000	50	450		2650
		数学・総合問題選択(個別)	200	200		650	100	1000	50	450		2650
理系傾斜	共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
	教科・科目に係る個別テスト等					800	500	400				1700
	計		200	100		1000	700	600	50			2650

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(1) 出願時に「文系傾斜」又は「理系傾斜」を選択する必要があります。また、第2志望として融合学域の他の学類のいずれかを選択することができます。

融合学域各学類の第2志望の扱いは以下のとおりとします。

①各学類を第1志望とする受験者を対象に合格候補者を決定します。

②①による方法で合格候補者数を満たすことができなかった場合は、出願時に第2志望を申請した者（①で合格が決定した者を除く）を合格判定に加えます。得点を第2志望学類が課す教科・科目及び配点で換算し、文系傾斜・理系傾斜の区分を維持した上で、それぞれ判定します。第2志望学類が課すすべての教科・科目等を受験していなければ合格判定対象とはしません。

第2志望の有無は第1志望学類の可否に影響しません。また、合格者は学類別に発表します。

【前期日程】融合学域

学類等及び募集人員等		大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
		教科		科目名等			教科等	科目名等			2段階選抜	
スマート 創成科学類 42人	文系傾斜 15	国 地歴 公民 数理 外国 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			国 その他 数 外	『現代の国語、言語文化』 『総合問題』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C』 『英語』 から1			—		
		理系傾斜 27	国 地歴 公民 数理 外国 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			数 理 外	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』 『物理基礎、物理』、『化学基礎、化学』、 『生物基礎、生物』から1 『英語』			—	
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
文系傾斜	共通テスト		200	※200(100×2)		200	100	200	50			950
	教科・科目に係る個別テスト等		※450			450		800		※450		1700
	計	国語選択(個別)	650	200		650	100	1000	50			2650
		総合問題選択(個別)	200	200		650	100	1000	50	450		2650
理系傾斜	共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
	教科・科目に係る個別テスト等					800	500	400				1700
	計		200	100		1000	700	600	50			2650

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- (1) 出願時に「文系傾斜」又は「理系傾斜」を選択する必要があります。また、第2志望として融合学域の他の学類のいずれかを選択することができます。

融合学域各学類の第2志望の扱いは以下のとおりとします。

①各学類を第1志望とする受験者を対象に合格候補者を決定します。

②①による方法で合格候補者数を満たすことができなかった場合は、出願時に第2志望を申請した者（①で合格が決定した者を除く）を合格判定に加えます。得点を第2志望学類が課す教科・科目及び配点で換算し、文系傾斜・理系傾斜の区分を維持した上で、それぞれ判定します。第2志望学類が課すすべての教科・科目等を受験していなければ合格判定対象とはしません。

第2志望の有無は第1志望学類の可否に影響しません。また、合格者は学類別に発表します。

【前期日程】人間社会学域

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階 選抜
人文学類 117人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				国 外 その他	『現代の国語, 言語文化』 『英語』 『総合問題』			—
	公民									
	数									
	理									
	外 情									
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト	100	※150(75×2)		100	50	100	25			525
教科・科目に係る個別テスト等	300					300		200		800
計	400	150		100	50	400	25	200		1325

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）「基礎を付していない科目」（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』）から2科目を選択した場合、「基礎を付した科目」を選択したもののみなし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階 選抜
法学類 125人	国 地歴	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				国 数 外	『現代の国語、言語文化』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C』 『英語』			—
	公民									
	数 理									
	外 情									
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト	200	※200(100×2)		200	100	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等	500			500		500				1500
計	700	200		700	100	700	50			2450

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）「基礎を付していない科目」（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』）から2科目を選択した場合、「基礎を付した科目」を選択したもののみなし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

【前期日程】人間社会学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等			教科等	科目名等			2段階選抜	
経済学類 106人	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 【6教科8科目】又は【7教科8科目】			から2	国 数 外	『現代の国語, 言語文化』 『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C』 『英語』			—
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト	100	※200 (100×2)		100	100	100	100			700
教科・科目に係る個別テスト等	350			350		350				1050
計	450	200		450	100	450	100			1750

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）「基礎を付していない科目」（『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』）から2科目を選択した場合, 「基礎を付した科目」を選択したものとみなし, 合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

【前期日程】 人間社会学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等						
	教科		科目名等			教科等	科目名等				2段階選抜	
学校教育学類 56人	パターンA	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			から2	国 数 理 その他 外	『現代の国語, 言語文化』 『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』 『総合問題』 『英語』 から1				—
		国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			から1	数 国 理 その他 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C』 『現代の国語, 言語文化』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』 『総合問題』 『英語』 から1				—
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
	試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
パターンA	共通テスト		100	※100 (50×2)		50	50	50	50			400
	教科・科目に係る個別テスト等		200			※200	※200	200		※200		600
	計	数学選択 (個別)	300	100		250	50	250	50			1000
		理科選択 (個別)	300	100		50	250	250	50			1000
		総合問題選択 (個別)	300	100		50	50	250	50	200		1000
パターンB	共通テスト		100	※50 (50×1)		50	100	50	50			400
	教科・科目に係る個別テスト等		※200			200	※200	200		※200		600
	計	国語選択 (個別)	300	50		250	100	250	50			1000
		理科選択 (個別)	100	50		250	300	250	50			1000
		総合問題選択 (個別)	100	50		250	100	250	50	200		1000

注意事項：29～30 ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- 出願時に、「パターンA」又は「パターンB」を選択する必要があります。
- パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- 「地理歴史」「公民」と「理科」で、「〔地理歴史〕」「公民」2科目＋「理科」2科目の4科目受験している場合、以下のように成績を用います。

【パターンA】

- 「地理歴史」「公民」の第1解答科目及び第2解答科目
- 「理科」の第1解答科目

【パターンB】

- 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
- 「理科」の第1解答科目及び第2解答科目

【前期日程】人間社会学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等						
	教科		科目名等			教科等	科目名等				2段階選抜	
地域創造学類 56人	パターンA	国 地歴	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			国 数 外	『現代の国語、言語文化』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C』 『英語』				—	
		公民										
数理												
外 情												
パターンB	国 地歴	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									—	
	公民											
数理												
外 情												
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
	試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
パターンA	共通テスト		40	※180(90×2)		40	90	30	20			400
	教科・科目に係る 個別テスト等(国語傾斜)		300			100		200				600
	教科・科目に係る 個別テスト等(数学傾斜)		100			300		200				600
	計	国語傾斜(個別)	340	180		140	90	230	20			1000
		数学傾斜(個別)	140	180		340	90	230	20			1000
パターンB	共通テスト		40	※90(90×1)		40	180	30	20			400
	教科・科目に係る 個別テスト等(国語傾斜)		300			100		200				600
	教科・科目に係る 個別テスト等(数学傾斜)		100			300		200				600
	計	国語傾斜(個別)	340	90		140	180	230	20			1000
		数学傾斜(個別)	140	90		340	180	230	20			1000

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- 「地理歴史」「公民」と「理科」で、「〔地理歴史〕〔公民〕2科目＋〔理科〕2科目」の4科目受験している場合、以下のように成績を用います。
 - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - 「理科」の第1解答科目
 - 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち、得点の高い科目
- 教科・科目に係る個別テストについて、出願時に「国語傾斜」又は「数学傾斜」を選択する必要があります。

【前期日程】 人間社会学域

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階 選抜	
国際学類 51人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				国 数 その他 外	『現代の国語, 言語文化』 『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C』 『総合問題』 『英語』 }から1			—	
	公民										
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※300(150×2)		200	100	200	50			1050
教科・科目に係る個別テスト等		600			※600		600		※600		1800
計	数学選択(個別)	800	300		800	100	800	50			2850
	総合問題選択(個別)	800	300		200	100	800	50	600		2850

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）「基礎を付していない科目」（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』）から2科目を選択した場合、「基礎を付した科目」を選択したもののみなし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

【前期日程】理工学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
	教科	科目名等			教科等	科目名等			2段階選抜		
数物科学類 62人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, } から1 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』から1 『英語』			—		
	公民 数 理 外 情										
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等					600	500	400				1500
計		200	100		800	700	600	50			2450

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
	教科	科目名等			教科等	科目名等			2段階選抜		
物質化学類 68人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, } から1 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』と『化学』 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『化学基礎, 化学』 『英語』			—		
	公民 数理 外 情										
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等					500	500	500				1500
計		200	100		700	700	700	50			2450

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

【前期日程】理工学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階選抜
3学類一括 (注1) 機械工学類 54人 ・ フロンティア工学類 80人 ・ 電子情報通信学類 61人	国 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』と『化学』 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 (6教科8科目)又は(7教科8科目)				数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』 『英語』			—
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等				600	450	450				1500
計	200	100		800	650	650	50			2450

注意事項：29～30 ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の前期日程の選抜は，3 学類一括で実施します。出願時に第3 志望の学類まで選択することができます。また，学類別に合格者を発表します。第2 志望以降の有無は，第1 志望学類の可否に影響しません。

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階選抜
地球社会 基盤学類 67人	国 地歴	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と 『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				数 理	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』 『物理基礎、物理』、『化学基礎、化学』、 『生物基礎、生物』から1 『英語』			—
	公民 数 理 外 情					外				
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等				500	500	500				1500
計	200	100		700	700	700	50			2450

注意事項：29～30 ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

【前期日程】理工学域

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名				教科・科目に係る個別テスト等						
	教科	科目名等			教科等	科目名等				2段階 選抜	
生命理工学類 45人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から1 『英語』				—	
	公民 数 理 外 情										
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等					500	500	500				1500
計		200	100		700	700	700	50			2450

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

【前期日程】 医薬保健学域

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階選抜	
医学類 79人	国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				数 理 外 その他	『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C』 『物理基礎、物理』と『化学基礎、化学』 『英語』 □述試験（注1）			3倍 程度 （注2）	
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	□述試験	配点合計
共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等					600	600	600			300	2100
計		200	100		800	800	800	50		300	3050

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- （注1） □述試験では、勉学意欲と資質、医師としての適性等を判断するための多面的試問を行います。□述試験にて医師の適性を欠くと判断された場合には、学力検査の成績に関わらず不合格となることがあります。
- （注2） 志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍程度）を超えた場合に、大学入学共通テストの教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者に対してのみ第2段階選抜を実施します。

学類等及び募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階選抜	
薬学類 53人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』と『化学』 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 【6教科8科目】又は【7教科8科目】				数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』と『化学基礎, 化学』 『英語』			—	
	公民 数 理 外 情										
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		100	※50 (50×1)		200	200	200	50			800
教科・科目に係る個別テスト等					300	600	300				1200
計		100	50		500	800	500	50			2000

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

【前期日程】医薬保健学域

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等					
	教科	科目名等				教科等	科目名等				2段階 選抜
医薬科学類 18人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, } から1 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から2 『英語』				—
	公民 数理 外 情										
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		100	※50 (50×1)		200	200	200	50			800
教科・科目に係る個別テスト等					300	600	300				1200
計		100	50		500	800	500	50			2000

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

学類等及び 募集人員等		大学入学共通テストの利用教科・科目名				教科・科目に係る個別テスト等					
		教科	科目名等			教科等	科目名等			2段階 選抜	
保健 学類 144人	看護学 専攻 60人	国 地歴	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, } から1 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』			数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から1 『英語』			—	
		公民									数理 外 情
			『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕								
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※100 (100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等					400	500	600				1500
計		200	100		600	700	800	50			2450

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

【前期日程】 医薬保健学域

学類等及び募集人員等		大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
		教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階選抜
保健学類 144人	診療放射線 技術学専攻 34人	国 地歴 公民	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕				数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』から1 『英語』			—
		数 理 外 情									
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		50	※50(50×1)		200	200	200	50			750
教科・科目に係る個別テスト等					450	450	300				1200
計		50	50		650	650	500	50			1950

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

学類等及び募集人員等		大学入学共通テストの利用教科・科目名				教科・科目に係る個別テスト等					
		教科	科目名等			教科等	科目名等			2段階選抜	
保健学類 144人	医療検査技術学専攻 30人	国 地歴 公民	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』			数 理 外	『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学C』 『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から2 『英語』			—	
		数理 外情	『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕								
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等					400	800	400				1600
計		200	100		600	1000	600	50			2550

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

【前期日程】医薬保健学域

学類等及び 募集人員等		大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
		教科	科目名等			教科等	科目名等			2段階 選抜	
保健 学類 144人	理学療法 学専攻 10人 (注1)	国 地歴 公民	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 } から1			理 外	『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から2 『英語』			—	
	作業療法 学専攻 10人 (注1)	数 理 外 情	『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 【6教科8科目】又は【7教科8科目】								
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト		200	※100(100×1)		200	200	200	50			950
教科・科目に係る個別テスト等						1000	500				1500
計		200	100		200	1200	700	50			2450

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）保健学類の理学療法学専攻，作業療法学専攻の一般選抜（前期日程）は，2専攻併願で実施します。出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。また，合格者は専攻別に発表します。第2志望の有無は第1志望専攻の可否に影響しません。

【前期日程】一括入試

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階 選抜
文系一括 68人	国	『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』から1 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)から1 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1 『英語』 〔3教科3科目〕, 〔3教科4科目〕, 〔4教科3科目〕又は〔4教科4科目〕				外 その他	『英語』 『総合問題』			—
	地歴									
	公民									
	数理									
	外									
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト	※200(100×2)					200				400
教科・科目に係る個別テスト等						200		400		600
計	200					400		400		1000

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

大学入学共通テストの「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲（「外国語」を除く）で高得点の上位2科目が「地理歴史」「公民」の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。また、選択教科により、科目数は2科目～3科目に変動します。なお、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」から3科目となるのは、「数学」2科目と他教科1科目の場合のみです。

学類等及び 募集人員等	大学入学共通テストの利用教科・科目名					教科・科目に係る個別テスト等				
	教科	科目名等				教科等	科目名等			2段階 選抜
理系一括 78人	数 外	『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『英語』 〔2教科3科目〕				理	『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』から1			—
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題	口述試験	配点合計
共通テスト				200		200				400
教科・科目に係る個別テスト等					600					600
計				200	600	200				1000

注意事項：29～30ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

4 試験時間割

1日目：令和8年2月25日（水） 第1限目受験者入室終了時刻 10:00

学域・学类等			試験時間割		
融合学域	先導学類	文系傾斜	外国語 10：30 ～ 12：00	数学（選択） 13：30 ～ 15：00	
		理系傾斜		数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 18：00
	観光デザイン学類	文系傾斜		数学（選択） 13：30 ～ 15：00	
		理系傾斜		数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 18：00
	スマート創成科学類	文系傾斜		数学 13：30 ～ 15：00	
		理系傾斜		数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 18：00
人間社会学域	人文学類		外国語 10：30 ～ 12：00		
	法学類			数学 13：30 ～ 15：00	
	経済学類			数学 13：30 ～ 15：00	
	学校教育学類	パターンA		数学（選択） 13：30 ～ 15：00	理科（選択） 16：20 ～ 17：20
		パターンB		数学 13：30 ～ 15：00	理科（選択） 16：20 ～ 17：20
	地域創造学類			数学 13：30 ～ 15：00	
	国際学類			数学（選択） 13：30 ～ 15：00	
理工学域	数物科学類		外国語 10：30 ～ 12：00	数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 18：00
	物質化学類				
	理工3学類一括入試 （機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類）				
	地球社会基盤学類				
	生命理工学類				
医薬保健学域	医学類		外国語 10：30 ～ 12：00	数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 18：20
	薬学類				
	医薬科学類			数学 13：30 ～ 15：00	理科 16：20 ～ 17：20
	保健学類	看護学専攻		数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 17：20
		診療放射線技術学専攻		数学 13：30 ～ 15：30	理科 16：20 ～ 18：20
		医療検査技術学専攻		数学 13：30 ～ 15：30	
理学療法学専攻 作業療法学専攻			理科 16：20 ～ 18：20		
一括	文系一括		外国語 10：30 ～ 12：00		
	理系一括				理科 16：20 ～ 18：20

2日目：令和8年2月26日（木） 第1限目（口述試験除く）受験者入室終了時刻 9:00

学域・学类等			試験時間割	
融合学域	先導学類	文系傾斜	総合問題（選択） 9:30～11:30	国語（選択） 13:00～14:30
	観光デザイン学類	文系傾斜	総合問題（選択） 9:30～11:30	国語（選択） 13:00～14:30
	スマート創成科学類	文系傾斜	総合問題（選択） 9:30～11:30	国語（選択） 13:00～14:30
人間社会学域	人文学類		総合問題 9:30～11:30	国語 13:00～14:30
	法学類			国語 13:00～14:30
	経済学類			国語 13:00～14:30
	学校教育学類	パターンA	総合問題（選択） 9:30～11:30	国語 13:00～14:30
		パターンB	総合問題（選択） 9:30～11:30	国語（選択） 13:00～14:30
	地域創造学類			国語 13:00～14:30
	国際学類		総合問題（選択） 9:30～11:30	国語 13:00～14:30
一括	文系一括		総合問題 9:30～11:30	
医薬保健学域	医学類		口述試験 9:00～	

8 KUGS特別入試

本学は、自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的リーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける“金沢大学ブランド”人材の育成を教育目標としており、これを実現するために6つの能力からなる金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)*1を定めています。

KUGS 特別入試は、「基礎的知識・技能を修得し、それらを活用して自ら課題を発見し、探究する能力を備えている人」、「将来に明確な目標を持っており、主体的に行動し、他者と協働しながら、自身の夢を実現しようとする強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。

「KUGS 特別入試」には、(1) 総合型選抜Ⅰ、(2) 総合型選抜Ⅱ、(3) 学校推薦型選抜Ⅰ*2、(4) 学校推薦型選抜Ⅱ*2、(5) デジタル人材選抜Ⅱ、(6) 防災・復興人材選抜Ⅱ (7) 英語総合選抜Ⅱの7つの選抜があります。

入試では、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)に基づき、口述試験や小論文などにより「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

本学では、高校生等を対象に「KUGS 高大接続プログラム(高大接続のための個別プログラム)」を年間を通して開催し、課題レポートの提出機会を提供し、その評価結果を受講者に通知するやり取りを通じて、入学までの間に本学での学びに必要な能力・資質及び意欲の成長を促します。

◆ 「KUGS 特別入試」では、以下の①～⑤のいずれかに該当する場合に出願資格を与えます。

- ① 本学が提供する「KUGS 高大接続プログラム」を受講した高校生などが、当該プログラムで課される課題レポートと、高等学校若しくは中等教育学校での探究的な学びや課題意識を持って取り組んだ各種活動に関する課題レポートを提出し、KUGS に基づく評価基準で評価を受け、出願が認められた者
- ② 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者(グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者)であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者
- ③ 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者*3であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者
- ④ 本学の科目等履修生(高校生等用)制度により1単位以上修得した者
- ⑤ デジタル人材選抜Ⅱ及び防災・復興人材選抜Ⅱでは、学類が課す志願理由書を出願時に提出し、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約する場合にも、出願資格を与えます。

*1 金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)：本学が人材育成の目標とする理念

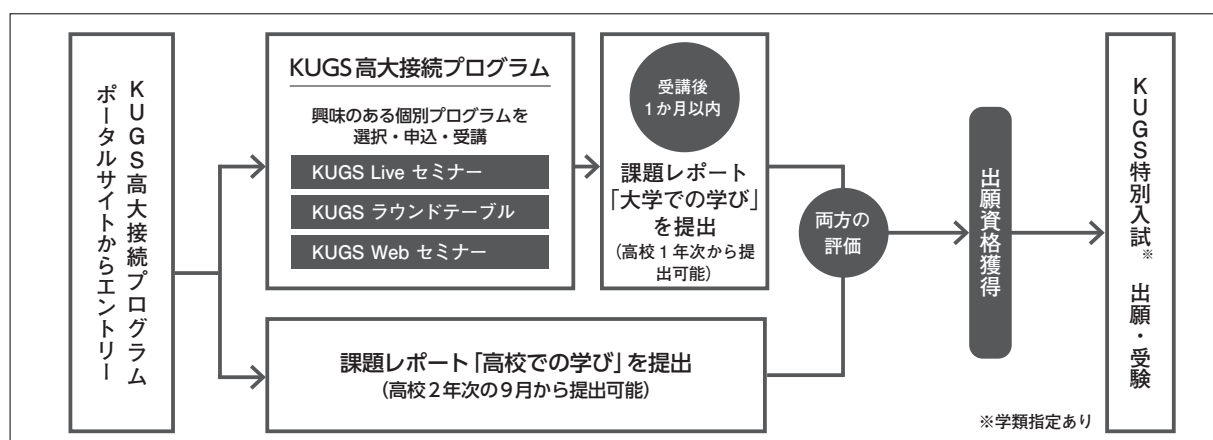
1. 自己の立ち位置を知る 2. 自己を知り、自己を鍛える 3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる 5. 未来の課題に取り組む 6. 新しい社会を生きる

*2 「学校推薦型選抜」では学校長推薦を求めます。

*3 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち本学へ事前に相談してください。

1 KUGS 高大接続プログラム受講から KUGS 特別入試までの流れ

出願資格の1つであるKUGS 高大接続プログラムについて受講からKUGS 特別入試までの流れは次のとおりです。



KUGS 高大接続プログラムから KUGS 特別入試の出願資格を得るためには、課題レポート「大学での学び」及び課題レポート「高校での学び」を両方とも提出し評価を受ける必要があります。なお、受験する年度の課題レポートは8月31日までに提出が必要です。

KUGS 高大接続プログラム

本学トップページ>入試情報・高大院接続>KUGS 高大接続プログラム



2 実施学類・日程等

選抜方法等 学域・学類等		KUGS特別入試																				備考				
		総合型選抜					学校推薦型選抜					デジタル人材選抜			防災・復興人材選抜			英語総合選抜								
		大学入学共通テスト課外 教科・科目に係る個別テスト免除	大学入学共通テスト免除 教科・科目に係る個別テスト・ 大学入学共通テスト免除	実技検査等			大学入学共通テスト課外 教科・科目に係る個別テスト免除	大学入学共通テスト免除 教科・科目に係る個別テスト・ 大学入学共通テスト免除	実技検査等			大学入学共通テスト課外 教科・科目に係る個別テスト免除	大学入学共通テスト免除 教科・科目に係る個別テスト・ 大学入学共通テスト免除	実技検査等		大学入学共通テスト課外 教科・科目に係る個別テスト免除	大学入学共通テスト免除 教科・科目に係る個別テスト・ 大学入学共通テスト免除	実技検査等		大学入学共通テスト課外 教科・科目に係る個別テスト免除	大学入学共通テスト免除 教科・科目に係る個別テスト・ 大学入学共通テスト免除		実技検査等			
				実技検査	□述試験	その他			実技検査	□述試験	小論文			その他	実技検査			□述試験	その他				実技検査	□述試験	その他	実技検査
融合学域	先導学類	○			○																	○	○	○		
	観光デザイン学類	○			○												○	○				○	○	○		
	スマート創成科学類	○			○									○	○							○	○	○		
人間社会学域	人文学類	○			○																					
	法学類	○			○																					
	経済学類							○			○	○	○※1													
	学校教育学類																○	○								
	石川県教員希望枠	国語・社会科・英語						○			○															
		数学・理科						○			○															
		音楽						○		○	○															
		美術	○		○	○	○※2																			
		保健体育	○			○																				
		家政	○			○																				
		特別支援	○			○																				
	地域創造学類	○			○												○	○								
国際学類		○		○	○※3																					
理工学域	数物科学類	○			○																					
	物質化学類	○			○																					
	機械工学類	○			○																					
	フロンティア工学類																									
	電子情報通信学類	○			○							○	○													
	地球社会基盤学類	○			○												○	○								
	生命理工学類	生物科学コース	○			○																				
海洋生物資源コース		○			○																					
医学薬保健全学域	一般枠						○			○																
	特別枠						○			○																
	地元育成枠	○			○																					
	薬学類																									
	医薬科学類																									
	看護学専攻						○			○							○	○								
	診療放射線技術学専攻						○			○							○	○								
	医療検査技術学専攻						○			○							○	○								
理学療法学専攻						○			○																	
作業療法学専攻						○			○																	

1つの大学・学部（学域・学類）に限ります。

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合・課さない場合を含めて）に出願することができるのは、

- (注) 1. ○印は該当することを示し、網掛けは該当しない、または実施しない選抜を示します。
2. ○※1の人間社会学域経済学類の学校推薦型選抜では、TOEIC (L & R) のスコアを判定の資料とするため、スコアの提出を課します。
3. ○※2の人間社会学域学校教育学類美術の総合型選抜では、作品の提出を課します。
4. ○※3の人間社会学域国際学類の総合型選抜では、英語外部試験（ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC (CBT)、GTEC 検定版(Advanced)、IELTS、TEAP (4技能、CBT)、TOEFL iBT (Home Edition 含む) のいずれか) のスコアを判定の資料とするため、スコアの提出を課します。
5. 電子情報通信学類のデジタル人材選抜は情報通信コースで実施します。
6. 地球社会基盤学類の総合型選抜は「地球惑星科学コース」及び「土木防災コース・環境都市コース」で実施します。
7. 医学類の学校推薦型選抜の特別枠は文部科学省へ申請予定であり、募集人員は変更することがあります。確定後、金沢大学（入試情報・高大院接続）Web サイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>）でお知らせしますので確認してください。
8. 募集人員、出願要件、選抜方法等については、55～111 ページで確認してください。

KUGS 特別入試 総合型選抜

総合型選抜Ⅰ

国際学類

総合型選抜Ⅱ

人文学類
数物科学類
物質化学類
機械工学類
電子情報通信学類
生命理工学類

融合学域全学類
法学類
学校教育学類
地域創造学類
地球社会基盤学類

医学類

出願期間
令和7年11月1日(土)～8日(土)

出願期間
令和7年12月17日(水)
～23日(火)

合格者発表
1次選考(書類選考)
11月27日(木)

合格者発表
1次選考(書類選考)*
11月27日(木)

選抜期日
最終選考12月6日(土)

選抜期日
12月6日(土)

合格者発表
最終選考
12月23日(火)

大学入学共通テスト
令和8年1月17日(土), 18日(日)

合格者発表
1次選考(書類選考)
2月6日(金)

選抜期日
最終選考
2月8日(日)

合格者発表
最終選考
2月11日(水)

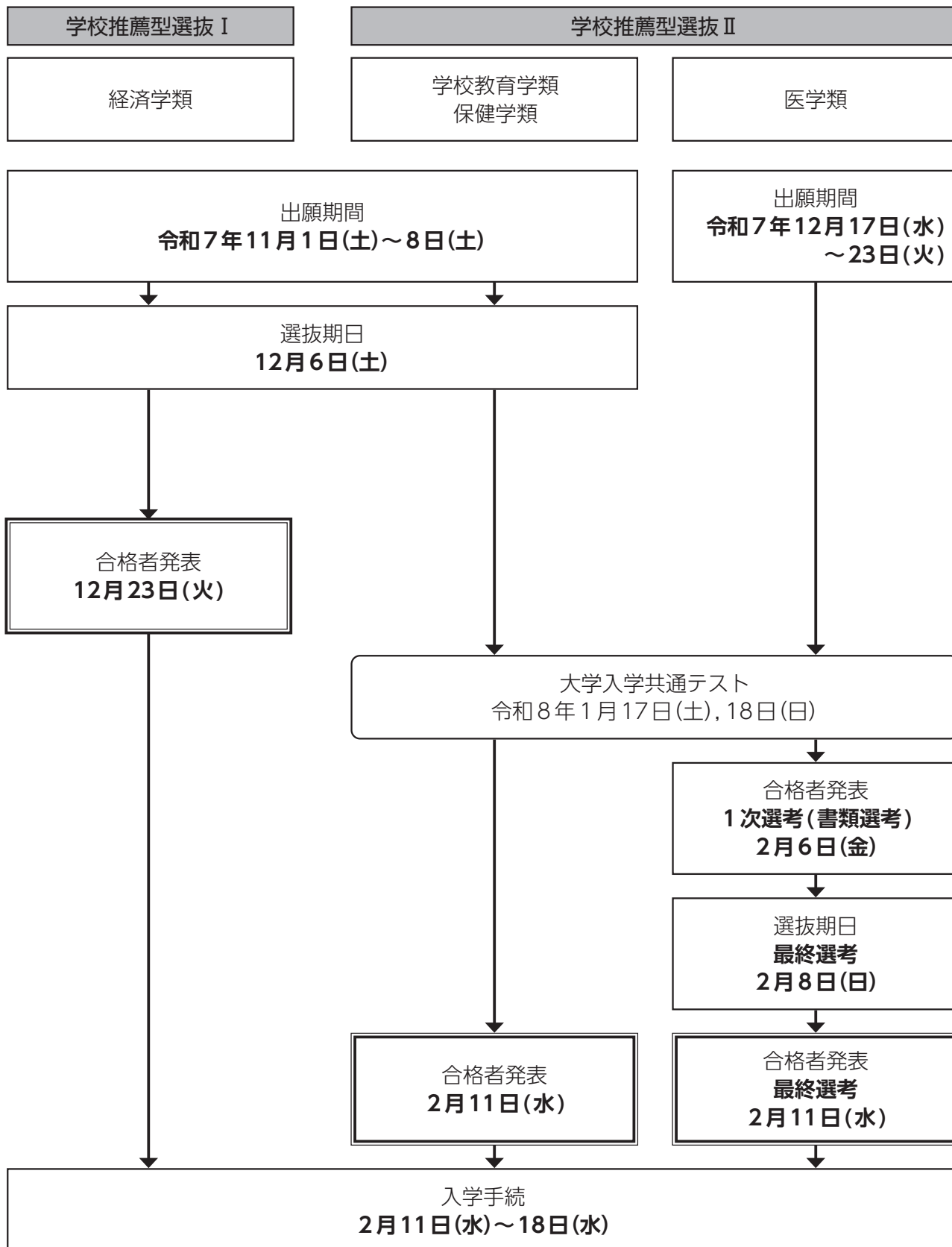
合格者発表
2月11日(水)

合格者発表
最終選考
2月11日(水)

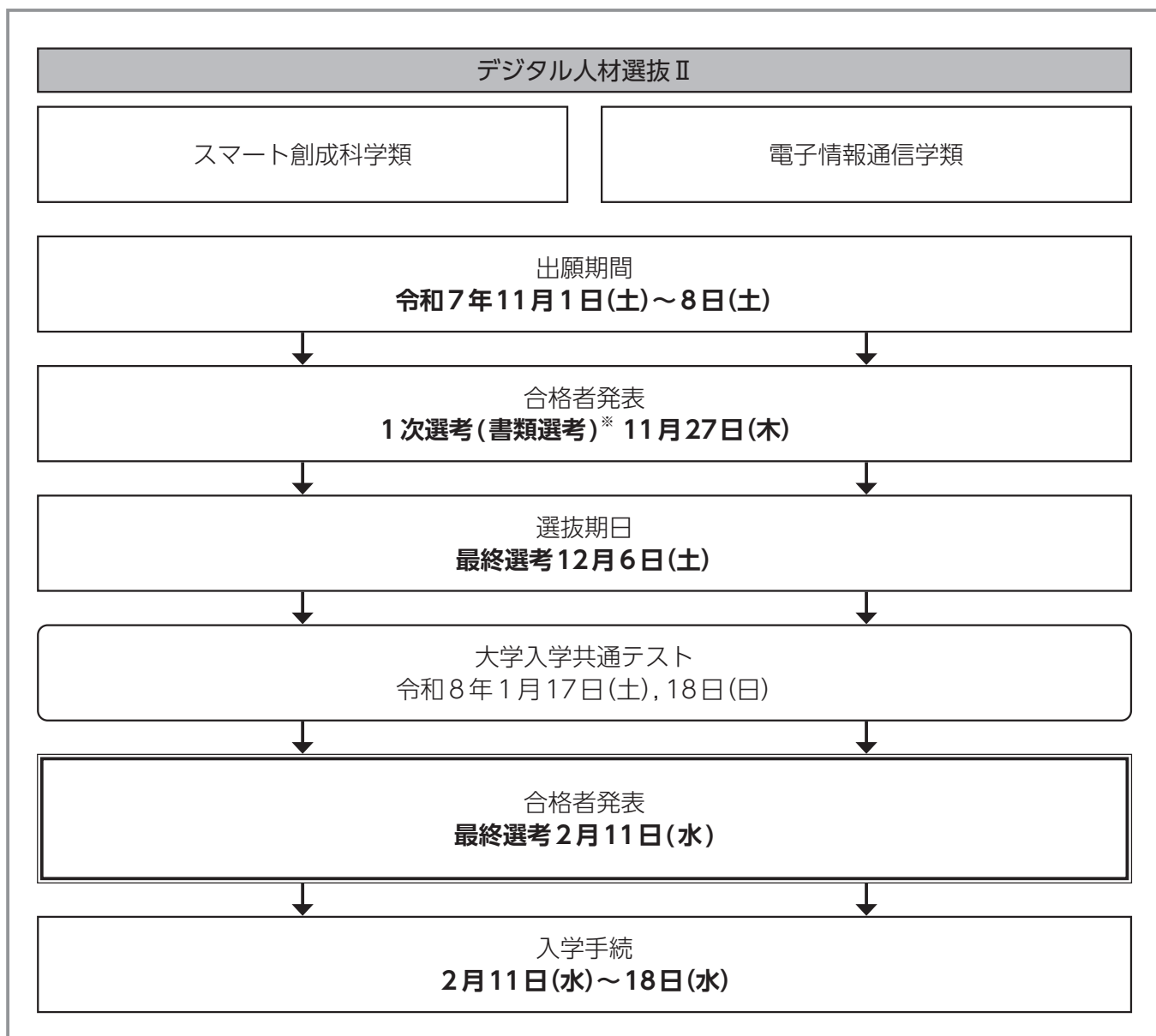
入学手続
2月11日(水)～18日(水)

※志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に実施します。

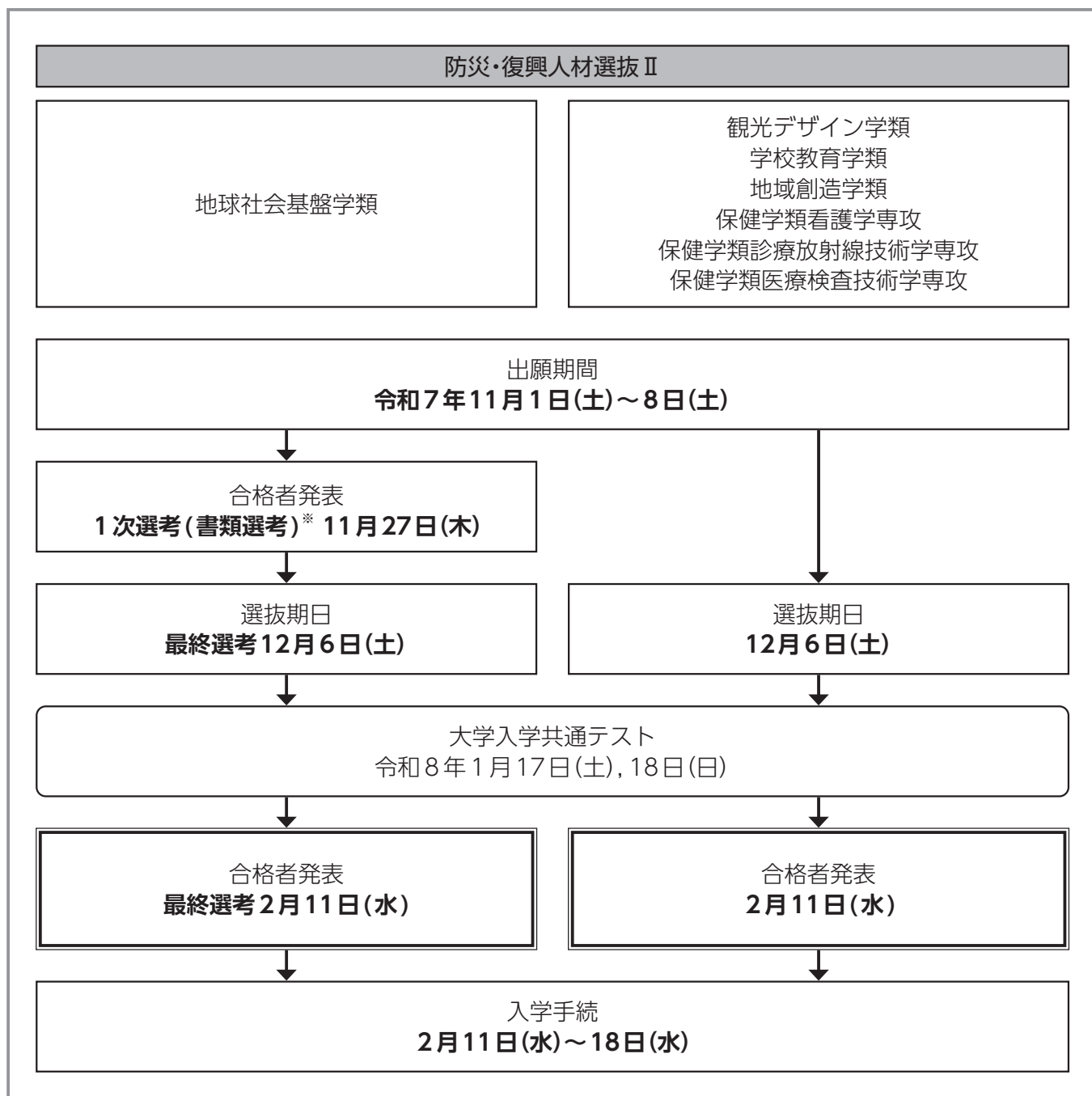
KUGS 特別入試 学校推薦型選抜



KUGS 特別入試 デジタル人材選抜



※志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に実施します。



※志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に実施します。

KUGS 特別入試 英語総合選抜

英語総合選抜Ⅱ

先導学類
観光デザイン学類
スマート創成科学類

出願期間
令和7年11月1日(土)～8日(土)

↓
選抜期日
12月6日(土)

↓
大学入学共通テスト
令和8年1月17日(土), 18日(日)

↓
合格者発表
2月11日(水)

↓
入学手続
2月11日(水)～18日(水)

3 総合型選抜 I（大学入学共通テストを課さない）

(1) 出願資格、入学者選抜方法等

人間社会学域 国際学類

募集人員	20人
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの - 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 - 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 - 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 - 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 - 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 - 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件	調査書の国語、地歴、公民、英語、数学の各学習成績の状況のうち1教科以上が4.3以上であること、又は、調査書の国語、地歴、公民、英語の各学習成績の状況が4.0以上であること、又は、全体の学習成績の状況が4.0以上であること
選抜方法等	- 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 - 第1次選考：100点 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、英語外部試験スコア等）、高大接続プログラム提出課題^(注2)等で、「主体性・協働性」、「基礎的知識・技能」を評価します。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、募集人員の1.5～2倍程度になるよう選考します。 英語外部試験^(注3)：ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、GTEC 検定版（Advanced）、IELTS、TEAP（4技能、CBT）、TOEFL iBT（Home Edition 含む）のいずれか - 最終選考：100点 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、英語外部試験スコア等）、高大接続プログラム提出課題等を参考に口述試験を行い、「主体性・協働性」、「基礎的知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」などを評価します。 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

(注3) 実用英語技能検定（英検）については、合否にかかわらず2級以上のCSEスコアにて判定します。ただし、英検 Jr. 及び英検 IBAは除きます。英語外部試験のスコア提出については25ページの「[6] 英語外部試験」を確認してください。

(2) 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

最終選考 令和7年12月6日（土）

(4) 合格者発表

第1次選考 令和7年11月27日（木）

最終選考 令和7年12月23日（火）

(5) その他

- ① 総合型選抜 I に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ② 原則として、入学後の転学類を認めません。

4 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）出願資格、入学者選抜方法等

【総合型選抜Ⅱ】融合学域 先導学類、観光デザイン学類【一般枠】、スマート創成科学類

募集人員		先導学類 6人，観光デザイン学類 6人，スマート創成科学類 3人			
出願資格		次の 1 から 4 のいずれかに該当する者，かつ 5 から 7 のいずれかに該当する者で，本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し，合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより，一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり，本学の場合は，金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者 ^{（注1）} であり，本学の場合は，金沢大学 STELLA プログラムシニアコースの C ステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により 1 単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和 5 年 4 月から令和 8 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 5 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 5 年 4 月から令和 8 年 3 月までに修了又は修了見込みの者			
出願要件		令和 8 年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること			
選抜方法		1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，出願書類（調査書，志願理由書，活動報告書等），高大接続プログラム課題 ^{（注 2）} 等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い，「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 （注）プレゼンテーションでは，事前に本学が提示する課題*について，5 分程度の口頭発表を課します。なお，PC 機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では，プレゼンテーションの他，アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。 * 課題：Web 出願システムから印刷した受験票に記載している URL へアクセスして確認してください。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。			
大学入学共通テストの利用教科・科目名				教科・科目に係る個別テスト等	
教科		科目名等		教科等 科目名等	
パターン A	国 地歴	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 } から 2		その他	口述試験
	公民				
	数理	『数学Ⅰ，数学 A』と『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から 1			
	外情	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から 1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			
パターン B	国 地歴	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 } から 1			
	公民				
	数理	『数学Ⅰ，数学 A』と『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から 2			
	外情	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から 1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	パターンA	200	※ 200 (100×2)		200	100	200	50				950
	パターンB	200	※ 100 (100×1)		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等									1000	参考	参考	1000
計	パターンA	200	200		200	100	200	50	1000			1950
	パターンB	200	100		200	200	200	50	1000			1950

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- (3) 「地理歴史」「公民」と「理科」で、「[地理歴史][公民] 2科目 + [理科] 2科目」の4科目受験している場合、以下のように成績を用います。
 - ① 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち、得点の高い科目

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】融合学域 観光デザイン学類【特別枠】（地域枠）

募集人員		6人			
出願資格		次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、卒業後又は大学院修了後は北陸3県内（石川県、富山県、福井県）で就職する強い意志を持ち、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者 ^{（注1）} であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者			
出願要件		令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること			
選抜方法		1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題 ^{（注2）} 等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 （注）プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。 *課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。			
大学入学共通テストの利用教科・科目名				教科・科目に係る個別テスト等	
教科		科目名等		教科等 科目名等	
パターンA	国	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕		その他	口述試験
	地歴				
	公民				
	数理				
	外情				
パターンB	国	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕		その他	口述試験
	地歴				
	公民				
	数理				
	外情				

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	パターンA	200	※ 100 (100×1)		100	100	200	50				750
	パターンB	200	※ 100 (100×1)		200	100	100	50				750
教科・科目に係る個別テスト等									1000	参考	参考	1000
計	パターンA	200	100		100	100	200	50	1000			1750
	パターンB	200	100		200	100	100	50	1000			1750

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
 - (3) 理科2科目を受験している場合、合計得点の高いパターンの成績を利用します。
- (注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。
- (注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 人文学類

募集人員	8人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者（注1）であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題（注2）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の2.5倍程度になるよう第1次選考を行います。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 情 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』（注3） 『情報Ⅰ』 『英語』 から1 から1 〔3教科3科目〕又は〔4教科3科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	情報	外国語	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）					100				300
教科・科目に係る個別テスト等								400	参考	参考	400
計	100	100					100	400			700

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

（注3）「基礎を付していない科目」（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』）から2科目を選択した場合、「基礎を付した科目」を選択したものとみなし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 法学類

募集人員	10人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^(注2)等を参考に「口述試験」を行い、「知識・技能」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 具体的には、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかなどを総合的に評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地 歴 公民 数 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 〔4教科5科目〕又は〔5教科5科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		100		100					400
教科・科目に係る個別テスト等								400	参考	参考	400
計	100	100		100		100		400			800

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 【石川県教員希望枠】

募集人員	3人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、卒業後、石川県内の学校園に教員として勤務する強い意志を持ち、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が210点（60％）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』,『歴史総合、日本史探究』, 『歴史総合、世界史探究』, 『公共、倫理』,『公共、政治・経済』, 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』, 『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1 『英語』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	50	※50（50×1）		50	50	100	50				350
教科・科目に係る個別テスト等								350	参考	参考	350
計	50	50		50	50	100	50	350			700

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 【教科・免許状枠】 美術

募集人員	3人											
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、将来教職に就くことを強く希望しており、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者											
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること											
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験（提出された作品の内容を含む）」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。「実技試験（デッサン）」を行い「知識・技能」を評価します。 実 技 — デッサン 提出作品 — 自作による美術作品1点以上。分野、作品の大きさは自由とし、口述試験時に持参できるものとします。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が220点（55%）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。											
大学入学共通テストの利用教科・科目名											教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等										教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』,『歴史総合、日本史探究』, 『歴史総合、世界史探究』, 『公共、倫理』,『公共、政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』,『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1 『英語』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1 から1 から1 〔2教科2科目〕又は〔3教科2科目〕										その他	口述試験 実技試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	※ 200（200×1）					200						400
教科・科目に係る個別テスト等								200	400	参考	参考	600
計	200					200		200	400			1000

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】 人間社会学域 学校教育学類 【教科・免許状枠】 保健体育

募集人員		5人		
出願資格		次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、高等学校若しくは中等学校において、スポーツ活動（ダンスを含む）に積極的に取り組み、優れた能力を持つ者で、かつ入学後も活動を続ける意志があり、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者		
出願要件		令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること		
選抜方法		1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が300点（60%）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。		
大学入学共通テストの利用教科・科目名				
教科		科目名等		教科・科目に係る個別テスト等
パターンA	国	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕	から2	その他
	地歴			
	公民			
	数理			
	外情			
パターンB	国	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕	から1	口述試験
	地歴			
	公民			
	数理			
	外情			

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	パターンA	100	※ 100 (50 × 2)		100	50	100	50				500
	パターンB	100	※ 50 (50 × 1)		100	100	100	50				500
教科・科目に係る個別テスト等									500	参考	参考	500
計	パターンA	100	100		100	50	100	50	500			1000
	パターンB	100	50		100	100	100	50	500			1000

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- (3) 「地理歴史」「公民」と「理科」で、[「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」2科目]の4科目受験している場合、以下のように成績を用います。
 - ① 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち、得点の高い科目

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 【教科・免許状枠】 家政

募集人員		3人	
出願資格		次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者 ^(注1) であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者	
出願要件		令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること	
選抜方法		1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題 ^(注2) 等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が300点（60％）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。	
大学入学共通テストの利用教科・科目名			
教科		教科・科目に係る個別テスト等	
科目名等		教科等	科目名等
パターンA	国	その他	口述試験
	地歴		
	公民		
	数理		
	外情		
『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			
パターンB	国		
	地歴		
	公民		
	数理		
	外情		
『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕			

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	パターンA	100	※ 100 (50 × 2)		100	50	100	50				500
	パターンB	100	※ 50 (50 × 1)		100	100	100	50				500
教科・科目に係る個別テスト等									500	参考	参考	500
計	パターンA	100	100		100	50	100	50	500			1000
	パターンB	100	50		100	100	100	50	500			1000

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- (3) 「地理歴史」「公民」と「理科」で、[「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」2科目]の4科目受験している場合、以下のように成績を用います。
 - ① 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち、得点の高い科目

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 【教科・免許状枠】 特別支援

募集人員	4人											
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者											
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること											
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^(注2)等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が300点（60％）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。											
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等		
教科	科目名等										教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』,『歴史総合、日本史探究』, 『歴史総合、世界史探究』, 『公共、倫理』,『公共、政治・経済』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』, 『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1 『英語』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕										その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計	
共通テスト	100	※100（100×1）		100	100	100					500	
教科・科目に係る個別テスト等								500	参考	参考	500	
計	100	100		100	100	100		500			1000	

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】人間社会学域 地域創造学類

募集人員	15人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	次の1、2の要件すべてに該当すること 1. 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であること 2. 令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。あわせて口述試験のなかで、地域創造学類における学修に関連する基礎的な「思考力・判断力・表現力」や「知識・技能」を確認する問いを設け、評価します。 2. 大学入学共通テストで、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。「外国語」と、「国語、地歴、公民、数学、理科」に含まれる科目のうち高得点のもの2科目の得点を合計し、評価に用います。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等		
教科	科目名等								教科等	科目名等	
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 から1 から2 〔3教科3科目〕又は〔4教科3科目〕								その他	口述試験	
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	※200（100×2）					100					300
教科・科目に係る個別テスト等								300	参考	参考	300
計	200					100		300			600

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 数物科学類

募集人員	3人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者（注1）であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題（注2）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 口述試験には、「数学又は物理（選択可）」に係る知識を一部活用する内容も含まれます。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね570点（60%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※100（100×1）		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等								900	参考	参考	900
計	200	100		200	200	200	50	900			1850

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

女子枠特別入試の理工学域数物科学類を出願する場合、KUGS特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域数物科学類を第2志望として選択することができます。ただし、KUGS特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 物質化学類

募集人員	3人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^(注2)等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 口述試験には、「化学」に係る知識を一部活用する内容も含まれます。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の2倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね540点（60%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地 歴 公 民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※100（100×1）		200	200	200					900
教科・科目に係る個別テスト等								900	参考	参考	900
計	200	100		200	200	200		900			1800

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 機械工学類

募集人員	5人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね540点（60％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』 から1 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※100（100×1）		200	200	200					900
教科・科目に係る個別テスト等								900	参考	参考	900
計	200	100		200	200	200		900			1800

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

女子枠特別入試の理工学域機械工学類を出願する場合、KUGS特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域機械工学類を第2志望として選択することができます。ただし、KUGS特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 電子情報通信学類

募集人員	3人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。^{（注3）} 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね570点（60%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※100（100×1）		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等								950	参考	参考	950
計	200	100		200	200	200	50	950			1900

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

女子枠特別入試の理工学域電子情報通信学類を出願する場合、KUGS特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域電子情報通信学類を第2志望として選択することができます。ただし、KUGS特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

（注3）プレゼンテーションでは、事前に提示する課題*について資料（A4サイズ5ページ程度）を用いて、10分程度の口頭発表を求めます。

なお、口頭発表は紙資料をスクリーンに投影して実施します。口述試験は個人単位で行い、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を含みます。

課題*：学類のアドミッション・ポリシーに記載されている技術用語に関する課題を出します。詳細は、Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスしてください。

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 地球社会基盤学類 地球惑星科学コース，土木防災コース・環境都市コース

KUGS 特別入試

総合型選抜Ⅱ

募集人員	地球惑星科学コース 3人，土木防災コース・環境都市コース 3人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者，かつ5から7のいずれかに該当する者で，本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し，合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより，一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり，本学の場合は，金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり，本学の場合は，金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，出願書類（調査書，志願理由書，活動報告書等），高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 から2 から1 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※ 100 (100×1)		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等								900	参考	参考	900
計	200	100		200	200	200	50	900			1850

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- 出願時に「地球惑星科学コース」又は「土木防災コース・環境都市コース」を選択する必要があります。また，合格者はコース（「地球惑星科学コース」および「土木防災コース・環境都市コース」）ごとに発表します。
- 女子枠特別入試の理工学域地球社会基盤学類地球惑星科学コースを出願する場合，KUGS特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域地球社会基盤学類地球惑星科学コースを第2志望として選択することができます。また，女子枠特別入試の理工学域地球社会基盤学類土木防災コース・環境都市コースを出願する場合，KUGS特別入試 総合型選抜Ⅱの地球社会基盤学類土木防災コース・環境都市コースを第2志望として選択することができます。ただし，KUGS特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は，出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は，出願資格を得た内容

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 生命理工学類 生物科学コース

募集人員	2人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、生物科学に強い興味を持ち、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、課題論文等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。提出する課題論文については、本学が高校生を対象に実施するセミナーを基にした課題（高大接続プログラム関連課題でも良いが、プログラムにおいて提出した「課題レポート」とは異なり研究内容を中心にまとめたもの）、高等学校若しくは中等教育学校において行った課題研究、又は自由に設定した課題研究での成果等をまとめたものとします。^{（注3）} 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学共通テストで本学類が課す教科・科目配点による成績の合計得点が、概ね510点（60％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は、変更することがある）が必要ですが、教科・科目に係る個別テスト等に加算しての合否判定には使いません。 ただし、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1.の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の2倍程度になるよう第1次選考を行います。100点満点で評価し、最終選考でもその成績を利用します。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ』と『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』 『物理』、『化学』、『生物』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50				850（注4）
教科・科目に係る個別テスト等								300	100	参考	400
計								300	100		400

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

(注3) プレゼンテーションでは、出願書類として提出の課題論文について、15分以内の口頭発表を求めます。発表の際には、ポスター（サイズ不問・1枚）を持ち込んでも構いません。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。

(注4) 大学入学共通テストは基準点として利用します。

【総合型選抜Ⅱ】理工学域 生命理工学類 海洋生物資源コース

KUGS 特別入試

総合型選抜Ⅱ

募集人員	3人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、海洋生物資源に強い興味を持ち、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、課題論文等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。提出する課題論文については、本学が高校生を対象に実施するセミナーを基にした課題（高大接続プログラム関連課題でも良いが、プログラムにおいて提出した「課題レポート」とは異なり研究内容を中心にまとめたもの）、高等学校若しくは中等教育学校において行った課題研究、又は自由に設定した課題研究での成果等をまとめたものとします。^{（注3）} 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学共通テストで本学類が課す教科・科目配点による成績の合計得点が、概ね467.5点（55％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は、変更することがある）が必要ですが、教科・科目に係る個別テスト等に加算しての合否判定には使いません。 ただし、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の2倍程度になるよう第1次選考を行います。100点満点で評価し、最終選考でもその成績を利用します。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ』と『数学Ⅲ、数学Ⅳ』 『物理』、『化学』、『生物』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50				850（注4）
教科・科目に係る個別テスト等								300	100	参考	400
計								300	100		400

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

(注3) プレゼンテーションでは、出願書類として提出の課題論文について、15分以内の口頭発表を求めます。発表の際には、ポスター（サイズ不問・1枚）を持ち込んでも構いません。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。

(注4) 大学入学共通テストは基準点として利用します。

【総合型選抜Ⅱ】医薬保健学域 医学類【特別枠】（地元育成枠）

募集人員	2人										
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者 ^{（注1）} であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	次のすべてを満たす者 1. 令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること 2. 石川県・富山県・福井県内の学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校のうち1校以上）を卒業又は卒業見込みの者（高等専門学校は3年次修了）で、卒業後、医師免許を取得し、原則、金沢大学附属病院での臨床研修プログラムを受けた後、金沢大学附属病院又は金沢大学附属病院の指定する病院で1年間以上従事し、地域医療に貢献することが確約できる者										
選抜方法	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題 ^{（注2）} 等、大学入学共通テストの得点により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね722.5点（85％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等の内容を参考に募集人員の2倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ』と『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』 『物理』と『化学』 『英語』 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テストの配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50				850（注3）
教科・科目に係る個別テスト								200	参考	参考	200
計								200			200

注意事項：78ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年11月17日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

（注3）大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

【共通の注意事項】

1. 大学入学共通テスト

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、「地理歴史」「公民」又は「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。なお、学類等で別に定めている場合がありますので、各学域・学類等の注意事項も必ず確認してください。

（「地理歴史」「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

- ② 「地理歴史」「公民」において、2科目選択する場合の組み合わせは以下のとおりです。

		地理総合, 地理探究	歴史総合, 日本史探究	歴史総合, 世界史探究	地理総合/歴史総合/公共			公共, 倫理	公共, 政治・経済
					「地理総合」 及び「歴史総合」	「地理総合」 及び「公共」	「歴史総合」 及び「公共」		
地理総合, 地理探究			○	○	×	×	○	○	○
歴史総合, 日本史探究		○		○	×	○	×	○	○
歴史総合, 世界史探究		○	○		×	○	×	○	○
地理 総合/ 歴史 総合/ 公共	「地理総合」 及び「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 及び「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 及び「公共」	○	×	×				×	×
公共, 倫理		○	○	○	○	×	×		×
公共, 政治・経済		○	○	○	○	×	×	×	

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×

※『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。

- ③ 理科において、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。
- ④ 「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ⑤ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- ⑥ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- ⑦ 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
- ② 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ③ 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。
- ④ 総合型選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ⑤ 原則として、入学後の転学類・転コース等を認めません。

(2) 出願期間

融合学域、人間社会学域（人文学類、法学類、学校教育学類、地域創造学類）、理工学域（数物科学類、物質化学類、機械工学類、電子情報通信学類、地球社会基盤学類、生命理工学類）

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

医薬保健学域（医学類）

令和7年12月17日（水）～23日（火）

（Web出願システムは、令和7年12月10日（水）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

融合学域、人間社会学域（人文学類、法学類、学校教育学類、地域創造学類）、理工学域（数物科学類、物質化学類、機械工学類、電子情報通信学類、地球社会基盤学類、生命理工学類）

令和7年12月6日（土）

医薬保健学域（医学類）

最終選考 令和8年2月8日（日）

(4) 合格者発表

人間社会学域（人文学類）、理工学域（数物科学類、物質化学類、機械工学類、電子情報通信学類、生命理工学類）

第1次選考 令和7年11月27日（木）

最終選考 令和8年2月11日（水）

融合学域、人間社会学域（法学類、学校教育学類、地域創造学類）、理工学域（地球社会基盤学類）

令和8年2月11日（水）

医薬保健学域（医学類）

第1次選考 令和8年2月6日（金）

最終選考 令和8年2月11日（水）

5 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

（1）推薦要件，入学者選抜方法等

人間社会学域 経済学類

募集人員	10人
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの - 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 - 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 - 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLA プログラムシニアコースのCステージを修了した者 - 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 - 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得（見込みも含む）して令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者で次のすべての要件を満たすもの - 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）における学習成績概評がA段階以上（学習成績の状況4.3以上）に該当する者 - 出身学校長が責任を持って推薦できる者 - 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 - 合格した場合、入学を確約できる者 - 推薦は、1校につき2名以内とします。
選抜方法等	- 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 - 選抜は、「小論文」、「TOEIC（L & R）」、「口述試験」の結果を総合して行います。なお、TOEIC（L & R）は100点満点に換算します。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について800字程度で論述させます。 - 配点：小論文 100点 TOEIC（L & R）^{（注2）} 100点 口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文を読解させ、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 TOEIC（L & R）：「知識・技能」を評価します。 口述試験：学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注3）}等を参考に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。

注意事項

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） TOEIC（L & R）のスコア提出については25ページの「[6] 英語外部試験」を確認してください。

（注3） KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

（2）出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

（3）選抜期日

令和7年12月6日（土）

（4）合格者発表

令和7年12月23日（火）

（5）その他

- ① 学校推薦型選抜Ⅰに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ② 原則として、入学後の転学類を認めません。

6 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）推薦要件，入学者選抜方法等

【学校推薦型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 【教科枠】 国語・社会科・英語

募集人員	2人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者，かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより，一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり，本学の場合は，金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり，本学の場合は，金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で，令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 人物及び学業成績がともに優れ，本学類に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で，出身学校長が責任を持って推薦できるもの 7. 合格した場合，入学することを確約できる者 8. 推薦は，1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，出願書類（調査書，推薦書，志願理由書，活動報告書等），高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 「大学入学共通テスト」で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお，本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が420点（70％）程度（ただし，平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』， 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 から2 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（50×2）		100	100	200					600
教科・科目に係る個別テスト等								600	参考	参考	600
計	100	100		100	100	200		600			1200

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（1）学校教育学類【教科枠】国語・社会科・英語では，入学後，中学校免許を国語・社会・英語から選択します。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は，出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は，出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 [教科枠] 数学・理科

募集人員	1人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLA プログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 人物及び学業成績がともに優れ、本学類に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 7. 合格した場合、入学することを確約できる者 8. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が270点（60％）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 } から1 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	50	※50（50×1）		100	100	100	50				450
教科・科目に係る個別テスト等								450	参考	参考	450
計	50	50		100	100	100	50	450			900

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- 学校教育学類 [教科枠] 数学・理科では、入学後、中学校免許を数学・理科から選択します。
 - 「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- (注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。
- (注2) KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類 【教科枠】 音楽

募集人員	4人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から9のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 人物及び学業成績がともに優れ、本学類に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 7. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者 8. 合格した場合、入学することを確約できる者 9. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 口述試験には、「楽典」に係る知識を一部活用する内容も含まれます。 2. 「実技試験（新曲視唱を含む）」を行い「知識・技能」を評価します。 3. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が110点（55％）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名								教科・科目に係る個別テスト等			
教科	科目名等							教科等	科目名等		
国 外	『国語』 『英語』 〔2教科2科目〕							その他	口述試験 実技試験		
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	外国語	情報	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100				100						200
教科・科目に係る個別テスト等							150	350	参考	参考	500
計	100				100		150	350			700

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】医薬保健学域 医学類 【一般枠】

募集人員	15人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者（注1）であり、本学の場合は、金沢大学STELLA プログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（2）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 出身学校長が発行する調査書の全体の学習成績の状況がA段階に該当する者で、かつ出身学校長が人物・能力について責任を持って推薦できるもの 7. 合格した場合、入学することを確約できる者										
選抜方法	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題（注2）等、大学入学共通テストの得点により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、推薦要件を満たしているか確認します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね722.5点（85％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等の内容を参考に募集人員の2倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※ 100 (100×1)		200	200	200	50				850 (注3)
教科・科目に係る個別テスト等								200	参考	参考	200
計								200			200

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年11月17日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

(注3) 大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】医薬保健学域 医学類 【特別枠】（石川県枠）

募集人員	11人【予定】（注1）										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者（注2）であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（2）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 出身学校長が発行する調査書の全体の学習成績の状況がA段階に該当する者で、かつ出身学校長が人物・能力について責任を持って推薦できるもの 7. 石川県知事からの推薦があり、入学後は、石川県の修学資金の貸与を受ける者 8. 合格した場合、入学することを確約できる者										
選抜方法	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題（注3）等、大学入学共通テストの得点により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、推薦要件を満たしているか確認します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね722.5点（85％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ』と『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』 『物理』と『化学』 『英語』 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50				850（注4）
教科・科目に係る個別テスト等								200	参考	参考	200
計								200			200

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）石川県の募集人員11人のうち、8人は文部科学省へ申請予定であり、医師の偏在対策により募集人員を減員する可能性があります。確定後、金沢大学（入試情報・高大院接続）Webサイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>）でお知らせしますので確認してください。

（注2）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年11月17日までに本学へ事前に相談してください。

（注3）KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

（注4）大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

■石川県枠

1. 将来、石川県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
2. 出身高校の所在地に関わらず、石川県の地域医療に貢献する強い意志を持ち、石川県知事からの推薦があり、入学後は、石川県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。また、別に定めるキャリア形成卒前支援プラン※¹の適用を受けることに同意の上、卒業後は、キャリア形成プログラム※¹に基づき、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事します。

※¹ キャリア形成卒前支援プランやキャリア形成プログラムは石川県の Web サイト (<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryou/support/shugakushikin/tokubetuwaku.html>) に掲載しています。

特別枠（石川県枠）で不合格であっても、あらかじめ、一般枠を第2志望とした者は、一般枠の選考対象とします。
なお、石川県枠と富山県枠の併願は認めません。

【学校推薦型選抜Ⅱ】医薬保健学域 医学類 【特別枠】（富山県枠）

募集人員	2人【予定】（注1）										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者（注2）であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（2）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 出身学校長が発行する調査書の全体の学習成績の状況がA段階に該当する者で、かつ出身学校長が人物・能力について責任を持って推薦できるもの 7. 富山県知事からの推薦があり、入学後は、富山県の修学資金の貸与を受ける者 8. 合格した場合、入学することを確約できる者										
選抜方法	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題（注3）等、大学入学共通テストの得点により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、推薦要件を満たしているか確認します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね722.5点（85％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50				850（注4）
教科・科目に係る個別テスト等								200	参考	参考	200
計								200			200

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）富山県枠は文部科学省へ申請予定であり、募集人員は変更することがあります。確定後、金沢大学（入試情報・高大院接続）Webサイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>）でお知らせしますので確認してください。

（注2）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年11月17日までに本学へ事前に相談してください。

（注3）KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

（注4）大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

■富山県枠

1. 将来、富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
2. 出身高校の所在地に関わらず、富山県の地域医療に貢献する強い意志を持ち、富山県知事からの推薦があり、入学後は、富山県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。また、別に定めるキャリア形成卒前支援プラン^{*1}の適用を受けることに同意の上、卒業後は、キャリア形成プログラム^{*2}に基づき、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科（小児科、外科^{*3}、産科、麻酔科、救急科、総合診療科、脳神経外科、感染症内科^{*4}）で9年間^{*5}診療に従事します。
3. 上記の診療科は令和7年度のものであり、令和8年度については、学生募集要項を必ず確認してください。

- ※1 キャリア形成卒前支援プランとは、大学や医療機関等と連携し、学生の地域医療等の意識の涵養を図るためのプロジェクト（卒前支援プロジェクト）です。
- ※2 キャリア形成プログラムとは「学校推薦型選抜特別枠（富山県枠）」で入学し、卒業後、医師免許を取得した者を対象として、地域医療に従事する医師のキャリア形成上の不安解消、医師不足地域・診療科の解消を目的として、富山県が主体となり、策定された医師の就業に係るプログラムです。
- ※3 外科は、新専門医制度の基本領域における「外科」のみを指し、整形外科及び形成外科は含みません。基本領域「外科」を修了した後、専門分野に従事する場合は、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科を対象とします。
- ※4 基本領域「内科」を修了した後、サブスペシャリティ領域「感染症」の専門分野に従事する場合を対象とします。
- ※5 修学資金の返還免除に必要な期間は、臨床研修の2年間に診療従事の9年を加えた11年間となります。なお、9年間のうち、医師多数区域（富山市）以外の指定された医療機関等に4年間以上勤務することとなります。

特別枠（富山県枠）で不合格であっても、あらかじめ、一般枠を第2志望とした者は、一般枠の選考対象とします。

なお、石川県枠と富山県枠の併願は認めません。

【学校推薦型選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 看護学専攻

募集人員	14人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLA プログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 7. 合格した場合、入学することを確約できる者 8. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね552.5点（65％）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※ 100（100×1）		200	100	200	50				850
教科・科目に係る個別テスト等								800	参考	参考	800
計	200	100		200	100	200	50	800			1650

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 診療放射線技術学専攻

募集人員	3人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 学業成績が優秀、人物に優れ、診療放射線技術学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 7. 合格した場合、入学することを確約できる者 8. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね390点（65％）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』 } から1 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	50	※50（50×1）		150	200	150					600
教科・科目に係る個別テスト等								600	参考	参考	600
計	50	50		150	200	150		600			1200

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 医療検査技術学専攻

募集人員	6人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLA プログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 学業成績が優秀、人物に優れ、医療検査技術学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 7. 合格した場合、入学することを確約できる者 8. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね487.5点（65％）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 から1 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※50（50×1）		200	200	200					750
教科・科目に係る個別テスト等								750	参考	参考	750
計	100	50		200	200	200		750			1500

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 理学療法学専攻

募集人員	5人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLA プログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 7. 合格した場合、入学することを確約できる者 8. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね617.5点（65%）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※ 100（100×1）		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等								900	参考	参考	900
計	200	100		200	200	200	50	900			1850

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【学校推薦型選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 作業療法学専攻

募集人員	5人										
推薦要件	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から8のすべての要件を満たすもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 次の（1）から（3）のいずれかに該当する者で、令和8年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 （3）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 6. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 7. 合格した場合、入学することを確約できる者 8. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね617.5点（65%）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※ 100 (100×1)		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等								900	参考	参考	900
計	200	100		200	200	200	50	900			1850

注意事項：94ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【共通の注意事項】

1. 大学入学共通テスト

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、「地理歴史」「公民」又は「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します(第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします)。なお、学類等で別に定めている場合がありますので、各学域・学類等の注意事項も必ず確認してください。

(「地理歴史」「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

- ② 「地理歴史」「公民」において、2科目選択する場合の組み合わせは以下のとおりです。

	地理総合, 地理探究	歴史総合, 日本史探究	歴史総合, 世界史探究	地理総合/歴史総合/公共			公共, 倫理	公共, 政治・経済
				「地理総合」 及び「歴史総合」	「地理総合」 及び「公共」	「歴史総合」 及び「公共」		
地理総合, 地理探究		○	○	×	×	○	○	○
歴史総合, 日本史探究	○		○	×	○	×	○	○
歴史総合, 世界史探究	○	○		×	○	×	○	○
地理 総合/ 歴史 総合/ 公共	「地理総合」 及び「歴史総合」	×	×				○	○
	「地理総合」 及び「公共」	×	○				×	×
	「歴史総合」 及び「公共」	○	×				×	×
公共, 倫理	○	○	○	○	×	×		×
公共, 政治・経済	○	○	○	○	×	×	×	

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×

※『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲(「地理総合」,「歴史総合」,「公共」)のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。

- ③ 理科において、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲(「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」)のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。

- ④ 「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

- ⑤ 『英語』(200点満点)の成績は、リーディングテスト(100点満点)及びリスニングテスト(100点満点)の成績をそのまま利用します。

- ⑥ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト(100点満点)の成績を200点満点に換算して利用します。

- ⑦ 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。

- ② 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。

- ③ 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。

- ④ 学校推薦型選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜(前期日程)で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜(前期日程)に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜(前期日程)の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。

- ⑤ 原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

(2) 出願期間

人間社会学域（学校教育学類），医薬保健学域（保健学類）

令和7年11月1日（土）～8日（土）（Web出願システムは，令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

医薬保健学域（医学類）

令和7年12月17日（水）～23日（火）（Web出願システムは，令和7年12月10日（水）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

人間社会学域（学校教育学類），医薬保健学域（保健学類）

令和7年12月6日（土）

医薬保健学域（医学類）

最終選考 令和8年2月8日（日）

(4) 合格者発表

人間社会学域（学校教育学類），医薬保健学域（保健学類）

令和8年2月11日（水）

医薬保健学域（医学類）

第1次選考 令和8年2月6日（金）

最終選考 令和8年2月11日（水）

7 デジタル人材選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

デジタル技術の発展とその社会への浸透は、デジタルトランスフォーメーション（DX）として、産業や行政などの社会のあらゆる場面で生産性や利便性を飛躍的に高めることにつながると期待されており、DXをもたらす高度な情報技術の研究開発と、社会の様々な場面への情報技術の活用が求められています。本学では、この成長著しいデジタル分野において、高度な情報技術を修得した人材と、情報技術と社会の融合分野で活躍することのできる人材を複層的に育成し、輩出していくために、「デジタル人材選抜Ⅱ」を実施します。

「デジタル人材選抜Ⅱ」では、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、口述試験により「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

(1) 出願資格、入学者選抜方法等

【デジタル人材選抜Ⅱ】融合学域 スマート創成科学類

募集人員	6人		
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する高度情報専門人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者		
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること		
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^(注2)等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 （注）プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。 *課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。^(注3)		
大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等	教科等	科目名等
数 国 理 外 情	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『国語』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』， } から1 『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から1 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 『情報Ⅰ』	その他	口述試験
		〔4教科5科目〕	

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	※ 100			200	※ 100	200	50				550
教科・科目に係る個別テスト等								500	参考	参考	500
計	国語利用 (共通テスト)	100			200		200	50	500		1050
	理科利用 (共通テスト)				200	100	200	50	500		1050

注意事項：99ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(1) 大学入学共通テストにおいて、「国語」、「理科」のうち、得点の高い教科の成績を利用します。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

(注3) 第1次選考は出願書類を点数化し評価します。なお、第1次選考の有無に関わらず、最終選考では口述試験の参考として使用します。

【デジタル人材選抜Ⅱ】理工学域 電子情報通信学類 情報通信コース

募集人員	40人										
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類の情報通信コースで実施する高度情報専門人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより、一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^(注2)等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の1.5倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね780点（60%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 数 理 外 情	『国語』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』と『化学』 『英語』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 (5教科7科目)									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100			400	200	200	400				1300
教科・科目に係る個別テスト等								650	参考	参考	650
計	100			400	200	200	400	650			1950

注意事項：99ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【共通の注意事項】**1. 大学入学共通テスト**

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
ただし、「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。
（「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
- ② 理科において、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。
- ③ 「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- ⑤ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- ⑥ 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「⑥ 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① **大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。**
- ② 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ③ 各学類・学域等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。
- ④ デジタル人材選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ⑤ 原則として、入学後の転学類・転コースを認めません。

(2) 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

令和7年12月6日（土）

(4) 合格者発表

第1次選考 令和7年11月27日（木）

最終選考 令和8年2月11日（水）

8 防災・復興人材選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向け、自身の専門分野での学修成果を基に、被災地に寄り添い、自治体等と協働し震災からの復旧・復興に寄与する人材育成が急務となっております。本学では、自然災害に対して正しい理解をもち、自らの的確な判断の下で防災・減災に対応し、科学的、倫理的及び実証的な力をもって、被災地の復旧・復興に貢献できる人材を継続的に我が国や世界に輩出していくために、「防災・復興人材選抜Ⅱ」を実施します。

「防災・復興人材選抜Ⅱ」では、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、口述試験により「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

(1) 出願資格、入学者選抜方法等

【防災・復興人材選抜Ⅱ】融合学域 観光デザイン学類

募集人員		2人
出願資格		次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件		令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること
選抜方法		1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 （注）プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。 *課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。
大学入学共通テストの利用教科・科目名		
教科		教科・科目に係る個別テスト等
科目名等		教科等 科目名等
パターンA	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕
パターンB	国 地歴 公民 数理 外情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	パターンA	200	※ 200 (100x2)		200	100	200	50				950
	パターンB	200	※ 100 (100x1)		200	200	200	50				950
教科・科目に係る個別テスト等									1000	参考	参考	1000
計	パターンA	200	200		200	100	200	50	1000			1950
	パターンB	200	100		200	200	200	50	1000			1950

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と『物理』）を組み合わせることはできません。
- (3) 「地理歴史」「公民」と「理科」で、「[地理歴史][公民] 2科目 + [理科] 2科目」の4科目受験している場合、以下のように成績を用います。
 - ① 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち、得点の高い科目

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【防災・復興人材選抜Ⅱ】人間社会学域 学校教育学類

募集人員	3人										
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が210点（60％）程度（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	50	※50（50×1）		50	50	100	50				350
教科・科目に係る個別テスト等								350	参考	参考	350
計	50	50		50	50	100	50	350			700

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【防災・復興人材選抜Ⅱ】人間社会学域 地域創造学類

募集人員	4人										
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生（高校生等用）制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	次の1、2の要件全てに該当すること 1. 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であること 2. 令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。あわせて口述試験のなかで、地域創造学類における学修に関連する基礎的な「思考力・判断力・表現力」や「知識・技能」を確認する問いを設け、評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。「外国語」と「国語、地歴、公民、数学、理科」に含まれる科目のうち高得点のもの2科目の得点を合計し、評価に用います。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』から1 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 から1 } から2 〔3教科3科目〕又は〔4教科3科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	※ 200（100×2）					100					300
教科・科目に係る個別テスト等								300	参考	参考	300
計	200					100		300			600

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【防災・復興人材選抜Ⅱ】理工学域 地球社会基盤学類

募集人員	10人										
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^(注1)であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^(注2)等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類（高大接続プログラム課題等は参考とする）により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 [6教科8科目] 又は [7教科8科目]									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※50 (50×1)		200	200	200	50				800
教科・科目に係る個別テスト等								400	参考	参考	400
計	100	50		200	200	200	50	400			1200

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

(注1) 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

(注2) KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【防災・復興人材選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 看護学専攻

募集人員	4人											
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者											
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること											
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね552.5点（65％）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。											
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等		
教科	科目名等										教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 〔6教科7科目〕又は〔7教科7科目〕										その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計	
共通テスト	200	※ 100 (100×1)		200	100	200	50				850	
教科・科目に係る個別テスト等								800	参考	参考	800	
計	200	100		200	100	200	50	800			1650	

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【防災・復興人材選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 診療放射線技術学専攻

募集人員	2人										
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね422.5点（65％）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 から1 から2 から1 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	50	※50（50×1）		150	200	150	50				650
教科・科目に係る個別テスト等								650	参考	参考	650
計	50	50		150	200	150	50	650			1300

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【防災・復興人材選抜Ⅱ】 医薬保健学域 保健学類 医療検査技術学専攻

募集人員	2人										
出願資格	次の1から5のいずれかに該当する者、かつ6から8のいずれかに該当する者で、本学類で実施する防災・復興人材育成への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 学類が課す志願理由書を出願時に提出する者で、合格した場合は学類が課す入学前教育を受講することを確約できるもの 2. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者^{（注1）}であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 5. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 6. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 7. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 8. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること										
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題^{（注2）}等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね487.5点（65％）（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。										
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等									教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 から1 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕									その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※50（50×1）		200	200	200					750
教科・科目に係る個別テスト等								750	参考	参考	750
計	100	50		200	200	200		750			1500

注意事項：108ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

（注1）本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2）KUGS高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

【共通の注意事項】

1. 大学入学共通テスト

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、「地理歴史」「公民」又は「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。なお、学類等で別に定めている場合がありますので、各学域・学類等の注意事項も必ず確認してください。

（「地理歴史」「公民」及び「理科」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

- ② 「地理歴史」「公民」において、2科目選択する場合の組み合わせは以下のとおりです。

	地理総合, 地理探究	歴史総合, 日本史探究	歴史総合, 世界史探究	地理総合/歴史総合/公共			公共, 倫理	公共, 政治・経済
				「地理総合」 及び「歴史総合」	「地理総合」 及び「公共」	「歴史総合」 及び「公共」		
地理総合, 地理探究		○	○	×	×	○	○	○
歴史総合, 日本史探究	○		○	×	○	×	○	○
歴史総合, 世界史探究	○	○		×	○	×	○	○
地理 総合/ 歴史 総合/ 公共	「地理総合」 及び「歴史総合」	×	×				○	○
	「地理総合」 及び「公共」	×	○				×	×
	「歴史総合」 及び「公共」	○	×				×	×
公共, 倫理	○	○	○	○	×	×		×
公共, 政治・経済	○	○	○	○	×	×	×	

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×

※『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。

- ③ 理科において、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。

- ④ 「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

- ⑤ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。

- ⑥ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。

- ⑦ 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。

- ② 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。

- ③ 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。

- ④ 防災・復興人材選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。

- ⑤ 原則として、入学後の転学類・転コース等を認めません。

(2) 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

令和7年12月6日（土）

(4) 合格者発表

融合学域（観光デザイン学類）、人間社会学域（学校教育学類、地域創造学類）、医薬保健学域（保健学類）

最終選考 令和8年2月11日（水）

理工学域（地球社会基盤学類）

第1次選考 令和7年11月27日（木）

最終選考 令和8年2月11日（水）

9 英語総合選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）出願資格、入学者選抜方法等

融合学域 先導学類、観光デザイン学類、スマート創成科学類

募集人員	若干名											
出願資格	次の1から4のいずれかに該当する者、かつ5から7のいずれかに該当する者で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められた者 2. 国立研究開発法人科学技術振興機構のグローバルサイエンスキャンパス事業の第一段階を修了した者（グローバルサイエンスキャンパス事業によって大学等が開講するプログラムにより一次選抜後の二次選抜までの育成プログラムを修了した者）であり、本学の場合は、金沢大学グローバルサイエンスキャンパス事業の第一ステージを修了した者 3. 国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代科学技術チャレンジプログラム事業において研究計画を策定する段階を修了した者 ^{（注1）} であり、本学の場合は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージを修了した者 4. 本学の科目等履修生〈高校生等用〉制度により1単位以上修得した者 5. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 6. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 7. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者											
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること											
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題 ^{（注2）} 等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）（英語）」を行い、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。 （注）プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。 *課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 3. 教科・科目に係る個別テスト等で「総合問題（英語）」を課し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。											
大学入学共通テストの利用教科・科目名										教科・科目に係る個別テスト等		
教科	科目名等									教科等	科目名等	
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学Ⅱ』と『数学Ⅲ、数学Ⅳ、数学Ⅴ』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2 『英語』 『情報Ⅰ』 〔4教科5科目〕又は〔5教科5科目〕									その他	総合問題（英語） 口述試験（英語）	
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	総合問題 （英語）	口述試験 （英語）	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	200	※ 200 （100×2）		※ 200	※ 200	200	50					650
教科・科目に係る個別テスト等								600	600	参考	参考	1200
計	200	200				200	50	600	600			1850

（注1） 本学以外の大学等が実施する次世代科学技術チャレンジプログラム事業を修了した者は、出願に先立ち令和7年9月30日までに本学へ事前に相談してください。

（注2） KUGS 高大接続プログラムによらない出願の場合は、出願資格を得た内容

注意事項

1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
2. 英語総合選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
3. 原則として、入学後の転学類を認めません。
4. 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
5. 大学入学共通テスト
 - ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
 - ② 地理歴史、公民において、2科目選択する場合の組み合わせは以下のとおりです。

	地理総合、 地理探究	歴史総合、 日本史探究	歴史総合、 世界史探究	地理総合／歴史総合／公共			公共、倫理	公共、 政治・経済
				「地理総合」 及び「歴史総合」	「地理総合」 及び「公共」	「歴史総合」 及び「公共」		
地理総合、 地理探究		○	○	×	×	○	○	○
歴史総合、 日本史探究	○		○	×	○	×	○	○
歴史総合、 世界史探究	○	○		×	○	×	○	○
地理 総合／ 歴史 総合／ 公共	「地理総合」 及び「歴史総合」	×	×	×			○	○
	「地理総合」 及び「公共」	×	○	○			×	×
	「歴史総合」 及び「公共」	○	×	×			×	×
公共、倫理	○	○	○	○	×	×		×
公共、政治・経済	○	○	○	○	×	×	×	

※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×」の組合せは選択できません。

※『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。

- ③ 「数学」又は「理科」については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- ⑤ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- ⑥ 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「⑥ 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

(2) 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

令和7年12月6日（土）

(4) 合格者発表

令和8年2月11日（水）

9 超然特別入試

「超然特別入試」には、(1) ^{エーリンピアード}A-lympiad 選抜Ⅰ、(2) A-lympiad 選抜Ⅱ、(3) 超然文学選抜の3つの選抜があります（Ⅰは大学入学共通テストを課さない、Ⅱは大学入学共通テストを課す）。

「超然特別入試」は、「数学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲を持っている人」又は「文学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。

「超然特別入試」の選抜(1)、(2)及び(3)では、高等学校等在学中に本学が主催するコンテスト「日本数学A-lympiad*1」又は「超然文学賞*2」に応募し、各学類が指定する入賞実績を挙げた場合に出願資格を与えます。

入試では、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、口述試験や小論文などにより志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

*1 日本数学A-lympiad

本学が主催する数学コンテスト。同じ学校に在籍する3～4人がチームになり、現実の世界的課題を背景として作成された実社会に起こりうる問題（英文）を読み解き、数学の力を利用して社会にとってより良い解決案を提案することを競う大会。本コンテストで入賞した上位チームを、本学はオランダで開催される世界大会に日本代表として派遣。

*2 超然文学賞

本学が主催する文学コンテスト。小説と短歌の2部門を有し、「言葉の力」で人間の新しい可能性を切り拓くことのできる人材を発見し、その能力を称え、励ますことが目的。

【実施学类等】

学域・学类等		選抜区分	A-lympiad 選抜Ⅰ	A-lympiad 選抜Ⅱ	超然文学選抜
融合学域	先導学類				
	観光デザイン学類		○		○
	スマート創成科学類				
人間社会学域	人文学類				○
	法学類		○		
	経済学類				
	学校教育学類				○
	地域創造学類				
	国際学類		○		○
理工学域	数物科学類				
	物質化学類				
	機械工学類				
	フロンティア工学類		○		
	電子情報通信学類				
	地球社会基盤学類				
	生命理工学類				
医薬保健学域	医学類			○	
	薬学類				
	医薬科学類		○		
	保健学類	看護学専攻			
		診療放射線技術学専攻			
		医療検査技術学専攻			
		理学療法学専攻			
		作業療法学専攻			

○：実施する 網掛け：実施しない

1 A-lympiad 選抜 I (大学入学共通テストを課さない)

(1) 募集人員

各学域・学類とも若干名

(2) 出願資格

各志望学域・学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5-2号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

(3) 出願要件

学域・学類		出願要件
融合学域	先導学類	次の1から2の要件すべてを満たすこと 1. 本学主催「日本数学 A-lympiad」において「最優秀賞」、「優秀賞」、「優良賞」を受賞したことがあること 2. 調査書の学習成績の状況において、数学、英語が各々4.3以上若しくは数学、理科が各々4.3以上であること
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	国際学類	
理工学域	数物科学類	
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医薬科学類	次の1から2の要件すべてを満たすこと 1. 本学主催「日本数学 A-lympiad」において「最優秀賞」、「優秀賞」、「優良賞」を受賞したことがあること 2. 調査書の学習成績概評がA段階以上であること

(4) 入学者選抜方法等

学域・学類		入学者選抜方法等
融合学域	先導学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。300点
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。300点 2. 広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させる「小論文」を課し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。その際、文章や資料を提示することもあります。300点
	法学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。具体的には、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかなどを総合的に評価します。300点
	経済学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。300点
	学校教育学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「専門職としての教師を目指し教育を通じて地域社会の再生と発展に貢献しようとする意欲等」を評価します。300点
	国際学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。300点
理工学域	数物科学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。300点
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医薬科学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「医薬科学教育や医薬科学基礎・応用研究に取り組む意欲等」を評価します。300点

(5) 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

(6) 選抜期日

令和7年12月6日（土）

(7) 合格者発表

令和7年12月23日（火）

(8) その他

- ① A-lympiad 選抜 I に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限って、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ② 原則として、入学後の転学類を認めません。
- ③ 学校教育法施行規則第 150 条第 4 号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE A レベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際 A レベル）資格を有する者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については、次の表で確認してください。

○出願に必要な GCE A レベル資格及び国際 A レベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
融合学域	先導学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	国際学類	
理工学域	数物科学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医薬科学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「数学」1 科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち 2 科目の計 3 科目を含む。

2 A-lympiad 選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）出願資格、入学者選抜方法等

医薬保健学域 医学類

募集人員	若干名									
出願資格	本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5-2号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの									
出願要件	次の1から2の要件すべてを満たすこと 1. 本学主催「日本数学A-lympiad」において「最優秀賞」、「優秀賞」、「優良賞」を受賞したことがあること 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がA段階以上であること									
選抜方法等	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。なお、大学入学共通テストで本学類が課す教科・科目の成績の合計得点が概ね722.5点（85％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	100	※100（100×1）		200	200	200	50			850 （注）
教科・科目に係る個別テスト等								200	参考	200
計								200		200

（注）大学入学共通テストは、口述試験の参考として利用します。

注意事項

1. 大学入学共通テスト

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
ただし、「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。
（「地理歴史」「公民」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
- ② 『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2出題範囲を選択する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。
- ③ 「数学」又は「理科」については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- ⑤ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- ⑥ 『英語』については、英語外部試験を利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① **大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、医学類が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。**
- ② 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ③ A-lympiad 選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ④ 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際Aレベル）資格を有する者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については、次のとおりです。
※Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含む。
- ⑤ 原則として、入学後の転学類を認めません。

(2) 出願期間

令和7年12月17日（水）～23日（火）

（Web出願システムは、令和7年12月10日（水）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

令和8年2月8日（日）

(4) 合格者発表

令和8年2月11日（水）

3 超然文学選抜

(1) 募集人員

各学域・学類とも若干名

(2) 出願資格

各志望学域・学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5-2号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

(3) 出願要件

学域・学類		出願要件
融合学域	先導学類	本学主催「超然文学賞」において、小説部門又は短歌部門で「最優秀賞」、「優秀賞」、「佳作」を受賞したことがあること
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	次の1から2の要件すべてに該当すること 1. 本学主催「超然文学賞」において、小説部門又は短歌部門で「最優秀賞」、「優秀賞」、「佳作」を受賞したことがあること 2. 調査書の学習成績の状況において、英語が4.3以上であること
	国際学類	
	学校教育学類	

(4) 入学者選抜方法等

学域・学類		入学者選抜方法等
融合学域	先導学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点 （注）プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。 *課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点 2. 広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させる「小論文」を課し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。その際、文章や資料を提示することもあります。 300点
	学校教育学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「専門職としての教師を目指す教育を通じて地域社会の再生と発展に貢献しようとする意欲等」を評価します。 300点
	国際学類	学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点

(5) 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

(6) 選抜期日

令和7年12月6日（土）

(7) 合格者発表

令和7年12月23日（火）

(8) その他

- ① 超然文学選抜に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ② 原則として、入学後の転学類を認めません。
- ③ 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際Aレベル）資格を有する者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については、次のとおりです。
※Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。

10 女子枠特別入試

本学では、共生社会の実現を目指して、様々な個性を持つ学生や教職員が互いの特性を尊重し、それぞれの資質や能力を十分に発揮できるダイバーシティ（多様性）に関する取り組みを行っており、その活動の一環として、諸外国の大学に比べて比率が低い理工系的女子学生や女性研究者・技術者の育成を支援しています。さまざまな科学技術のイノベーション（新しい価値の創造）に女性の視点を反映させることは大学や社会全体にとっても重要な課題となっています。

これらの社会的要請に応えるため、理工学域では、「女子枠特別入試」を導入し、入学を希望する学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、口述試験により「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

1 出願資格、入学者選抜方法等

理工学域 数物科学類

募集人員	5人									
出願資格	次の1から3のいずれかに該当する女子で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者									
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること									
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 口述試験には、「数学又は物理（選択可）」に係る知識を一部活用する内容も含まれます。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね480点（60%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
国 数 理 外	『国語』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から2 『英語』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1 〔4教科6科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	200			200	200	200				800
教科・科目に係る個別テスト等								400	参考	400
計	200			200	200	200		400		1200

注意事項：126ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

出願時に、KUGS 特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域数物科学類を第2志望として選択することができます。ただし、KUGS 特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

理工学域 機械工学類

募集人員	20人									
出願資格	次の1から3のいずれかに該当する女子で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者									
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること									
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類等により募集人員の2倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね360点（60%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
数 理 外	『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 〔3教科5科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト				200	200	200				600
教科・科目に係る個別テスト等								300	参考	300
計				200	200	200		300		900

注意事項：126ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

出願時に、KUGS 特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域機械工学類を第2志望として選択することができます。ただし、KUGS 特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

理工学域 フロンティア工学類

募集人員	8人									
出願資格	次の1から3のいずれかに該当する女子で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者									
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること									
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
数 理 外 情	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』と『化学』 『英語』,『ドイツ語』,『フランス語』,『中国語』,『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔4教科6科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト				200	200	200	50			650
教科・科目に係る個別テスト等								600	参考	600
計				200	200	200	50	600		1250

注意事項：126ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

理工学域 電子情報通信学類

募集人員	5人									
出願資格	次の1から3のいずれかに該当する女子で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者									
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること									
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 ^{（注）} 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
国 数 理 外 情	『国語』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』と『化学』 『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔5教科7科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	100			200	200	200	50			750
教科・科目に係る個別テスト等								750	参考	750
計	100			200	200	200	50	750		1500

注意事項：126ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

出願時に、KUGS 特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域電子情報通信学類を第2志望として選択することができます。ただし、KUGS 特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

(注) プレゼンテーションでは、事前に提示する課題*について資料（A4サイズ5ページ程度）を用いて、10分程度の口頭発表を求めます。

なお、口頭発表は紙資料をスクリーンに投影して実施します。口述試験は個人単位で行い、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を含みます。

課題*：学類のアドミッション・ポリシーに記載されている技術用語に関する課題を出します。詳細は、Web 出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。

理工学域 地球社会基盤学類 地球惑星科学コース

募集人員	3人									
出願資格	次の1から3のいずれかに該当する女子で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者									
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること									
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
数 理 外 情	『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔4教科6科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト				200	200	200	50			650
教科・科目に係る個別テスト等								400	参考	400
計				200	200	200	50	400		1050

注意事項：126ページの共通の注意事項も必ず確認してください。

出願時に、KUGS 特別入試 総合型選抜Ⅱの理工学域地球社会基盤学類地球惑星科学コースを第2志望として選択することができます。ただし、KUGS特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

理工学域 地球社会基盤学類 土木防災コース・環境都市コース

募集人員	3人									
出願資格	次の1から3のいずれかに該当する女子で、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できるもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和8年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和8年3月までに修了又は修了見込みの者									
出願要件	令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること									
選抜方法	1. 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。									
大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
国 数 理 外 情	『国語』 『数学Ⅰ, 数学A』と『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から2 『英語』, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔5教科7科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	200			200	200	200	50			850
教科・科目に係る個別テスト等								450	参考	450
計	200			200	200	200	50	450		1300

注意事項：126ページの共通の注意事項も必ず確認してください。
出願時に、KUGS 特別入試総合型選抜Ⅱの理工学域地球社会基盤学類土木防災コース・環境都市コースを第2志望として選択することができます。ただし、KUGS 特別入試の出願資格・大学入学共通テストの利用教科・科目の受験を満たしている必要があります。

【共通の注意事項】

1. 大学入学共通テスト

- (1) 「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- (2) 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- (3) 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- (4) 『英語』での英語外部試験の利用については、すべての学域・学類等で利用できます。詳細は25ページ「⑥ 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- (1) 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
- (2) 各学域・学類等の内容が表示してある表の下「注意事項」も必ず確認してください。
- (3) 女子枠特別入試に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- (4) 原則として、入学後の転学類・転コース等を認めません。

2 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

3 選抜期日

令和7年12月6日（土）

4 合格者発表

第1次選考 令和7年11月27日（木）

最終選考 令和8年2月11日（水）

11 医学類・高大院接続入試[特別枠](研究医枠)

本学では、医学類が求める、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質・自主性、本質への探究心、本学における博士課程までの一貫した学修意欲について多面的・総合的に評価するため、大学入学共通テストに加え、書類審査（調査書、志願理由書、活動記録、入学意志及び進学意志確認書等）、口述試験にて選抜を行う「医学類・高大院接続入試」を設けています。

また、志願者自らの意志で出願できる公募制をとり、1校あたりの出願者数を制限しないことにより、より多くの志願者に門戸を広げています。

1. 将来、医学研究に従事する研究医の育成を目的としています。
2. 研究医枠を選択した入学者に対し、医学類独自の奨学金を給付します。
3. 入学後は Medical Research Training (MRT) プログラムに登録の上、関連する授業科目を履修し、MRT プログラムを修了する者を対象とします。卒業後は、金沢大学附属病院での臨床研修プログラムを開始の上、本学大学院医薬保健学総合研究科または先進予防医学研究科に入学し、大学院修了後も引き続き本学の医学系において医学研究に携わります。

本学のWebサイトに掲載しています。

Medical Research Training (MRT) プログラム (<https://mrt.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>)

金沢大学附属病院 臨床研修プログラム (<https://sotsuken.w3.kanazawa-u.ac.jp/junior>)



1 出願資格、入学者選抜方法等

医薬保健学域 医学類

募集人員	2人【予定】(注1)
出願資格	本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5-2号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの
出願要件	次のすべてを満たすもの 1. 令和8年度大学入学共通テストで次頁の教科・科目を受験すること 2. 本学に入学後、Medical Research Training (MRT) プログラムを修了し、卒業後は、金沢大学附属病院での臨床研修プログラムを開始すること 3. 臨床研修プログラムを開始の上、本学大学院医薬保健学総合研究科または先進予防医学研究科に入学し、大学院修了後も引き続き本学において医学研究に携わることを父母等の同意の上確約できる者
選抜方法	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録、入学意志及び進学意志確認書等）、大学入学共通テストの得点により、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね722.5点（85%）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録、入学意志及び進学意志確認書等）の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録、入学意志及び進学意志確認書等）、大学入学共通テストを参考に「口述試験（個人及びグループにて実施）」を行い、「研究心」、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。

大学入学共通テストの利用教科・科目名									教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等								教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合／歴史総合／公共』 『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』 『物理』と『化学』 『英語』 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕								その他	口述試験
大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	100	※ 100 (100×1)		200	200	200	50			850 (注2)
教科・科目に係る個別テスト等								200	参考	200
計								200		200

(注1) 研究医枠は文部科学省へ申請予定であり、募集人員は変更することがあります。確定後、金沢大学（入試情報・高大院接続）Webサイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>）でお知らせしますので確認してください。

(注2) 大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

注意事項

1. 大学入学共通テスト

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。

（「地理歴史」「公民」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

- ② 『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。
- ③ 「数学」及び「理科」については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- ⑤ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。
- ⑥ 『英語』については、英語外部試験を利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① **大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、医学類が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。**
- ② 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ③ 医学類・高大院接続入試（研究医枠）に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。

- ④ 原則として、入学後の転学類を認めません。
- ⑤ 学校教育法施行規則第 150 条第 4 号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際Aレベル）資格を有する者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、次のとおりです。
- ※Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」1科目と「物理」，「化学」，「生物」のうち2科目の計3科目を含む。

2 出願期間

令和7年12月17日（水）～23日（火）

（Web出願システムは、令和7年12月10日（水）から事前登録可能）

3 選抜期日

最終選考 令和8年2月8日（日）

4 合格者発表

第1次選考 令和8年2月6日（金）

最終選考 令和8年2月11日（水）

12 薬学類・高大院接続入試

本学では、薬学類が求める、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質・自主性、本質への探究心、本学における博士課程までの一貫した学修意欲について多面的・総合的に評価するため、大学入学共通テストに加え、書類審査（調査書、志願理由書、活動記録、入学意志及び進学意志確認書等）、小論文、口述試験にて選抜を行う「薬学類・高大院接続入試」を設けています。

また、志願者自らの意志で出願できる公募制をとり、1校あたりの出願者数を制限しないことにより、より多くの志願者に門戸を広げています。

1 出願資格、入学者選抜方法等

医薬保健学域 薬学類

募集人員	10人		
出願資格	本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5-2号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの		
出願要件	次のすべてを満たすもの 1. 令和8年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること 2. 本学大学院（薬学専攻博士課程）までの一貫した教育を受け、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者を志している者であること		
選抜方法	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録及び活動などの証明書類、入学意志及び進学意志確認書等）、大学入学共通テストの得点により、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、出願資格及び出願要件を満たしているか確認します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね825点（75%）以上（ただし、平均点が大きく低下した場合は変更することがある）を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類（調査書、志願理由書、活動記録、入学意志及び進学意志確認書等）の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるよう選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、「小論文」と「口述試験」による試験を実施し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質」、「本質への探究心」、「本学における学修意欲等」について多方面から評価します。		
大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等	
教科	科目名等	教科等	科目名等
国 地歴 公民 数 理 外 情	『国語』 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』 } から1 『数学Ⅰ、数学A』と『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理』と『化学』 『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 『情報Ⅰ』 〔6教科8科目〕又は〔7教科8科目〕	その他	小論文 口述試験

大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	口述試験	出願書類	配点合計
共通テスト	100	※ 100 (100 × 1)		300	200	300	100				1100 (注)
教科・科目に係る個別テスト等								50	100	参考	150
計								50	100		150

(注) 大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

注意事項

1. 大学入学共通テスト

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
ただし、「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合は、受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします）。
（「地理歴史」「公民」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）
- ② 『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、2出題範囲を選択解答する必要があります。なお、「地理総合」と「公共」もしくは「歴史総合」と「公共」の2出題範囲を選択解答した場合は、「地理歴史」及び「公民」の2教科を受験したこととします。
- ③ 「数学」及び「理科」については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 『英語』（200点満点）の成績は、リーディングテスト（100点満点）及びリスニングテスト（100点満点）の成績をそのまま利用します。
- ⑤ 『英語』のリスニングテストが免除の重度難聴者については、『英語』のリーディングテスト（100点満点）の成績を200点満点に換算して利用します。また、入学者選抜の配点にあたっては、大学入学共通テストの「外国語」（300点）の配点に換算します。
- ⑥ 『英語』については、英語外部試験を利用できます。詳細は25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける『英語』を受験する必要があります。

2. その他

- ① **大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等で、薬学類が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。**
- ② 大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等の配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ③ 薬学類・高大院接続入試に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- ④ 原則として、入学後の転学類を認めません。
- ⑤ 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際Aレベル）資格を有する者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、次のとおりです。
※Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含む。

2 出願期間

令和8年1月20日（火）～24日（土）（Web出願システムは、令和8年1月13日（火）から事前登録可能）

3 選抜期日

最終選考 令和8年2月8日（日）

4 合格者発表

第1次選考 令和8年2月6日（金）
最終選考 令和8年2月11日（水）

13 在外留学生推薦入試

本学では、日本の国籍を有しない者で、出身学校長等が責任を持って推薦する学修意欲の高い志願者に対し、外国における教育事情の違い等を考慮し、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除することで受験の負担を軽減した「在外留学生推薦入試」を設けています。

1 募集人員

融合学域 先導学類 3名

融合学域 観光デザイン学類 若干名

融合学域 スマート創成科学類 若干名

2 推薦要件

日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、次の1から4までのすべての条件を満たすもの

1. 次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8（2026）年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者
- (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際Aレベル）資格を取得した者（ただし、3科目以上合格（E判定以上）に限る。）
- (6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパアン・バカロレア資格を取得した者
- (7) 外国において、国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和8（2026）年3月までに修了した者及び修了見込みの者

2. 次のいずれかに該当する者

- (1) 本学との大学間交流協定（部局間交流協定を含む。）機関の附属高校に相当する出身学校長等又は大学間交流協定（部局間交流協定を含む。）機関の長等が責任を持って推薦できる者
- (2) 本学が前項と同等と認める機関の長等が責任を持って推薦できる者

3. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者

4. 合格した場合、入学することを確約できる者

3 入学者選抜方法等

1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。
2. 選抜は、英語外部試験、推薦書、志願理由書の評価及びそれを参考にした「口述試験（プレゼンテーションを含む）」で、「知識・技能」、「主体性・協調性」などを評価して、総合的に選抜を行います。
プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。

*課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。

英語外部試験（ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、IELTS、TOEFL iBT^(注)のいずれか）

口述試験（プレゼンテーションを含む）（受験者の選択により英語又は日本語で行います。）

(注) TOEFL iBTは、TOEFL iBT Home Edition も対象とします。スコア提出については25ページの「[⑥ 英語外部試験](#)」を確認してください。

4 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

5 選抜期日

令和7年12月6日（土）

6 合格者発表

令和7年12月23日（火）

7 その他

原則として、入学後の転学類を認めません。

14 社会人選抜

本学では、社会人の志願者に対し、高等学校等卒業後の年月の経過等を考慮し、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除することで受験の負担を軽減した「社会人選抜」を設けています。

1 募集人員

融合学域 先導学類 若干名
融合学域 観光デザイン学類 若干名
融合学域 スマート創成科学類 若干名

2 出願資格

大学入学資格を有する社会人で、令和8年4月1日現在で社会人経験^(注)を3年以上有し、令和8年4月1日現在で満21歳以上の者

(注) 1. 定時制・通信制及び夜間部以外の学校（大学を含む）の在学期間は社会人の経験年数に含めない。
2. 家事従事者・自営業等を含む。

3 入学者選抜方法等

1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。
2. 選抜は、英語外部試験、口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果、調査書及び志願理由書により総合的に選抜を行います。

プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭に置いた質疑応答を個人単位で行います。

*課題：Web出願システムから印刷した受験票に記載しているURLへアクセスして確認してください。

英語外部試験：ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、IELTS、TEAP（4技能、CBT）、TOEFL iBT^(注)、TOEIC L&Rのいずれか

3. 配点は次のとおりです。

英語外部試験	100点
口述試験（プレゼンテーションを含む）	100点

(注) TOEFL iBTは、TOEFL iBT Home Edition も対象とします。スコア提出については25ページの「[⑥ 英語外部試験](#)」を確認してください。

4 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）
（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

5 選抜期日

令和7年12月6日（土）

6 合格者発表

令和7年12月23日（火）

7 その他

- (1) 社会人選抜に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- (2) 原則として、入学後の転学類を認めません。

15 帰国生徒選抜

本学では、外国で学校教育を受けた志願者に対し、外国における教育事情の違い等を考慮し、大学入学共通テストを免除することで、受験の負担を軽減した「帰国生徒選抜」を設けています。

1 募集人員

各学域・学類とも若干名（人間社会学域学校教育学類については実施しない）

2 出願資格

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者とともに外国に在留し、外国で学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当するもの

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において 12 年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に外国に在住しながら、最終学年を含め 2 学年以上継続して在学し、令和 6（2024）年 4 月から令和 8（2026）年 3 月までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において外国に在住しながら、2 学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第 3 学年に編入学した者で令和 8（2026）年 3 月までに卒業見込みのもの
- (3) 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを、外国に在住しながら、最終学年を含め 2 学年以上継続して在学し、令和 6（2024）年 4 月から令和 8（2026）年 3 月までに修了した者及び修了見込みの者
- (4) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和 6（2024）年 4 月以降に授与された者
- (5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和 6（2024）年 4 月以降に取得した者
- (6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和 6（2024）年 4 月以降に取得した者
- (7) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE A レベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際 A レベル）資格を令和 6（2024）年 4 月以降に取得した者
- (8) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格証書を令和 6（2024）年 4 月以降に授与された者
- (9) 外国において、国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を、外国に在住しながら、最終学年を含めて 2 学年以上継続して在学し、令和 6（2024）年 4 月から令和 8（2026）年 3 月までに修了した者及び修了見込みの者

- (注) 1. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は、外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含みません。
2. 保護者の帰国に同伴せず、保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの滞在期間が 1 年以上経過した者は出願できません。
3. (7) については、GCE A レベル資格及び国際 A レベル資格において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については次表のとおりです。

○出願に必要なGCE Aレベル資格及び国際Aレベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
融合学域	先導学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」、「生物」のうち2科目を含む。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含む。
	薬学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含む。
	医薬科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	保健学類	ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含む。

3 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

4 選抜期日

人間社会学域（経済学類、国際学類（最終選考））

令和7年12月6日（土）

融合学域、人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、理工学域、医薬保健学域

令和8年2月25日（水）、26日（木）

※選抜期日は、学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

5 合格者発表

人間社会学域（経済学類）

令和7年12月23日（火）

人間社会学域（国際学類）

1次選考 令和7年11月27日（木）

最終選考 令和7年12月23日（火）

融合学域、人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、理工学域、医薬保健学域

令和8年3月9日（月）

6 その他

原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

7 入学者選抜方法等

志望する学域・学類等が課す教科・科目に係る個別テスト等のすべてを受験しなければ、失格とします。

学域・学類等		選抜方法等
融合学域	先導学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 （注）プレゼンテーションでは、事前に本学が提示する課題*について、5分程度の口頭発表を課します。なお、PC 機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭においた質疑応答を個人単位で行います。 *課題：Web 出願システムから印刷した受験票に記載している URL へアクセスして確認してください。
	観光デザイン学類	3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 国 語『現代の国語、言語文化』 数 学『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列）、 数学C（ベクトル）』 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）』 } から2教科
	スマート創成科学類	4. 配点：国 語 200点（100点×2） 数 学 200点 外 国 語 口述試験 〈採点・評価基準〉 口述試験：社会課題に対する多面的な質問を行い、多分野にわたる勉学意欲や学類への適格性等を総合的に評価します。
人間社会学域	人文学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 国 語『現代の国語、言語文化』 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：国 語 100点 外 国 語 100点 口述試験 200点 〈採点・評価基準〉 口述試験：高校時代の日本内外における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識などを評価します。
	法学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び口述試験の結果を総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 国 語『現代の国語、言語文化』のうちの現代文 4. 配点：国 語 50点 口述試験 150点 〈採点・評価基準〉 口述試験：①大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ②他人の考えを理解する能力備えているか。 ③論理的に思考し、それを表現する力を備えているか。 ④社会問題に対する関心は強いのか。 ⑤自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。

学域・学類等		選抜方法等
人間社会学域	経済学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、小論文、成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書及び口述試験の結果を総合して行います。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について論述させます。 3. 配点：小論文 100点 口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 口述試験：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を評価します。 成績証明書（調査書）：平素の学習活動の成果を確認するものとして、口述試験の参考とします。
	地域創造学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 国語『現代の国語、言語文化』のうちの現代文 数学『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（数列）、数学C（ベクトル）』 4. 配点：国語 100点 数学 100点 口述試験 150点 〈採点・評価基準〉 口述試験：地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い基礎的知識、思考力・表現力、勉学意欲等を総合的に評価します。
	国際学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 第1次選考 成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の審査、英語外部試験の成績 英語外部試験：ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、GTEC検定版（Advanced）、IELTS、TEAP（4技能、CBT）、TOEFL iBT（Home Edition含む）のいずれか ※英語外部試験スコア提出については、25ページ「[6] 英語外部試験」を確認してください。 3. 第1次選考結果は、令和7（2025）年11月27日（木）に発表します。 4. 最終選考 第1次選考に合格した者に対して学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、口述試験を実施します。 なお、調査書、推薦書、志願理由書も口述試験の参考とします。 〈最終選考評価基準〉 ①大学での国際学の学習に必要な基礎的知識と関心について評価します。 ②日本語によるコミュニケーション能力について評価します。 ③論理的な思考力と、自主的・主体的に課題に取り組む意欲について評価します。 5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と最終選考（100点満点）の結果を総合して行います。
理工学域	数物科学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数学『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）』 4. 配点：数学 450点 口述試験 450点 〈採点・評価基準〉 口述試験：質問に対する理解度、勉学意欲、基礎的知識等を評価します。 成績証明書（調査書）：理数系科目について、総合的な観点から評価します。

学域・学類等		選抜方法等
理 工 学 域	物質化学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測），数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『化学基礎，化学』 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外 国 語 150点 〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。
	機械工学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測），数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『物理基礎，物理』 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 500点 理 科 400点 外 国 語 400点 〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測），数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『物理基礎，物理』，『化学基礎，化学』，『生物基礎，生物』から1 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外 国 語 150点 〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。
	生命理工学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測），数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『物理基礎，物理』，『化学基礎，化学』，『生物基礎，生物』から1 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 200点 理 科 150点 外 国 語 150点 〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。

学域・学類等		選抜方法等
医 薬 保 健 学 域	医学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測）， 数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『物理基礎，物理』と『化学基礎，化学』 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 600点 理 科 600点（物理（300点），化学（300点）） 外 国 語 600点 口述試験 300点 〈採点・評価基準〉 口述試験：勉学意欲と資質等を判断するための多面的試問を行います。 成績証明書（調査書）：履修状況・学業成績等を確認するための資料もしくは口述試験の参考資料とします。
	薬学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測）， 数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『物理基礎，物理』と『化学基礎，化学』 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 300点 理 科 600点（物理（300点），化学（300点）） 外 国 語 300点 口述試験 600点 〈採点・評価基準〉 口述試験：薬学に関する勉学意欲や資質・適性を判断するための多面的試問を行い，総合的に評価します。 成績証明書（調査書）：口述試験の参考資料とします。
	医薬科学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）、口述試験の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 数 学『数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B（数列，統計的な推測）， 数学C（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）』 理 科『物理基礎，物理』，『化学基礎，化学』，『生物基礎，生物』から2 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：数 学 300点 理 科 600点（300点×2科目） 外 国 語 300点 口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 口述試験：勉学意欲や医薬科学研究に関する資質・適性を判断するための多面的試問を行い，総合的に評価します。 成績証明書（調査書）：口述試験の参考資料とします。
	保健学類	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、教科・科目に係る個別テスト（前期日程）の結果及び成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して行います。 3. 教科・科目に係る個別テスト（前期日程）で課す教科・科目名 理 科『物理基礎，物理』，『化学基礎，化学』，『生物基礎，生物』から1 外国語『英語（英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）』 4. 配点：理 科 200点 外 国 語 200点 〈採点・評価基準〉 成績証明書（調査書）：総合的に評価します。

16 国際バカロレア入試

本学では、世界で活躍するグローバル人材を育成する国際バカロレア（以降、IB という）を活用することとし、IB 取得者及び取得見込み者に特化した「国際バカロレア入試」を設けています。客観性・透明性の高い IB スコアの特徴、IB スコア自体が基礎学力を有することの証明となることから、IB 資格取得者及び取得見込み者に対し、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除することで、様々なバックグラウンドを持つ志願者の受験の負担を軽減します。

1 募集人員

各学域・学類とも若干名

（医薬保健学域医学類については実施しない）

2 出願資格

次の（1）～（3）のいずれにも該当する者

（1）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和 8（2026）年 3 月までに授与された者及び授与見込みの者

（2）国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は令和 8（2026）年 3 月までに該当する見込みの者

① 言語 A を日本語により履修し、成績評価が 4 以上の者

ただし、人文学類、法学類、経済学類、地域創造学類、国際学類においては、言語 B（HL）を日本語により履修し、成績評価が 4 以上の者を含みます。

② 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者

学域・学类等		指定する科目等
融合学域	先導学類	グループ 3～5 から 1 科目（HL 成績評価 4 以上）
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	ディプロマスコア 35 以上
	法学類	グループ 3 から 1 科目（HL 成績評価 4 以上）
	経済学類	指定なし
	学校教育学類	グループ 2～6 から 1 科目（HL 成績評価 4 以上）
	地域創造学類	ディプロマスコア 35 以上かつグループ 3～5 から 1 科目（HL 成績評価 4 以上）
	国際学類	指定なし
理工学域	数物科学類	数学（HL 成績評価 4 以上）及び物理（HL 成績評価 4 以上） 又は 数学（HL 成績評価 4 以上）及び化学（HL 成績評価 4 以上）
	物質化学類	数学（HL 成績評価 4 以上）、化学（HL 成績評価 4 以上）
	機械工学類	数学（HL 成績評価 4 以上）、物理（HL 成績評価 4 以上）
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	数学（HL 成績評価 4 以上）及び物理（HL 成績評価 4 以上） 又は 数学（HL 成績評価 4 以上）及び化学（HL 成績評価 4 以上）
	生命理工学類	数学（HL 成績評価 4 以上）、物理、化学、生物から 1 科目（HL 成績評価 4 以上）

医療保健学域	薬学類		数学 (HL 成績評価 4 以上), 物理 (HL 成績評価 4 以上), 化学 (HL 成績評価 4 以上)
	医薬科学類		数学 (HL 成績評価 4 以上)
	保健学類	看護学専攻	物理, 化学, 生物から 2 科目 (各科目 HL 成績評価 4 以上)
		診療放射線技術学専攻	数学 (HL 成績評価 4 以上), 物理 (HL 成績評価 4 以上), 化学 (HL 成績評価 4 以上)
		医療検査技術学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理, 化学, 生物から 2 科目 (各科目 HL 成績評価 4 以上)

※ HL は HIGHER LEVEL を表す。

(3) 本学での勉学を強く希望し、**合格した場合には入学することを確約できる者**

3 入学者選抜方法等

志望する学域・学類等が課す学力検査等のすべてを受験しなければ、失格とします。

学域・学類等		選抜方法
融合学域	先導学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針) に基づき、提出書類等、口述試験 (プレゼンテーションを含む) の結果により総合して行います。 (注) プレゼンテーションでは、本学が事前に提示する課題*について、5 分程度の口頭発表を課します。なお、PC 機器や資料を用いずに口頭のみでの実施とします。口述試験では、プレゼンテーションの他、アドミッション・ポリシーを念頭においた質疑応答を個人単位で行います。 *課題: Web 出願システムから印刷した受験票に記載している URL へアクセスして確認してください。 3. 配 点: 口述試験 (プレゼンテーションを含む) 100 点 〈採点・評価基準〉 □ 述 試 験: 多面的な質問を行い、多分野にわたる勉学意欲や学類への適格性等を総合的に評価します。
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針) に基づき、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配 点: 口述試験 100 点 〈採点・評価基準〉 提出書類等: 出願資格や志願理由が人文学類で学習を進める上で適切であるかを総合的に評価します。 □ 述 試 験: 多面的な質問 (関連する日本語あるいは外国語の文章・資料等を提示して回答を求めることもあります。) を行い、学習意欲などの資質や人文学類で学習を進めるのに必要な知識・理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。
	法学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針) に基づき、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配 点: 口述試験 100 点 〈採点・評価基準〉 □ 述 試 験: ①大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか。 ②他人の考えを理解する能力を備えているか。 ③論理的に思考し、それを表現する力を備えているか。 ④社会問題に対する関心は強いのか。 ⑤グローバルな社会で自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか。
	経済学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針) に基づき、提出書類等、小論文及び口述試験の結果により総合して行います。 小 論 文: 現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について日本語で論述させます。 3. 配 点: 小論文 100 点 □ 述 試 験 100 点 〈採点・評価基準〉 小 論 文: 現代の文化・社会・経済に関する和文を読解させ、理解力、分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 □ 述 試 験: 高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を評価します。

人間社会学域	学校教育学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：成績評価証明書，身上調書，志願理由書等は，平素の学習活動の成果について確認し，勉学意欲・資質等を判断するための評価資料として，口述試験の参考にします。 口述試験：多面的な試問を行い，勉学意欲や資質，学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。
	地域創造学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格を証明する書類，身上調書，志願理由書の提出書類は口述試験の際に参考とします。 口述試験：地域創造に関わる課題への多面的な質問を行い，基礎的知識，思考力・表現力，勉学意欲等を総合的に評価します。
	国際学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：出願資格や志願理由が国際学類で学習を進める上で適切であるかを総合的に評価します。 口述試験：① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識と関心について評価します。 ② 日本語によるコミュニケーション能力について評価します。 ③ 論理的な思考力と，自主的・主体的に課題に取り組む意欲について評価します。
理工学域	数物科学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 口述試験：理工学分野の勉学意欲及び資質等を評価します。
	物質化学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：提出書類等 100点 口述試験 200点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 口述試験：理工学分野の勉学意欲及び資質等を評価します。
	機械工学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：提出書類等 100点 口述試験 100点
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 口述試験：理工学分野の勉学意欲及び資質等を評価します。
	生命理工学類	
医薬保健学域	薬学類	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は，学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき，提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 口述試験：生命科学，生命薬学の領域において，国際的に活躍し，薬学の課題解決に主体的に取り組む勉学意欲と資質等を判断するための諮問を行います。

医薬保健学域	医薬科学類		1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、提出書類等を参考にし、口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 口述試験：医薬科学分野の勉学意欲及び資質等を評価します。
	保健学類	看護学専攻	1. 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストを免除します。 2. 選抜は、学類のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。 3. 配点：口述試験（提出書類を含む） 100点 〈採点・評価基準〉 提出書類等：総合的に評価します。 口述試験：理系能力ならびに医療人としての適性について評価します。
		診療放射線技術学専攻	
		医療検査技術学専攻	
		理学療法学専攻	
		作業療法学専攻	

4 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）

（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

5 選抜期日

令和7年12月6日（土）

6 合格者発表

令和7年12月23日（火）

7 その他

- 国際バカロレア入試に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の教科・科目に係る個別テスト等を受験することができます。
- 原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

17 私費外国人留学生入試

本学では、日本の国籍を有しない者で、本学における学修意欲の高い志願者に対し、受験の負担を軽減するため、大学入学共通テストを免除する「私費外国人留学生入試」を設けています。各学類等が求める資質、意欲及び適性等について口述試験により多面的・総合的に評価します。

1 募集人員

各学域・学類とも若干名

2 出願資格

日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、次の（1）及び（2）に該当するもの

（1）次のいずれかに該当する者

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8（2026）年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者
- ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（国際Aレベル）資格を取得した者
- ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者
- ⑦ 外国において、国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和8（2026）年3月までに修了した者及び修了見込みの者

（2）独立行政法人日本学生支援機構が実施する2024年度又は2025年度日本留学試験を受験した者

3 出願条件

- （1）機械工学類、フロンティア工学類及び電子情報通信学類については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、各科目の得点率が60%を超えていること、並びに、TOEFL iBTにおいて、得点率が50%を超えていること。
- （2）地球社会基盤学類については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、合計得点率が75%以上であること。
- （3）薬学類については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、理科（物理及び化学）150点、数学（コース2）150点以上であること。
- （4）医薬科学類については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、理科（物理、化学、生物から2科目）150点、数学（コース2）150点以上であること。
- （5）保健学類医療検査技術学専攻については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること、並びに、TOEFL iBTにおいて、得点率が60%を超えていること。
- （6）上記「2 出願資格（1）⑤」については、GCE Aレベル資格及び国際Aレベル資格において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については次表のとおりです。

○出願に必要なGCE Aレベル資格及び国際Aレベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
融合学域	先導学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	観光デザイン学類	
	スマート創成科学類	
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」、「生物」のうち2科目を含む。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含む。
	薬学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含む。
	医薬科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	保健学類	ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含む。

4 入学者選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、2024年度又は2025年度日本留学試験、学力検査等の成績及び書類審査の結果を総合して日本人とは異なる基準により選抜します。

学力検査等の科目は、147～149ページのとおりです。

志望する学域・学類等が課す日本留学試験及び教科・科目に係る個別テスト等をすべて受験しなければ失格とします。

5 出願期間

令和7年11月1日（土）～8日（土）（Web出願システムは、令和7年10月25日（土）から事前登録可能）

6 選抜期日

融合学域，人間社会学域，理工学域

令和7年12月6日（土）

医薬保健学域

令和8年2月25日（水），26日（木）

※選抜期日は、学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

7 合格者発表

融合学域，人間社会学域，理工学域

令和7年12月23日（火）

医薬保健学域

令和8年3月9日（月）

8 その他

原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

学力検査等の科目

学域・学類等			日本留学試験の利用する教科・科目等							英語能力	学力検査等			
			日本語	総合科目	数学	理科			出題言語			利用試験 (注2参照)		
						物理	化学	生物						
融合学域	先導学類 観光デザイン学類 スマート創成科学類	パターンA	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より 選択				日本語	2024年度 6月又は 11月又は 2025年度 6月	ケンブリッジ 英語検定(リン ガスキル含 む), IELTS, TOEFL iBT のいずれか	□述試験 (プレゼンテーションを含む)		
		パターンB		◎					英語					
		パターンC	◎		◎ コース2	○ ○ ○ 2科目選択			日本語					
		パターンD				○ ○ ○ 2科目選択			英語					
人間社会学域	人文学類	パターンA	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より 選択				日本語	2024年度 6月又は 11月又は 2025年度 6月	ケンブリッジ 英語検定(リン ガスキル含 む), IELTS, TOEFL iBT のいずれか	□述試験		
		パターンB		◎					英語					
	法学類	パターンA		◎					日本語				TOEFL iBT	
		パターンB		◎					英語					
	経済学類	パターンA	◎	◎					日本語					小論文 □述試験
		パターンB		◎					英語					
	学校教育学類	パターンA	◎	◎					日本語		□述試験			
		パターンC	◎			○ ○ ○ 2科目選択			日本語					
	地域創造学類	パターンA	◎	◎					日本語			ケンブリッジ 英語検定(リン ガスキル含 む), IELTS, TOEFL iBT のいずれか		
		パターンB		◎					英語					
	国際学類	パターンA	◎	◎					日本語					
		パターンB		◎					英語					

学域・学類等			日本留学試験の利用する教科・科目等							英語能力	学力検査等	
			日本語	総合科目	数学	理科			出題言語			利用試験 (注2参照)
						物理	化学	生物				
理工学域	数物科学類	パターンC			◎ コース2	◎			日本語	2024年度 6月又は 11月又は 2025年度 6月	TOEFL iBT □述試験	
		パターンD							英語			
	物質化学類	パターンC	◎			◎	◎	日本語				
		パターンD						英語				
	機械工学類	パターンC				◎	◎	日本語				
		パターンD						英語				
	フロンティア工学類	パターンC	◎			◎	◎	日本語				
		パターンD						英語				
	電子情報通信学類	パターンC				◎	◎	日本語				
		パターンD						英語				
	地球社会基盤学類	パターンC				◎	◎	日本語				
		パターンD						英語				
	生命理工学類	パターンC				○ ○ ○ 2科目選択	日本語					
		パターンD					英語					

学域・学類等		日本留学試験の利用する教科・科目等						英語能力	学力検査等
		日本語	総合科目	数学	理科 物理 化学 生物	出題 言語	利用試験 (注2参照)		
医療保健学域	医学類	◎			○ ○ ○ 2科目選択			TOEFL iBT	数学(『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, 統計的な推測), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)』) 理科(『物理基礎, 物理』と『化学基礎, 化学』) 口述試験
	薬学類	◎			◎ ◎				数学(『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, 統計的な推測), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)』) 理科(『物理基礎, 物理』と『化学基礎, 化学』) 外国語(『英語(英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)』) 口述試験
	医薬科学類	◎		◎ コース2	○ ○ ○ 2科目選択		2024年度 6月又は 11月又は 2025年度 6月又は 11月		数学(『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, 統計的な推測), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)』) 理科(『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から2) 外国語(『英語(英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)』) 口述試験
	看護学専攻								理科(『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から1) 外国語(『英語(英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)』) 口述試験
	保健学類 診療放射線技術学専攻 医療検査技術学専攻	◎			○ ○ ○ 2科目選択				数学(『数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(数列, 統計的な推測), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)』) 理科(『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から1) 口述試験
	理学療法学専攻 作業療法学専攻								理科(『物理基礎, 物理』, 『化学基礎, 化学』, 『生物基礎, 生物』から1) 外国語(『英語(英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ)』) 口述試験

- (注) 1. ◎は必須科目, ○は選択科目を示します。
2. 日本留学試験は, 2024年度又は2025年度の6月及び11月のいずれか1回の成績を利用します。(ただし, 融合学域の全学類, 人間社会学域の全学類及び理工学域の全学類においては, 選抜期日の関係上, 2025年11月の成績は利用できません。)
3. 融合学域の全学類における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は, パターンA, パターンB, パターンC, パターンDのいずれかによる受験が必要です。
4. 人文学類, 法学類, 経済学類, 地域創造学類, 国際学類における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は, パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
5. 学校教育学類における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は, パターンA又はパターンCのいずれかによる受験が必要です。
6. 理工学域の全学類における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は, パターンC又はパターンDのいずれかによる受験が必要です。
7. TOEFL iBTは, TOEFL iBT Home Editionも対象とします。
8. 英語外部試験のスコアは全学類提出する必要があります。提出については25ページの「[6 英語外部試験](#)」を確認してください。
9. 日本国外に在住する志願者は, オンラインでの口述試験を選択することが可能です。詳細は学生募集要項で確認してください。
10. 英語で履修可能なプログラムについては, 学生募集要項で確認してください。

18 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障害が著しく、本学の教科・科目に係る個別テストにおいて、「代筆解答」を必要とする者は、下記の期限にかかわらず大学入学共通テスト出願以前のできるだけ早い時期に本学へ相談してください。また、事前相談期限後に受験及び修学上の配慮を必要とする事態が生じた場合も、直ちに本学へ相談してください。

1 事前相談期限

KUGS 特別入試（医学類除く）、超然特別入試（医学類除く）、女子枠特別入試、在外留学生推薦入試、社会人選抜、帰国生徒選抜、国際バカロレア入試、私費外国人留学生入試	令和7年10月 1日（水）
KUGS 特別入試（医学類）、超然特別入試（医学類）、医学類・高大院接続入試	令和7年11月17日（月）
薬学類・高大院接続入試	令和7年12月19日（金）
一般選抜（前期日程）	令和7年12月26日（金）

2 提出書類

- 事前相談書（次の事項及び連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）について記載したもの。様式は問いません。）
 - 志願者氏名
 - 志望学域学类等及び受験予定の入試区分
 - 障がいの種類・程度
 - 受験について配慮を希望する事項
 - 修学について配慮を希望する事項
 - 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
 - 日常生活の状況
 - その他参考となる事項
- 医師の診断書（上記ウ、エ、オ、キに関する項目も記載してください。）
- 大学入学共通テストの「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた者のみ）
- その他参考書類（障害者手帳の写し等）

3 相談先

学務部入試課入学試験係

住 所 〒920-1192 金沢市角間町
電 話 076-264-5169（平日9時から17時まで ※ 祝日、夏季休業及び年末年始を除く）
FAX 076-234-4042
E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

19 入学試験の個人成績の開示

出願時に成績開示を希望した者は、本学 Web サイトの「個人成績開示システム」から令和 8 年度入試の個人成績が閲覧できます。

1 請求方法

- ① 成績開示を希望する志願者は、Web 出願登録の際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。出願後のメール、電話等による個別の開示請求は受け付けません。
- ② 「希望する」を選択した場合、**1 回の出願につき開示請求手数料 2,000 円が別途必要**です。検定料と併せて支払ってください。

2 開示内容

- ① 本学が利用した大学入学共通テストの科目ごとの得点及び合計点（大学入学共通テストを課す入試のみ）
- ② 教科・科目に係る個別テスト等の科目ごとの得点及び合計点

3 開示時期

令和 8 年 5 月 1 日（金）から 9 月 30 日（水）まで閲覧可能です。

（注 1）閲覧するには、「受験番号」・「生年月日」・Web 出願登録時の「セキュリティコード」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので、受験番号及びセキュリティコードの管理には注意してください。

（注 2）万が一、セキュリティコードがわからなくなった場合には、登録したメールアドレス宛に通知を受けることができます。**必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。**

4 閲覧方法

- ① 本学 Web サイトの入試情報のページから個人成績開示システムへ進んでください。
本学トップページ>入試情報・高大院接続>入学試験の個人成績開示
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/seisekikaiji>
- ② 「受験番号」・「生年月日」・Web 出願登録時の「セキュリティコード（パスワード）」を入力すると閲覧できます。

5 閲覧上の注意

- ① 開示内容は、大学入学共通テストと本学が行う教科・科目に係る個別テスト等における受験教科・科目と得点のみで、順位は表示しません。
- ② 主体性等評価の得点は、該当者にのみ開示しますが、本学が別に公開する合格者の最高・最低・平均点にはこれを含めないのので、閲覧時には十分留意してください。

20 学生募集要項の入手方法等

1 学生募集要項の入手方法

学生募集要項（一般選抜，KUGS特別入試，超然特別入試，女子枠特別入試，医学類・高大院接続入試，薬学類・高大院接続入試，在外留学生推薦入試，社会人選抜，帰国生徒選抜，国際バカロレア入試，私費外国人留学生入試）は，本学Webサイトから確認してください。紙媒体（冊子）での配布は行いません。

本学（入試情報・高大院接続）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>



2 学生募集要項の発表予定時期

募集要項名	発表予定時期
K U G S 特 別 入 試	令和7年9月下旬
超 然 特 別 入 試	
女 子 枠 特 別 入 試	
医 学 類 ・ 高 大 院 接 続 入 試	
薬 学 類 ・ 高 大 院 接 続 入 試	
在 外 留 学 生 推 薦 入 試	
社 会 人 選 抜	
帰 国 生 徒 選 抜	
国 際 バ カ ロ レ ア 入 試	
私 費 外 国 人 留 学 生 入 試	
一 般 選 抜	令和7年11月上旬

3 大学案内等の請求方法等

(1) 大学Webサイトからダウンロードする場合

本学Webサイトに掲載しているので，ダウンロードすることが可能です。

大学案内 <https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/prstrategy/publication/daigakuannai>

入学者選抜要項 <https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/boshuyoko>

(2) 本学Web サイトから資料請求をする場合

本学Web サイトから直接，テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは本学（入試情報・高大院接続）Web サイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission>）を確認してください。

(3) テレメールで請求する場合

① テレメールのサイトにアクセスしてください。



パソコン・スマートフォン	
https://telemail.jp	
資料請求用 2次元コード	

② 資料請求番号（6 桁）を入力してください。

（2 次元コードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要）

資料名	資料請求番号	料金（送料含む）
大学案内	563022	250 円
入学者選抜要項（入試に関する概要）	583022	250 円
入学者選抜要項（入試に関する概要）＋大学案内	563002	310 円
一般選抜学生募集要項	583002	280 円
一般選抜学生募集要項＋大学案内	543002	350 円

③ ガイダンスに従って送付先を登録してください。

※資料は通常、発送日のおおむね3～5日後で送付できます。送付先地域や郵便事情によっては送付に1週間程度要する場合があります。

※随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまで問合せください。

※16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送とします。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付とし、発送開始日に一斉に発送します。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管してください。

※料金は送付資料に同封の支払い用紙を確認の上、資料到着後2週間以内に支払ってください。

※料金の支払い方法は「コンビニ支払い」「au PAY 請求書支払い」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」が利用できます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ支払いとau PAY 請求書支払いは118円、携帯キャリア払い、PayPay、クレジットカード払いは30円が別途必要です。1回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

→ (1), (2) の請求方法についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター IP 電話 050－8601－0102（9時30分から18時まで）

(4) 金沢大学へ直接請求する場合

郵送を希望する場合は、受信者の郵便番号、住所、氏名を明記し750円分の郵便切手を貼付した返信用封筒（角形2号約33cm×約24cm）を同封の上、封筒の表に「○○請求」と朱書き、請求してください。

21 問合せ先

電話での問合せは、平日（月曜日～金曜日 ※祝日，夏季休業及び年末年始を除く）9時から17時の間で本人に限ります。

1 入学試験関係

入学試験に関する問合せは、下記へ行ってください。

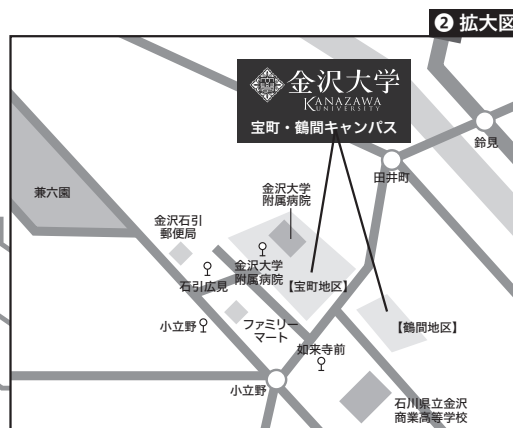
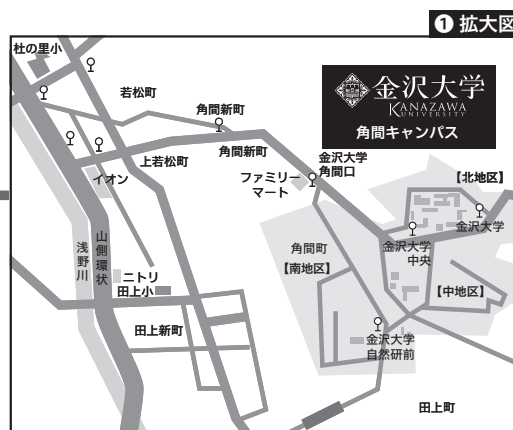
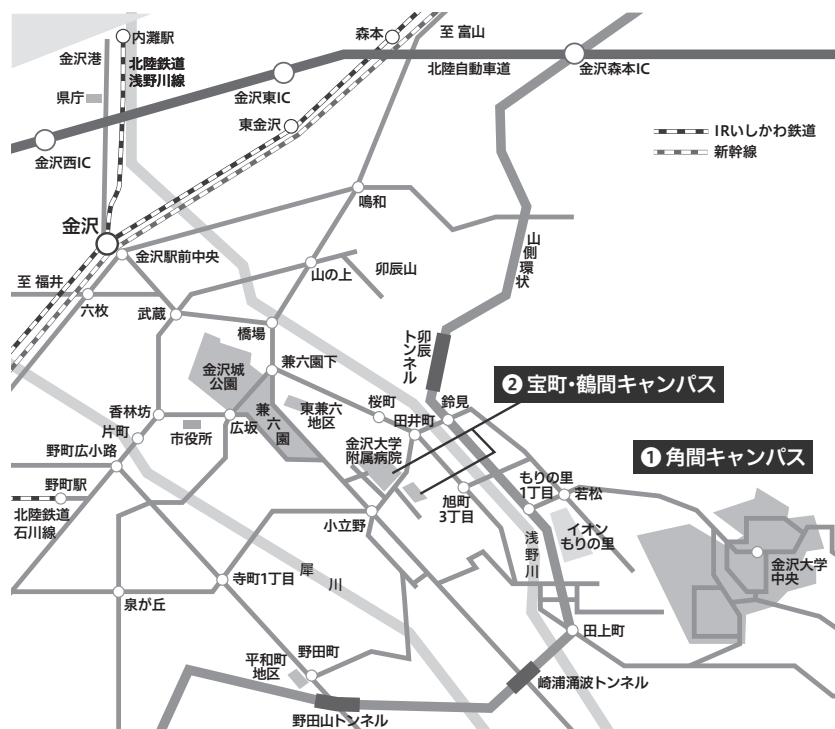
学務部入試課入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5169 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp	FAX 076-234-4042
-------------	---------------------	--	------------------

2 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問合せは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問合せ先	
融合学域	先導学類	融合系事務部学生課教務係 Email yugokyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－264－5922	〒920－1192 金沢市角間町
	観光デザイン学類		
	スマート創成科学類		
人間社会学域	人文学類	人間社会系事務部学生課教務・学生支援担当 Email n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－264－5603	
	法学類		
	経済学類		
	学校教育学類		
	地域創造学類		
	国際学類		
理工学域	数物科学類	理工系事務部学生課教務係 Email s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－234－6831	
	物質化学類		
	機械工学類		
	フロンティア工学類		
	電子情報通信学類		
	地球社会基盤学類		
	生命理工学類		
医薬保健学域	医学類	医薬保健系事務部学生課医学学務係 Email t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－265－2125, 2127	〒920－8640 金沢市宝町13番1号
	薬学類	医薬保健系事務部薬学・がん研支援課薬学学務係 Email y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－234－6827, 6828	〒920－1192 金沢市角間町
	医薬科学類	医薬保健系事務部学生課医薬科学学務係 Email iyaku-gaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－234－6980, 6987	
	保健学類	医薬保健系事務部保健学支援課保健学務係 Email t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－265－2515	〒920－0942 金沢市小立野5丁目11番80号
総合教育部 (文系一括，理系一括)		学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Email stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－264－5758	〒920－1192 金沢市角間町

22 金沢大学所在地略図



キャンパス名	学域等	交通機関
① かくま 角間	事務局（学務部） 融合学域 理工学域 医薬保健学域 （薬学類，医薬科学類創薬科学コース）	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 8番乗り場発 乗車：93，94，97金沢大学行き 下車：金沢大学自然研前 (JR金沢駅から約35分)
	人間社会学域	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 8番乗り場発 乗車：93，94，97金沢大学行き 下車：金沢大学（終点） (JR金沢駅から約40分)
② たからまち つるま 宝町・鶴間	医薬保健学域 （医学類，医薬科学類生命医科学コース， 保健学類）	JR金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 6番乗り場発 乗車：11 東部車庫・金沢学院大学・石川県立図書館行き， 12 湯涌・北陸大学行き（小立野経由）， 16 上辰巳行き 下車：小立野 8番乗り場発 乗車：13 湯谷原・医王山行き， 14 太陽が丘ニュータウン行き（金商経由） 下車：小立野 JR金沢駅金沢港口（西口）バスターミナルから北陸鉄道バス 5番乗り場発（香林坊経由） 乗車：10 東部車庫・金沢学院大学行き 下車：小立野 (JR金沢駅から約20分)

（注）路線バスは2025年6月時点の情報です。乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で，利用してください。

本学（アクセス・キャンパスマップ）Web サイト
(<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/campus-guidance/access>)



金沢大学学務部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5169

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学（入試情報・高大院接続）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission> 金沢大学トップページ＞入試情報・高大院接続



202507.6600